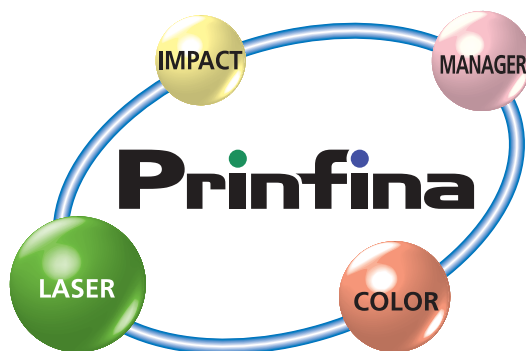
日立モノクロページプリンタ
Prinfina LASER BX2180

PC−PL2180取扱説明書

マニュアルはよく読み、保管してください。

・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■重要なお知らせ
(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載あるいは引用することを禁止します。
(2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
(4) 本製品を運用した結果については (3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) リコープリンティングシステムズ（株）指定のオプションまたは消耗品以外を装着してのトラブルについては (3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

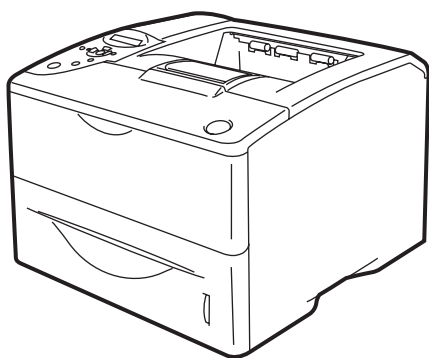
■規制、対策について
●電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●電源の瞬時電圧低下対策について
落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時停電対策ガイドラインに基づく表示)
●国際エネルギースタープログラムについて
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならび にマークは参加各国の間で統一されています。』
●高調波ガイドライン適合について
本製品は、高調波電流規格 JIS C 6100-3-2 適合品です。
JIS C 6100-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基き、商用電力系統の高調波環境目標値レベルに適合して設計・製造した製品です。
●プリンタでの印刷について
紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘らず、法律に違反し、罰せられます。

関連法規	刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法	第 1 条、第 2 条
等	

●輸出管理規制について
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合には、弊社担当営業にお問い合わせください。なお、この装置に付属する周辺機器やソフトウエアも同じ扱いになります。
■保守部品について
・本プリンタの保守用部品の保有期限は製造打ち切り後 5 年です。
■版権についてのお知らせ
・このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

はじめに

このたびは、日立ページプリンターをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本書はページプリンターPC-PL2180(Prinfina LASER BX2180)の基本的な操作の仕方、トラブルの解決方法などについて説明しています。本書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
また、本書はお読みいただいたあとも大切に保管しておいてください。

お問合せ先

プリンタの使い方については、下記にお問合せください。
製品の技術的なお問合せについても回答いたします。ただし、明らかにプリンタの故障であると思われる内容につきましては、担当営業または保守会社に連絡ください。

お客さま相談センタ
　フリーダイヤル　０１２０－８６－２５５６
　受付時間　９：００～１２：００、１３：００～１７：００
（土・日・祝日を除く）

受付担当者がお問合せ内容を承り、専用エンジニアが折り返し電話またはＦＡＸにてお答えします。

マニュアルの種類のご案内

本機を正しくご使用いただくため、また幅広く活用していただくため、次のマニュアルを用意しています。
本機をご使用になる前に必ずお読みください。

クイックセットアップガイド

本機の設置、プリンタドライバやソフトウェアのインストール方法など、本体をセットアップするために必要な情報を記載しています。
本書をお読みになる前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

本機の基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加や本機のメンテナンスについて説明しています。
また、紙づまりの解決方法などのトラブルシューティングも記載していますので、トラブルの原因や対処方法を調べたいときにお読みください。

ネットワークガイド

ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。
ネットワーク環境の基本的な説明から、プリントサーバーの設定方法、プロトコルの追加方法などについて記載しています。手順に従って設定してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

https://mall.rps.ricoh.co.jp/printer/siyouzumi.htm

リコープリンティングシステムズでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたリコープリンティングシステムズ製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは､コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので､事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968 年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス Ⅰ レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

⚠ 警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

プリンタを安全にお使いいただくために

■ 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
　操作は、この装置のマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
　装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■ シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見だしによって表示されます。
これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するするために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

 警告

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

 注意

これは、軽度の傷害あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損害または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

■ 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
装置についてなにか問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

■ 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。
それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身で注意するようにしてください。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		火傷の危険があります
	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		

警告

■ 万一、異常が発生した時は

● 使用中に万一、異常な熱さ、煙、異常音、異臭などの異常が発生した場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

■ 修理や分解・改造をしないでください

● 本書の指示に従って行う紙詰まりの処理や消耗品の交換、オプションなどの増設作業を除いて、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

■ 電源コードの扱い

● 電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

・ものを載せない
・引っ張らない
・押しつけない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・束ねない

■ 専用のコンセントに接続してください。

● 専門業者の施行したAC100V、50/60Hz、15Aの専用コンセント以外には接続しないでください。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。容量不足で過熱し発煙や火災の原因となります。

■ タコ足配線をしないでください

● 同じコンセントに多数のプラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ちほかの機器にも影響を及ぼします。

■ 電源プラグの扱い

● 電源プラグをコンセントから抜き差しするときには、乾いた手でおこなってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

● 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

● 電源プラグの接触不良やトラッキングを防ぐため、次のことに注意してください。接触不良やトラッキングが発生すると、電源プラグが過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグおよびコンセントにほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。
・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
・グラグラしないコンセントを使ってください。
・定期的に電源プラグおよびコンセントを清掃し、ほこりなどの汚れを取り除いてください。

■ アースを接続してください

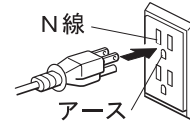
● 万一、漏電した場合の感電を防止するため、アースを必ず接続してください。

● 専門業者の施工したアース端子とプリンタのアース接続部を確実に接続してください。

● 次のようなところには絶対にアースを接続しないでください。

・ガス管（引火や爆発のおそれがあります）
・避雷針（落雷時に感電の原因になります）
・水道管（配管の途中がプラスチック等になっていることが多いためアースとしての役割を果たしません）

● 移動後にも必ずアースを接続してください。

● コンセントのN線とアースが同電位であることを確認の上接続してください。

■ 国内のみで使用してください

● 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

■ 装置の内部に手を入れないでください

● 本書の指示に従って行う作業を除いて、安全のため装置内部に不用意に手を入れないでください。機構部などでけがをする原因になります。

● 本書の指示による作業で装置内部を点検するときは、ネックレスやブレスレットなどが装置内部に触れないように注意してください。やけどや感電の原因になります。

■ 異物を入れないでください

● 通気孔などから内部に液体やクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

■ 装置の上に物を置かないでください

● 花びん、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップ、アクセサリーなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。

■ 可燃性のガスや揮発性かつ引火性液体を近くで使用しないでください

● 可燃性のスプレーやマニキュア、ペディキュア、除光液、アルコール、シンナーなど揮発性の液体は、プリンタの近くで使ったりおかないでください。可燃性のガスがプリンタの中に入って引火すると火災の原因になります。

■ 衝撃を与えないでください

● 装置を落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

■ 湿気やほこりの多い場所で使用しないでください

● 浴槽、洗面台、台所の流し台、水道の蛇口付近、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、加湿器のそば、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所、雨や雪が降りかかるような場所では使用しないでください。電気絶縁の低下などによって火災や感電の原因になります。

■ 結露した状態で使用しないでください

● 移動する場所で温度差が大きい場合や、空調を入れた直後などで急激な温度変化が生じた場合、装置の表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

■ 通気孔をふさがないでください

● 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたり、壁の近くで使用して通気孔をふさがないでください。また、ベットやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

■ トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください

● トナーや用紙に引火してやけどや火災の原因になります。

■ ポリ袋で遊ばないでください

● 装置の梱包用のポリ袋は、小さなお子さまの手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。

■ お手入れのときは

● 装置を清掃するときには、電源スイッチをOFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の原因になります。

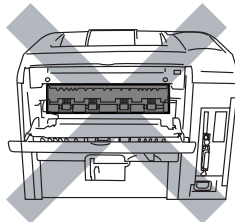
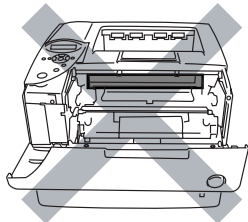
警告

■ トナーカートリッジを火中に投げ込まないでください
- 火中に投入するとカートリッジ内に残ったトナーに着火し、急激に燃え上がることがあり、やけどや火災の原因になることがあります。

■ トナー専用掃除機以外は使用しないでください
- トナー専用掃除機以外ではトナーが飛散したり粉塵爆発したりすることがあります。

■ 持ち運ぶときは
- プリンタを移動させる場合は電源プラグを必ずコンセントから抜き、電源コードやそのほかの外部の接続線、転倒防止器具などを外したことを確認の上行ってください。
  接続したまま移動すると、装置やコードが変形したり傷ついたりして、火災や感電の原因になります。
- 外付けのオプション（ペーパーフィーダなど）を追加している場合は、取り外してから移動してください。一緒に移動すると、落下してけがの原因になります。

注意

■ 定着器およびそのまわりには触れないでください
- カバー内部の定着器およびその周囲は、使用中あるいは使用直後に非常に高温になっていることがあり、触れるとやけどの原因になります。

■ 不安定な場所に置かないでください
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

■ 乗ったり、よりかかったり、重い物を置いたりしないでください。
- 装置に乗ったり、よりかかったりしないでください。こわれたり、倒れたりしてけがの原因になります。
- 装置の上に重いものを置かないでください。装置が破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

■ 接続端子に直接手で触れないでください
- ＵＳＢコネクタなど接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

■ 金属など端面に触れる場合は、十分注意してください
- 装置の移動、オプションの追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

■ 持ち運ぶときは
- 本プリンタは、トナーカートリッジを取り付けていない状態で約18.5kgあります。必ず２人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 上カバーや給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

■ 信号ケーブルは邪魔にならないように配線してください
- ケーブルは足などを引っかけないように配線してください。足を引っかけると、けがをしたり、接続装置の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱機具のそばに配線しないでください。ケーブルの被覆が破れ、接続装置の故障の原因になります。

■ レーザ光について
- レーザ光は人体に有害となるおそれがあります。そのため本製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって保護されており、お客さまが通常の操作をする場合にはレーザ光がもれることはありませんが、安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは絶対開けないでください。レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となります。レーザ光は目に見えませんので注意が必要です。
  - ・レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

■ トナーカートリッジなどの消耗品の保管について
- トナーカートリッジなどの消耗品は小さなお子様の手が届かないところへ保管してください。

■ トナーが飛び散らないように用紙を取り除いてください
- 紙づまりなどで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。

■ トナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください
- 目や口などにトナーが入った場合や、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。温水を使うと、トナーが融着してとれなくなることがあります。

■ 用紙で手を切らないようにしてください
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは用紙の端で手を切ったりしないように注意して取り扱ってください。

■ アルミ電解コンデンサーについて
- 装置に使用しているアルミ電解コンデンサは、有寿命部品です。設計寿命は、週日８時間使用で約５年です。寿命になると電解液の枯渇や漏れが生じます。特に電源ユニットでの電解液の漏れは、発煙・感電の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有償部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では５年より寿命は短くなります。

注意

■ 高温になるところに置かないでください

● 直射日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になりますので、ご注意ください。

■ 特殊な環境に置かないでください

● 急激な温度変化や湿度変化がある場所、振動がある場所、強い磁気や電磁波を発生する場所の近く、実験室など化学反応を起こすような場所や、塩分を多量に含んだ空気や毒性のガスを含んでいる場所には設置しないでください。使用した場合、あるいは使用しない場合でも故障の原因となります。

■ お手入れは

● 装置を清掃するときには、電源スイッチをOFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。装置外装の汚れは、乾いたきれいな布で、あるいは、布に水か中性洗剤を含ませてかたく絞ったもので汚れた部分を拭いてください。アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきんは変形・変色および故障の原因になることがあるので使用しないでください。

■ エアコン、コピー機、シュレッダーなど、高電力機器と同じコンセントでプリンタを使用しないでください

● 高電力機器と同じコンセントで使用すると、ノイズにより文字化けなどが発生する場合があります。どうしてもこれらの機器と同じコンセントでプリンタを使用することが避けられない場合には、次のようにしてください。
・フィルタ付きＯＡタップなど

■ 電波障害について

● ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。
・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

■ 磁気を嫌う物を近づけないでください

● トナーカートリッジにフロッピーディスクなど、磁気を嫌う製品を近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

■ プリンタ・消耗品の廃棄について

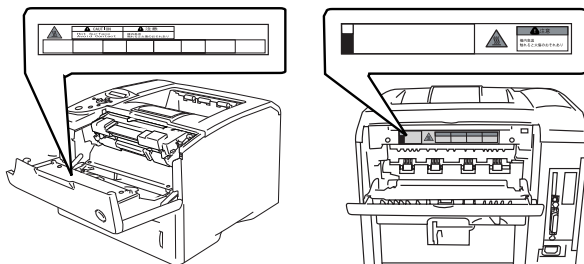
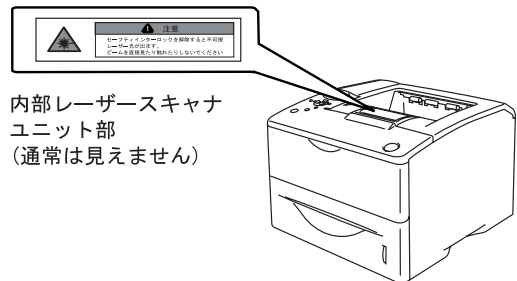
● 事業者が破棄する場合
プリンタや消耗品を廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

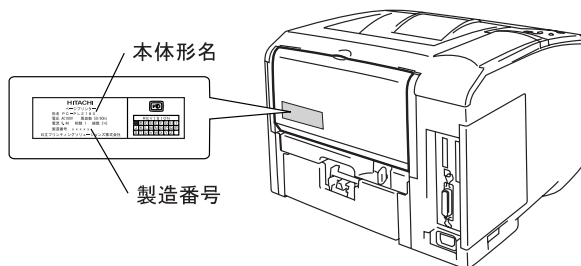
● 個人で廃棄する場合
プリンタや消耗品を廃棄する時には、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

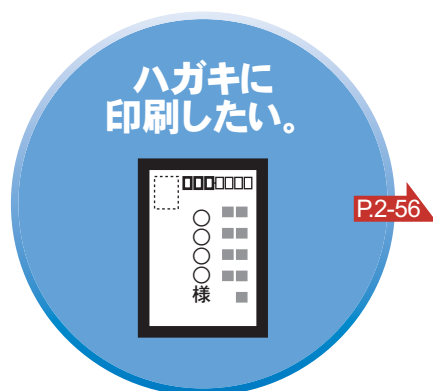
■ 使用済み消耗品（トナーカートリッジ）の回収について

● 使用済み消耗品（トナーカートリッジ）の回収を行っております。ご購入いただいた販売店へのご依頼、あるいはホームページでのお申し込みをお願いいたします。

注意ラベルの表示位置

●高温

● レーザー光

重要 ・注意ラベルは、絶対にはがさないでください。

本体形名および製造番号の表示位置

重要 ・本体形名、製造番号の書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。はがさないでください。

やりたいこと目次

普通紙に
印刷したい。
P.2-43
ハガキに
印刷したい。
P.2-56
多目的トレイ
から印刷したい。
P.2-46
封筒に
印刷したい。
P.2-62
複数ページを
1枚にまとめて
印刷したい。
1
2
3
4
P.2-81
両面
印刷したい。
P.2-71
用紙サイズを
変えて拡大縮小
印刷したい。
A
A
P.2-83

目　次

本書の読みかた

本書のレイアウトについて

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われている記号やマーク　表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をご使用になるにあたって、厳守していただきたいことがらを説明しています。
	本機をご使用になるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brother® のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows®95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT® と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh® 、Mac OS® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。また TrueType は同社の商標です。
Adobe®、Adobe ロゴ、Acrobat®、Photoshop® および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
エネルギースターは米国における登録商標です。
コンパクトフラッシュ ™ はサンディスク社の商標です。
IBM® は、IBM Corporation の商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

リコープリンティングシステムズ株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

Acrobat® 簡単な機能 便利な機能

本書をお読みになるときに、知っておくと便利な Acrobat® Reader® の基本機能について説明します。

Acrobat® Reader® の基本機能

機能名称	説 明
① 印刷	開いている文書を印刷します。 本書は分割された PDF です。「すべてのページ」を選択して印刷した場合は、章単位で印刷されます。
② ナビゲーションウィンドウの表示 / 非表示	「ナビゲーションウィンドウ」の表示 / 非表示を切り替えます。
③ 最初のページ	開いている文書の最初のページを表示します。
④ 前ページ	前ページを表示します。
⑤ 次ページ	次ページを表示します。
⑥ 最後のページ	開いている文書の最後のページを表示します。
⑦ 前の画面	ページを移動したり、表示倍率を切り替えたときなど、それまで見てきた文書表示を 1 操作単位で逆に戻ります。
⑧ 次の画面	「⑦前の画面」で戻った文書の画面を 1 操作単位で次に進んで表示します。
⑨ ズームアウト	クリックするごとに、文書を縮小表示します。
⑩ 倍率ボックス	任意の倍率を数値入力して、文書を拡大 / 縮小表示します。▼をクリックして表示されたメニューから選択して、拡大 / 縮小表示することもできます。
⑪ ズームイン	クリックするごとに、文書を拡大表示します。
⑫ 実際の大きさ	文書の実際の大きさで表示します。
⑬ 全体表示	ページ全体を表示できる大きさで、画面に表示します。
⑭ 幅に合わせる	画面幅いっぱいに文書の横幅を合わせて表示します。
⑮ しおり	「ナビゲーションウィンドウ」を表示している場合、[しおり] タブでしおりを表示できます。階層表示されている見出しをクリックすると、該当ページに移動します。
⑯ ページ番号ボックス	“現在のページ / 総ページ”の形式で、現在何ページ目を表示しているかを示しています。表示したいページ番号を数値入力して、表示することもできます。

メモ

Acrobat® Reader 5.0 または Acrobat® 5.0 をご使用の方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。

① PDF を開きます。
② ツールバーの [編集] メニューから [環境設定] を選択します。
(Acrobat® 5.0 の場合は、ツールバーの [編集] メニューから [環境設定] − [一般] を選択します。)
③ 画面右側の項目から [表示] を選択します。
④ [スムージング] の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
⑤ [OK] をクリックします。

第1章 プリンタをご使用になる前に

本製品の機能と特長

高速 24 枚 / 分の印刷速度

ハイスピードなプリンティングを実現する 24PPM エンジンと、スムーズなデータ処理を実現する高速 RISC チップを搭載しています。
部数の多いドキュメント出力の場合や、複数の人が使用する状況、効率化が求められる現場でも、快適なプリントアウトを実現できます。

高品質なドキュメント作成

高解像度 1200dpi × 1200dpi により、細かい文字や罫線もくっきりと、写真のリアルな質感も繊細、かつ豊かにプリントアウトできます。

Hi-Speed USB2.0/ パラレルインターフェース標準装備

パラレルインターフェースに加え、データの高速通信が可能な Hi-Speed USB2.0 にも対応しています。パソコンの電源が入ったままでも USB ケーブルの抜き差しが可能なため、簡単かつ便利にパソコンと接続できます。さらにインターフェース自動切替により、複数のパソコンでの共有も容易です。

大容量 500 枚のトレイ給紙

500 枚の普通紙がセット可能な用紙トレイを標準装備しています。さらにオプションのローワートレイユニット（PC-PF2180 ペーパーフィーダー、500 枚）をセカンドカセットとして装着することができます。
多目的トレイ（100 枚）と合わせて、最大 1100 枚の給紙が可能です。

ランニングコストを節約する分離型カートリッジを採用

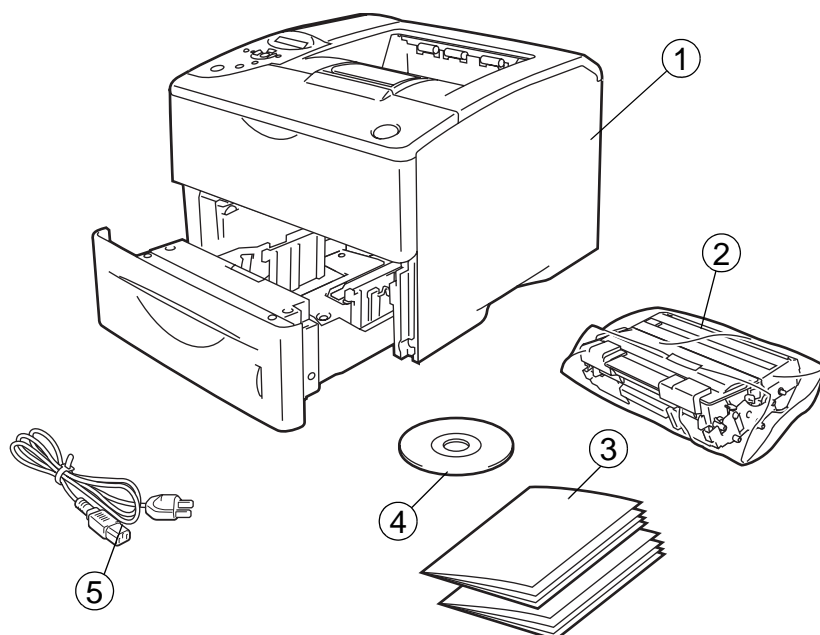
経済的な設計のトナーとドラムの分離型カートリッジを採用しています。トナーのみの交換ができるため無駄がなく、約 7,500 枚印刷可能なトナー（PZ21801 トナーカートリッジ）によって、トナーのみの交換時 2 円／枚（A4 サイズで 5%印字時）という低ランニングコストを実現します。
また、自動両面印刷機能やプリンタドライバからオン／オフの選択ができるトナーセーブ機能で、さらに印刷コストを削減することができます。

多様なネットワーク環境に対応

高速大容量転送を実現する 10BASE-T/100BASE-TX イーサネットをサポートし、Windows や Unix などさまざまなネットワーク環境に対応するネットワークボードを標準装備しています。さらに Windows ではピアツーピア印刷にも対応しており、簡単にネットワーク印刷を実現できます。

梱包内容の確認

同梱物

本機を箱から取り出したら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。

① プリンタ本体
② ドラムユニット（トナーカートリッジ含む）
③ プリンタを安全にお使いいただくために、クイックセットアップガイド、
④ CD-ROM
⑤ 電源コード

インターフェースケーブル

インターフェースケーブルは同梱されていません。
パソコンによっては USB ポートとパラレルポートの両方を備えているものがあります。ご使用になるインターフェースに適したケーブルをお近くの販売店でご購入ください。

パラレルインターフェースをご使用になる場合

- プリンタの機能を最大限に引き出すため、PC-LP1101(1.8m) の IEEE1284 のパラレルケーブルをご使用いただくことをおすすめします。
- 2 メートルを超えるケーブルを使用するとノイズなどにより不正印刷になることがあります。

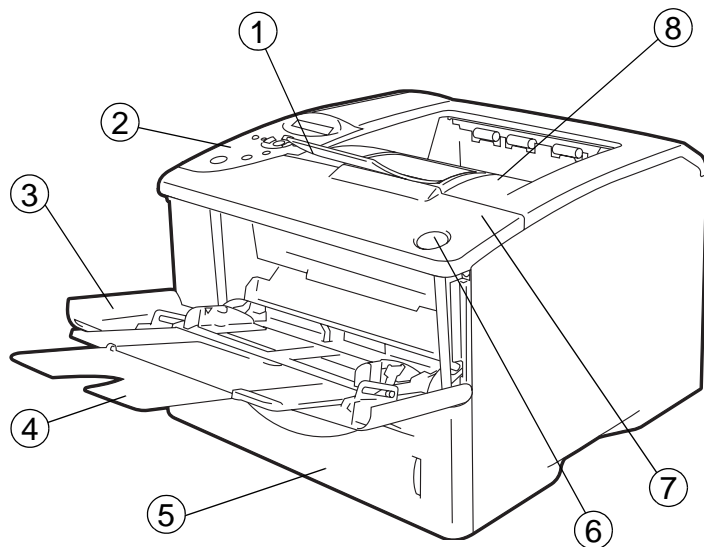
USB **ケーブルをご使用になる場合**

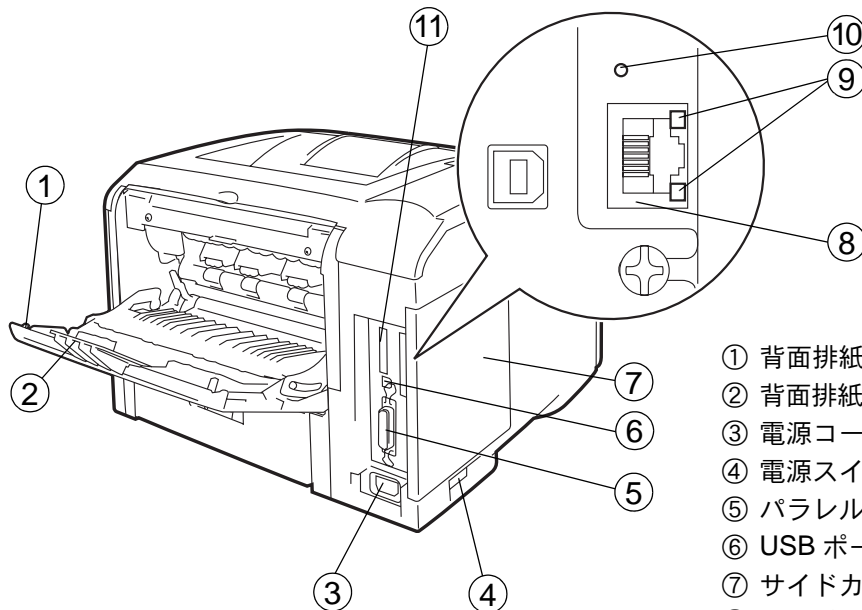
- USB2.0 認証ロゴが付いたケーブルを使用し、ご使用のパソコンの USB ポートに接続してください。
- キーボードなどにある USB ポートには接続しないでください。
- 2 メートルを超えるケーブルを使用するとノイズなどにより不正印刷になることがあります。

ネットワークケーブルをご使用になる場合

- カテゴリ 5 以上の 10BASE-T または 100BASE-TX のストレートケーブルをご使用ください。

本体各部の名称

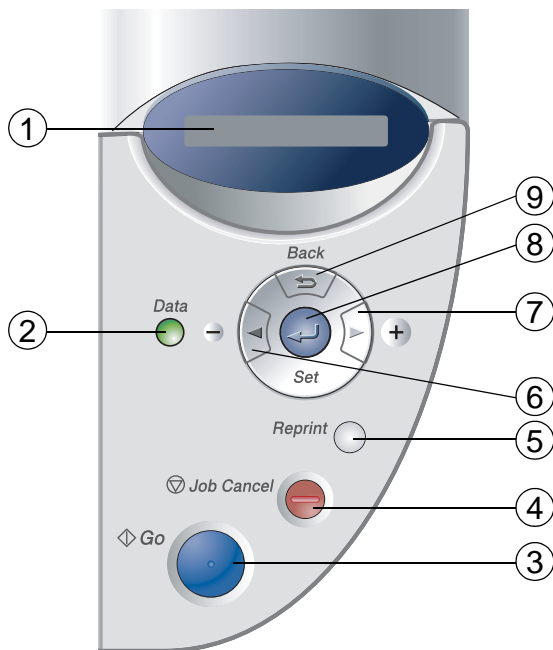
前面

① 上面排紙トレイ用紙ストッパー
② 操作パネル
③ 多目的トレイ（MP トレイ）
④ 多目的トレイ用紙ストッパー
⑤ 用紙トレイ (用紙カセット)
⑥ フロントカバーボタン
⑦ フロントカバー
⑧ 上面排紙トレイ

背面

① 背面排紙トレイ
② 背面排紙トレイ用紙ストッパー
③ 電源コード差し込み口
④ 電源スイッチ
⑤ パラレルポート
⑥ USB ポート
⑦ サイドカバー
⑧ 10BASE-T/100BASE-TX ポート
⑨ ネットワーク LED
⑩ ネットワークテストボタン
⑪ コンパクトフラッシュ ™ カードスロット (未サポート)

操作パネルの見かた

操作パネル上の液晶ディスプレイとボタンについて説明します。

操作パネルの名称と機能

本機は操作パネルの上に 1 つの液晶ディスプレイ、7 個のボタンおよび 1 つのランプを装備しています。

① **液晶ディスプレイ**
1 列 16 文字以内で様々なメッセージを表示します。

② Data **ランプ**
現在の本機の状態を示します。

③ Go **ボタン**
- 設定メニュー、再印刷設定、およびエラーメッセージ表示から「インサツデキマス」表示に戻ります。
- 印刷を一時停止 / 再開します。

④ Job Cancel **ボタン**
受信中　印刷中のデータをキャンセルして印刷を停止します。

⑤ Reprint **ボタン**
指定した部数（1 ～ 999）を再印刷します。

⑥ **－ボタン**
モード、設定メニューおよび設定値を 1 つ前の項目に切り替えます。

⑦ **＋ボタン**
モード、設定メニューおよび設定値を次の項目に切り替えます。

⑧ Set **ボタン**
- モード表示に切り替えます。
- 選択したメニューや項目を確定します。

⑨ Back **ボタン**
1 つ上の階層のメニューに戻ります。

ボタン

操作パネル上のボタン（、、、、、、）を使って、本機の基本操作や各種の印刷設定の変更ができます。

（Go ボタン）

- を押すと、現在の状態（設定メニュー、再印刷設定、およびエラーメッセージ表示）から「インサツデキマス」表示に戻ります。
  エラーが解消されないときにを押した場合は、エラーメッセージ表示のままです。
- 印刷中にを押すと、印刷を一時的に停止します。再度を押すと印刷を再開します。
  一時停止中は、本機はオフラインになります。

一時停止中に残りの印刷データが不要になったときは、を押します。残りの印刷データをキャンセルして、「インサツデキマス」表示に戻ります。

（Job Cancel ボタン）

を押すと、印刷データの処理や印刷をキャンセルすることができます。液晶ディスプレイには、処理が終了するまで、「ジョブキャンセル」と表示されます。処理が終了すると、「インサツデキマス」表示に戻ります。
本機が印刷データを受信中または印刷中でないときに、を押すと、「データナシ !!!」と表示されます。

（Reprint ボタン）

を押すと、直前に印刷したデータはパソコンから再度印刷データを送らなくても印刷できます。「インサツデキマス」または「テイシ」表示のときに使用できます。

- 操作パネルの設定メニューで「リプリント」が「= オフ」に設定されているときにを押すと、液晶ディスプレイに「キオクデータ　ナシ」と表示されます。「リプリント」を「= オン」に設定してください。P.1-8
- 再印刷をキャンセルするときは、を押します。
- 印刷データのサイズがメモリ容量を超えたときは、最後の 1 枚のみ再印刷します。
- 再印刷の部数の変更するときは、またはを押します。「ブスウ」は 1 から 999 まで設定できます。
- プリンタドライバの設定についての詳細は、「印刷ジョブのスプール」P.2-18を参照してください。

また、再印刷の機能を使用して、証明印刷、公開印刷、セキュリティ印刷ができます。詳細は「再印刷（リプリント）について」P.1-8を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

/ （＋ / －ボタン）

「インサツデキマス」と表示されているときに または を押すと、オフラインに切り替わり、液晶ディスプレイにモードが表示されます。

モードの切替

または を押すと、前後のモードに切り替えることができます。
目的のモードが表示されるまで、 または を押し続けます。

設定メニューの切替

または を押すと、前後の設定メニューに切り替えることができます。
目的の設定メニューが表示されるまで、 または を押し続けます。

設定値（番号）の変更

設定値（番号）の変更は、 を 1 回押すごとに次の設定値（1 ずつ増加）、 を押すごとに 1 つ前の設定値（1 ずつ減少）に変更できます。

または を押し続けると、より速く変更できます。

目的の設定値（番号）が表示されたら、 を押して確定します。

(Back ボタン)

「インサツデキマス」と表示されているときに を押すと、オフラインに切り替わり、液晶ディスプレイに現在のモードが表示されます。

を押すと、1 つ上の階層に戻ります。
番号入力中に を押すと、1 つ上の桁を選択できます。左端の数字を選択しているときは、 を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

「＊」の表示されていない（ を押して確定していない）ときに を押すと、設定を変更せずに 1 つ上の階層に戻ります。

メモ
設定を変更して を押すと、液晶ディスプレイの右端に「＊」が表示されます。現在の設定値に「＊」が表示されるため、設定の状態がひと目で分かります。

(Set ボタン)

「インサツデキマス」と表示されているときに を押すと、オフラインに切り替わり、液晶ディスプレイに現在のモードが表示されます。

を押すと、表示した設定メニューや設定値を確定します。現在の設定値には、液晶ディスプレイの右端に「＊」が表示されます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

再印刷（リプリント）について

を使って再印刷（リプリント）するときの設定や印刷方法について説明します。

再印刷（リプリント）設定をオンにする

操作パネルの設定メニューで「リプリント」が「= オフ」に設定されているときにを押すと、液晶ディスプレイに「キオクデータ　ナシ」と表示されます。「リプリント」を「= オン」に設定してください。工場出荷時の初期設定は、「リプリント」の設定は「= オン」に設定されています。

1 、、、**のいずれかを押します。**

オフラインに切り替わり、モードメニューが表示されます。

2 **またはを押して「セットアップ」選択し、を押します。**

3 **またはを押して「リプリント」を選択し、を押します。「= オン」になっていることを確認します。**

「= オフ」になっている場合は、またはを押して「= オン」に変更し、を押します。

メモ　再印刷をプリンタドライバから実行する場合は、操作パネルの設定よりもプリンタドライバの設定が優先されます。詳細は、「印刷ジョブのスプール」P.2-18を参照してください。

直前のジョブを 3 部再印刷（リプリント）する

1 **を押します。**

メモ　ボタン操作がない状態で一定時間（30 秒）が経過した場合は、再印刷設定を終了し、「インサツデキマス」表示に戻ります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

2

を 2 回押します。

ﾌﾞｽｳ = 3

3

または を押します。

印刷が開始されます。

ｲﾝｻﾂﾁｭｳ
▼
ﾌﾞｽｳ = 1

- を 2 回押すと、再印刷設定を解除し、「インサツデキマス」表示に戻ります。
- データを再印刷しようとして誤って を押してしまった場合には、液晶ディスプレイに「Set ボタン ヲ オスト インサツシマス」が表示されます。 または を押して、再印刷を開始するか、 を押して、再印刷ジョブをキャンセルしてください。

証明印刷 / 公開印刷 / セキュリティ印刷について

再印刷の機能を使用して、証明印刷、公開印刷、セキュリティ印刷ができます。
例えば、社内で同僚と共有したい文書などを作成した場合は、本機のメモリのセキュリティがかかっていない領域に文書をいったん保存します。その後、本機の操作パネル、またはウェブブラウザを使用して、保存された文書を再印刷することができます。

証明印刷、公開印刷、セキュリティ印刷をする場合は、コンパクトフラッシュ ™ を取り付けてご使用になることをおすすめします。

証明文書（証明印刷）

プリンタドライバで「証明文書」を設定して印刷すると、プリンタ内に文書データを保存すると共に文書を試し印刷します。証明文書にはセキュリティは設定されません。
文書の表紙や共通フォーマットなど、複数の人で共有したい文書を保存しておくと便利です。
証明文書を再印刷する方法については、「「証明文書」「公開文書」「セキュリティ文書」の印刷方法」P.1-11 を参照してください。

公開文書（公開印刷）

プリンタドライバで「公開文書」を設定して印刷すると、プリンタ内に文書データを保存しますが、試し印刷はしません。公開文書にはセキュリティは設定されません。
文書の表紙や共通フォーマットなど、複数の人で共有したい文書を保存しておくと便利です。
公開文書を再印刷する方法については、「「証明文書」「公開文書」「セキュリティ文書」の印刷方法」P.1-11 参照してください。

セキュリティ文書（セキュリティ印刷）

セキュリティ印刷データは、パスワードによって保護されています。プリンタドライバで「セキュリティ文書」を設定して印刷すると、プリンタ内に文書データを保存します。操作パネル、またはウェブブラウザから本機に接続して表示される設定画面を使用してパスワードを入力すると、印刷できます。印刷後、セキュリティ文書は削除されます。
セキュリティ文書を印刷する方法については、「「証明文書」「公開文書」「セキュリティ文書」の印刷方法」P.1-11を参照してください。

- オプションのコンパクトフラッシュ ™ を取り付けていない場合は、本機の電源を切ると、文書は削除されます。
- プリンタドライバの設定についての詳細は、「印刷ジョブのスプール」P.2-18を参照してください。
- 操作パネル、またはウェブブラウザから本機に接続して表示される設定画面を使用して、文書を削除することができます。操作パネルを使う場合は、設定メニューの「セットアップ」の「キオク　ショウキョ」から削除してください。

RAM ディスクの設定

証明印刷、公開印刷、セキュリティ印刷をするときに、コンパクトフラッシュ ™ を取り付けていない場合は、メモリ上に RAM ディスク領域を確保します。

1 **、、、のいずれかを押します。**

オフラインに切り替わり、モードメニューが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 **またはを押して「セットアップ」選択し、を押します。**

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
▼
ｹﾞﾝｺﾞ　ｾﾝﾀｸ

3 **またはを押して「RAM ディスクサイズ」を選択し、を押します。**

RAM ﾃﾞｨｽｸｻｲｽﾞ
▼
=0MB

4 **を押して再印刷で使用する RAM ディスク容量を 1 MB 単位で増やします。**

=5MB

5 **を押して本機を再起動させます。**

設定した RAM ディスクサイズ分の容量が有効になります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

- セキュリティ印刷するために RAM ディスク領域を確保した場合は、本機の作業領域が減少し、本機の性能が低下します。セキュリティ印刷をしないときは、確保した RAM ディスク領域を 0MB に戻してください。
- RAM ディスクに保存された再印刷用データは、本機の電源を切ると削除されます。
- 大量にセキュリティ印刷データを印刷するときは、メモリ（RAM）の容量を増設することをおすすめします。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4

「証明文書」「公開文書」「セキュリティ文書」の印刷方法

本機の操作パネルから証明印刷、公開印刷、セキュリティ印刷をするときの方法について説明します。

1 を押します。

ｻｲｺﾞﾉ ｲﾝｻﾂｼﾞｮﾌﾞ

再印刷データがない場合は、「キオクデータ　ナシ」と表示されます。

2 または を押して「セキュリティ　ブンショ」/「コウカイ　ブンショ」/「ショウメイ　ブンショ」から選択し、を押します。

ｾｷｭﾘﾃｨ ﾌﾞﾝｼｮ
ｺｳｶｲ ﾌﾞﾝｼｮ
ｼｮｳﾒｲ ﾌﾞﾝｼｮ

3 または を押してユーザ名を選択し、を押します。

ﾕｰｻﾞ XXXXXX

4 または を押して印刷データを選択し、を押します。

ｼﾞｮﾌﾞ XXXXXX

5 または を押してパスワードを入力し、を押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =0000

メモ

- 証明印刷データ、公開印刷データの場合は、この項目は表示されません。手順 6 に進んでください。
- ボタン操作がない状態で一定時間が経過した場合は、「リプリント」メニューを終了し、「インサツデキマス」表示に戻ります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

6 またはを押します。

印刷が開始されます。

ﾌﾞｽｳ =　　1
▼
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ

- を押した場合は、「Set ボタン　ヲ　オスト　インサツシマス」と表示されます。再印刷を続けたい場合は、を押してください。
- を押すと、再印刷および一時停止中の再印刷データをキャンセルすることができます。

ランプ

操作パネル上のランプは、点灯　点滅　消灯よって、本機の状態を示します。

(Data ランプ）による状態表示

各ランプの状態は、下記のように表現します。

ランプの表示	本機の状態
点灯	本機のメモリに印刷データが残っています。
点滅	印刷データを受信中または処理中です。
消灯	本機のメモリに印刷データは残っていません。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイは現在の本機の状態やメニューの内容を表示します。操作パネルのボタンを押すと、液晶ディスプレイの表示が切り替わります。
本機に問題が発生した場合は、その内容に応じてエラーメッセージを表示し、お客様に処置を取っていただくよう促します。エラーメッセージについての詳細は、「第 5 章 トラブルシューティング」P.5-1を参照してください。

バックライト

液晶ディスプレイには 3 色のバックライトを採用しています。離れた場所からでも本機の状態をひと目で確認できます。

液晶ディスプレイの表示	本機の状態
消灯	電源オフ
	スリープ状態
緑色（待機）	待機中
	印刷中
	印刷準備中
	ジョブキャンセル中
赤色（エラー）	本機に問題が発生
オレンジ色（設定）	オフライン中
	メニューの設定
	再印刷の設定
	一時停止

ステータスメッセージ

通常動作中に表示されるステータスメッセージを下記の表に示します。

ステータスメッセージ	内容
データムシ	PS ドライバを使用して処理された印刷データを無視しています。
ジョブキャンセル	ジョブをキャンセル中です。
ショキカチュウ	設定を初期化中です。
テイシ	印刷を一時停止中です。（ を押すと再開されます。）
Set ボタン　ヲ　オスト　インサツシマス	を押すと、印刷を開始します。
インサツチュウ	現在印刷中です。
ショリチュウ	データ処理中です。
カキコミチュウ	コンパクトフラッシュ ™ にアクセス中です。
RAM サイズ =XXMB	本機のメモリは XXMB です。
インサツデキマス	印刷できる状態です。
コウジョウセッテイリセット	本機の設定を初期設定（工場出荷時）の状態に戻します。
ショキカユーザー　セッテイ	本機の設定をユーザ設定に戻します。
カイゾウド　チョウセイ	解像度を低くした状態で印刷中です。
セルフテスト	自己診断機能が動作中です。
スリープ	スリープ状態（省エネモード）です。
オマチクダサイ	ウォームアップ中です。（印刷データの受信は可能です。）

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

操作パネルの使いかた

操作パネル上のボタン（、、、）を使用して設定メニューを設定する場合は、次の基本動作に注意してください。

- ボタン操作がない状態で一定時間（30 秒）が経過した場合は、設定メニューを終了し、「インサツデキマス」表示に戻ります。
- 設定を変更してを押すと、液晶ディスプレイの右端に「＊」が表示されます。その後に、1 つ上の設定メニューに戻ります。
- 設定メニューを変更してを押す前に、を押すと、設定の変更を確定せずに、元の設定値のまま 1 つ上の設定メニューに戻ります。
- 設定値（番号）の変更は、を 1 回押すごとに次の設定値（1 ずつ増加）、を押すごとに 1 つ前の設定値（1 ずつ減少）に変更できます。

  または を押し続けると、より速く変更できます。

  目的の設定値（番号）が表示されたら、を押して確定します。

例：「MP トレイ　ユウセン」をオンに設定する場合

多目的トレイからの給紙を最優先する場合には「MP トレイ　ユウセン」をオンにします。
初期設定はオフです。

1

、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2

またはを押して「ヨウシ」を選択し、を押します。

ﾖｳｼ
▼
ｷｭｳｼ

3

またはを押して「MP トレイ　ユウセン」を選択し、を押します。

MP ﾄﾚｲ ﾕｳｾﾝ
▼
= ｵﾌ　＊

4

を押して「オン」を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に「＊」が表示されます。「＊」は現在の設定値を示します。

= ｵﾝ
▼
= ｵﾝ　＊

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

操作パネルのモードと設定メニュー

本機の液晶ディスプレイの設定メニューでは、用紙トレイに次の名称が付けられています。

用紙トレイの名称	液晶ディスプレイ上での名称
用紙トレイ、またはカセット	トレイ 1
多目的トレイ、または手差しトレイ	MP トレイ
ローワートレイユニット、またはペーパーフィーダー	トレイ 2

設定メニューは 8 種類のモードに分類されています。下記の マークをクリックすると、各モードのそれぞれ設定メニューの詳細を参照できます。

- インフォメーション P.1-15
- ヨウシ P.1-16
- ガシツ P.1-17
- セットアップ P.1-17
- インサツ　メニュー P.1-19
- ネットワーク P.1-21
- インタフェース P.1-22
- リセット　メニュー P.1-22

インフォメーション

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>セッテイリスト　インサツ</td><td colspan="2">設定メニューと設定値のリストを印刷します。</td></tr>
<tr><td>テストページ　インサツ</td><td colspan="2">テストページを印刷します。</td></tr>
<tr><td>ファイルリスト　インサツ</td><td colspan="2">メモリ内にある印刷データのファイルリストを印刷します。
コンパクトフラッシュ ™ を取り付けている場合は、コンパクトフラッシュ ™ 内にある印刷データのファイルリストを印刷します。</td></tr>
<tr><td>フォントリスト　インサツ</td><td colspan="2">フォントリストを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">バージョン</td><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>SER.NO=#########</td><td>製造番号を表示します。</td></tr>
<tr><td>ROM VER=####</td><td>ROM のファームウェアバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>ROM DATE=##/##/##</td><td>ROM バージョンの更新日を表示します。</td></tr>
<tr><td>NET VER=####</td><td>ネットワークファームウェアバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>RAM サイズ =###MB</td><td>メモリ容量を表示します。</td></tr>
</table>

設定メニュー	説明	
メンテナンス	ページ　カウンタ	=###### 本機で印刷した合計枚数を表示します。
	ドラムカウンタ	=###### 現在のドラムで印刷した合計枚数を表示します。
	ドラム　ノコリジュミョウ	=###### 現在のドラムで印刷できる残り枚数を表示します。
	PF キット MP　ノコリジュミョウ	=###### 現在の多目的トレイ給紙キットで印刷できる残り枚数を表示します。
	PF キット 1　ノコリジュミョウ	=###### 現在の用紙トレイ給紙キットで印刷できる残り枚数を表示します。
	PF キット 2　ノコリジュミョウ	=###### 現在のローワートレイユニット給紙キットで印刷できる残り枚数を表示します。
	テイッチャクキ　ノコリジュミョウ	=###### 現在の定着ユニットで印刷できる残り枚数を表示します。
	スキャナ　ノコリジュミョウ	=###### 現在のレーザーユニットで印刷できる残り枚数を表示します。

ヨウシ

設定メニュー	説明
キュウシ	= オート / MP トレイ / トレイ 1 給紙する用紙トレイを設定します。
ユウセンジュンイ	=MP> トレイ 1> トレイ 2/ トレイ 1> トレイ 2>MP/ トレイ 1> トレイ 2 給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。 「トレイ 1> トレイ 2」に設定したとき、プリンタドライバの設定で「給紙方法」が「自動」の場合は、多目的トレイは選択されません（無効）。
MP トレイ　ユウセン	= オン / オフ 多目的トレイからの給紙を最優先にするときはオンに設定します。
MP トレイ　サイズ	= フリー /A4/ レター ... 多目的トレイから給紙する用紙サイズを設定します。
テサシ	= オン / オフ 多目的トレイから手動で給紙するときはオンに設定します。
トレイ 1　サイズ	= ジドウ　ケンチ /A4/ レター ... 用紙トレイから給紙する用紙サイズを設定します。
トレイ 2　サイズ	= ジドウ　ケンチ /A4/ レター ... ローワートレイユニットから給紙する用紙サイズを設定します。
リョウメンインサツ	= オフ / オン（チョウヘン　トジ）/ オン（タンペン　トジ） 自動両面印刷をするときに設定します。 • オン（チョウヘン　トジ）: 長辺を綴じる • オン（タンペン　トジ）: 短辺を綴じる

ガシツ

設定メニュー	説明
カイゾウド	=300/600/1200 印刷解像度（dpi）を設定します。
HRC	= オフ / ジャク / チュウ / キョウ 高解像度制御（High Resolution Control）を設定します。 解像度が 300 または 600dpi のときでも高品質な文字やグラフィックスを印刷できます。
トナー　セツヤク	= オン / オフ トナーを節約して印刷するときはオンに設定します。
インサツ　ノウド	=-6/-5/-4/-3/-2/-1/0/1/2/3/4/5/6 印刷濃度を設定します。

セットアップ

設定メニュー	サブ設定メニュー	説明
ゲンゴ　センタク		= ニホンゴ /ENGLISH 液晶ディスプレイに表示する言語を表示します。
パネル　コントロール	ヒョウジ　ノウド	=0/1/2 液晶ディスプレイの濃度を設定します。
	パネル　ジドウ　フッキ	= オン / オフ 本機のオンライン / オフライン状態を自動で切り替えるときはオンに設定します。
	ボタン　ナガオシ　ソクド	=0.1/0.2/0.3/0.4/0.5/1.0/1.5/2.0 ビョウ 設定した間隔（秒）以上 または を押したときに、液晶ディスプレイの表示を切り替えます。初期設定は 0.1 秒です。
	ヒョウジ　スクロール　ソクド	レベル 1 ～レベル 10 液晶ディスプレイの表示を切り替えるときの速度をレベル 1（0.2 秒）～レベル 10（2.0 秒）の 0.2 秒間隔 10 段階で設定します。
エラー　ブザー		= オフ / ヒョウジュン / レンゾク エラーが発生したときのブザーの鳴動方法を設定します。 • オフ :　エラーが発生してもブザーを鳴らしません。 • ヒョウジュン : エラーが発生したときに、ブザー（5 回）を 1 度鳴らします。 • レンゾク :　エラーが発生したときに、エラーを解除するまでブザー（5 回）を鳴らし続けます。
パネル　ブザー		= オフ / オン ボタンを押したときの操作音を鳴らすときはオンに設定します。
ブザー　オンリョウ		= ショウ / ダイ ブザー音量を設定します。

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>デンリョクセツヤク
ジカン</td><td colspan="2">=1/2/3/4/5.../240 フン
ボタン操作がない状態から省電力モードに切り替わるまでの時間（分）を設定します。</td></tr>
<tr><td>エラーカイジョ</td><td colspan="2">= オフ / オン
復帰可能なエラーが発生したときに、エラーから自動的に復帰させる場合はオンに設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パネル　ロック</td><td colspan="2">= オフ / オン
操作パネルをロック（操作禁止）するときはオンに設定します。</td></tr>
<tr><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>パスワード =####</td><td>「パネル　ロック」のパスワードを設定します。「パネル　ロック」を「オン」から「オフ」に変更するときに、ここで設定しパスワードを入力します。</td></tr>
<tr><td>リプリント</td><td colspan="2">= オン / オフ
再印刷を使用するときはオンに設定します。</td></tr>
<tr><td>ページプロテクト</td><td colspan="2">= オフ / レター / リーガル /A4/ オート
ページプロテクトを使用するときは、オートまたは用紙サイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>エミュレーション</td><td colspan="2">= オート /HP LASERJET/EPSON FX-850/BR-SCRIPT3
使用するエミュレーションモードを設定します。</td></tr>
<tr><td>PCL ホゾン</td><td colspan="2">= オフ / オン
PCL の設定を保存するときはオンに設定します。</td></tr>
<tr><td>RAM ディスクサイズ</td><td colspan="2">=0/1/2/...MB
セキュリティ印刷で使用するメモリ（RAM ディスク）容量を設定します。「プリンタ　リスタート？」と表示されますので、を押して本機を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">キオク　ショウキョ</td><td colspan="2">コンパクトフラッシュ ™ 内の印刷データを削除します。</td></tr>
<tr><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>セキュリティ　ブンショ</td><td>削除するセキュリティ文書のユーザ名、ジョブ名、パスワードを設定します。</td></tr>
<tr><td>パブリック　ブンショ</td><td>削除する公開文書のジョブ名を設定します。</td></tr>
<tr><td>プルーフ　ブンショ</td><td>削除する証明文書のジョブ名を設定します。</td></tr>
<tr><td>データ　ID（CF）</td><td>=####
コンパクトフラッシュ ™ のデータ ID を設定します。</td></tr>
<tr><td>マクロ ID（CF）</td><td>=####
コンパクトフラッシュ ™ のマクロ ID を設定します。</td></tr>
<tr><td>フォント ID（CF）</td><td>=####
コンパクトフラッシュ ™ のフォント ID を設定します。</td></tr>
<tr><td>フォーマット（CF）</td><td>OK?
コンパクトフラッシュ ™ をフォーマットします。</td></tr>
</table>

インサツ　メニュー

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>ヨウシ　シュルイ</td><td colspan="2">= フツウシ（アツメ）/ アツガミ /OHP/ チョウ アツガミ / フツウシ / ボンドシ / フウトウ / ハガキ / サイセイシ
用紙の種類を設定します。</td></tr>
<tr><td>ヨウシ</td><td colspan="2">= レター/A4/ リーガル / フォリオ / エグゼクティブ /COM-10/ モナーク / C5/DL/DL（ヨコオキ）/B5/A5/A6/B6/JIS B5/A4 LONG/ ハガキ / オーガナイザ J, オーガナイザ K, オーガナイザ L, オーガナイザ M
用紙サイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>ブスウ</td><td colspan="2">=1 ～ 999
印刷部数を設定します。</td></tr>
<tr><td>インサツホウコウ</td><td colspan="2">= タテ / ヨコ
印刷するページの内容に合わせて、印刷の向きを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">インジ　イチ</td><td colspan="2">ページ書式に合わせて、印刷位置を補正します。</td></tr>
<tr><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>X オフセット =####</td><td>300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で設定できます。</td></tr>
<tr><td>Y オフセット =####</td><td>300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で設定できます。</td></tr>
<tr><td>オートフォームフィードタイム</td><td colspan="2">= オフ /1/2/.../99 ビョウ
を押さなくても、残りのデータの印刷を開始する時間（秒）を設定します。</td></tr>
<tr><td>FF ヨクセイ</td><td colspan="2">= オフ / オン
給紙抑制機能を使用するときはオンに設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">HP LASERJET
(未サポート)</td><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>フォント NO.</td><td>=I0000...####
フォント No. を設定します。</td></tr>
<tr><td>フォントピッチ</td><td>=###.##
文字間隔と文字サイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>コードテーブル</td><td>PC-8/...
シンボルセットまたはキャラクタセットを設定します。</td></tr>
<tr><td>コードテーブル　インサツ</td><td>プリントコード表を印刷します。</td></tr>
<tr><td>オート LF</td><td>= オフ / オン
オン：CR → CR+LF
オフ：CR → CR</td></tr>
<tr><td>オート CR</td><td>= オフ / オン
オン： LF → LF+CR、FF+CR、
または VT → VT+CR
オフ： LF → LF、FF → FF、
または VT → VT</td></tr>
<tr><td>オートラップ</td><td>= オフ / オン
右マージンに到達すると自動改行させるときはオンに設定します。</td></tr>
</table>

設定メニュー	説明	
	サブ設定メニュー	説明
HP LASERJET (未サポート)	オートスキップ	= オン / オフ マージンに到達すると自動改行させるときはオンに設定します。
	ヒダリ　マージン	=#### 1 インチ 10 文字ピッチで左マージンを 0 列～ 70 列に設定します。
	ミギ　マージン	=#### １インチ 10 文字ピッチで右マージンを 10 列～ 80 列に設定します。
	ウエ　マージン	=#### 上部マージンを用紙端から 0、0.33、0.5、1.0、1.5 または 2.0 インチに設定します。（初期設定は 0.5 インチ）
	シタ　マージン	=#### 下部マージンを用紙端から 0、0.33、0.5、1.0、1.5 または 2.0 インチに設定します。（初期設定は 0.5 インチ）
	ギョウスウ	=#### ページの印刷行数を 5 行から 128 行の範囲で設定します。
EPSON FX-850 (未サポート)	フォント NO.	=I0000...#### フォント No. を設定します。
	フォントピッチ	=###.## 文字間隔と文字サイズを設定します。
	コードテーブル	PC-8/... シンボルセットまたはキャラクタセットを設定します。
	コードテーブル　インサツ	プリントコード表を印刷します。
	オート LF	= オフ / オン オン：CR → CR+LF オフ：CR → CR
	オート　マスク	= オフ / オン
	ヒダリ　マージン	=#### 1 インチ 10 文字ピッチで左マージンを 0 列～ 70 列に設定します。
	ミギ　マージン	=#### １インチ 10 文字ピッチで右マージンを 10 列～ 80 列に設定します。
	ウエ　マージン	=#### 上部マージンを用紙端から 0、0.33、0.5、1.0、1.5 または 2.0 インチに設定します。（初期設定は 0.33 インチ）
	シタ　マージン	=#### 下部マージンを用紙端から 0、0.33、0.5、1.0、1.5 または 2.0 インチに設定します。（初期設定は 0.33 インチ）

設定メニュー	説明	
	サブ設定メニュー	説明
EPSON FX-850 (未サポート)	ギョウスウ	=#### ページの印刷行数を 5 行から 128 行の範囲で設定します。
BR-SCRIPT3	エラーインサツ	= オフ / オン エラーが発生したときに、エラー情報を印刷します。

ネットワーク

設定メニュー	説明	
	サブ設定メニュー	説明
TCP/IP	TCP/IP オン / オフ	= オン / オフ TCP/IP を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。
	IP アドレス	###.###.###.### IP アドレスを設定します。
	サブネット マスク	###.###.###.### サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイアドレス	###.###.###.### ゲートウェイのアドレスを設定します。
	IP セッテイリトライ	=# IP 取得時のリトライ回数を設定します。
	IP セッテイホウホウ	= オート / コテイ /RARP/BOOTP/DHCP IP の取得先を設定します。
	APIPA	= オン / オフ APIPA 機能を使用するときはオンに設定します。
NETWARE	NETWARE オン / オフ	= オン / オフ NetWare® を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。
	フレームタイプ	= オート /8023/ENET/8022/SNAP フレームタイプを設定します。
APPLETALK (未サポート)	= オン / オフ AppleTalk® を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。	
NETBEUI	= オン / オフ NetBEUI を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。	
DLC/LLC	= オン / オフ DLC/LLC を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。	
NETBIOS/IP	= オン / オフ NetBIOS を使用してネットワークに接続するときはオンに設定します。	
イーサネットモード	= オート /100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD イーサネットの通信速度を設定します。	

インタフェース

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>センタク</td><td colspan="2">= パラレル / オート /USB/ ネットワーク
本機とパソコンの接続方法を設定します。</td></tr>
<tr><td>オートインタフェース
タイム</td><td colspan="2">=1 ～ 99 ビョウ
自動インタフェース選択機能のタイムアウト時間（秒）を設定します。</td></tr>
<tr><td>バッファ</td><td colspan="2">= レベル 1 ～レベル 15
入力バッファ容量をベル 1 ～レベル 15 の 15 段階で設定します。
「プリンタ　リスタート？」と表示され、本機が再起動されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">パラレル</td><td colspan="2">パラレルインタフェースを使用する場合に設定します。</td></tr>
<tr><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ハイスピード</td><td>= オン / オフ
高速パラレル通信を設定します。</td></tr>
<tr><td>ソウホウコウ</td><td>= オン / オフ
双方向パラレル通信を設定します。</td></tr>
<tr><td>INPUT PRIME</td><td>= オン / オフ
prime 信号入力を設定します。</td></tr>
<tr><td>USB 2.0</td><td>ハイスピード</td><td>= オン / オフ
Hi-Speed USB 2.0 通信を設定します。</td></tr>
</table>

リセット　メニュー

設定メニュー	説明
プリンタ　リセット	本機をリセットし、すべての設定（コマンド設定を含む）を操作パネルで変更した設定に戻します。
コウジョウ　リセット	本機をリセットし、すべての設定（コマンド設定を含む）をコウジョウ出荷時の設定に戻します。「初期設定」P.1-23 を参照してください。

初期設定

本機は、工場出荷時にはすでに設定されています。これらの設定を「初期設定」と呼びます。
初期設定は、お客様の使いかたに合わせて変更することができます。

・設定はエミュレーションモードに依存します。
・「インフォメーション」モードの「ページカウンタ」、「ガシツ」モードの「HRC」、「セットアップ」モードの「ページプロテクト」、「パネルロック」、「ゲンゴ　センタク」、「インタフェース」モード、スケーラブルフォントは、「リセット　メニュー」モードの「コウジョウ　リセット」を使っても初期設定には戻りません。
・「インサツ　メニュー」モードの「ブスウ」は、本機の電源をオン / オフするたびに初期設定「1」に戻ります。

初期設定のリスト

モード	設定メニュー	サブ設定メニュー	初期値
ヨウシ	キュウシ		= オート
	ユウセンジュンイ		= トレイ 1> トレイ 2>MP
	MP トレイ　ユウセン		= オフ
	MP トレイ　サイズ		= フリー
	テサシ		= オフ
	トレイ 1　サイズ		= ジドウ　ケンチ
	トレイ 2　サイズ		= ジドウ　ケンチ
	リョウメンインサツ		= オフ
ガシツ	カイゾウド		=600
	HRC		= チュウ
	トナー　セツヤク		= オフ
	インサツ　ノウド		=0
セットアップ	ゲンゴ　センタク		= ニホンゴ
	パネル　コントロール	ヒョウジ　ノウド	=0
		パネル　ジドウ　フッキ	= オン
		ボタン　ナガオシ　ソクド	=0.1 ビョウ
		ヒョウジ　スクロール　ソクド	レベル 1
	エラー　ブザー		= オフ
	パネル　ブザー		= オフ
	ブザー　オンリョウ		= ショウ
	デンリョクセツヤク　ジカン		=5 フン
	エラーカイジョ		= オフ
	パネル　ロック		= オフ
	リプリント		= オン
	ページプロテクト		= オート
	エミュレーション		= オート
	PCL ホゾン		= オフ
	RAM ディスクサイズ		=0MB

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

モード	設定メニュー	サブ設定メニュー	初期値
インサツ　メニュー	ヨウシ　シュルイ		= フツウシ（アツメ）
	ヨウシ		=A4
	ブスウ		=1
	インサツホウコウ		= タテ
	インジ　イチ	X オフセット =####	X オフセット =0
		Y オフセット =####	Y オフセット =0
	オートフォームフィードタイム		= オフ
	FF ヨクセイ		= オフ
	HP LASERJET（未サポート）	フォント NO.	=59
		フォントピッチ	=10.00/12.00
		コードテーブル	PC-8
		オート LF	= オフ
		オート CR	= オフ
		オートラップ	= オフ
		オートスキップ	= オン
		ヒダリ マージン	=####
		ミギ マージン	=####
		ウエ マージン	=####
		シタ マージン	=####
		ギョウスウ	=####
	EPSON FX-850（未サポート）	フォント NO.	=59
		フォントピッチ	=10.00/12.00
		コードテーブル	US ASCII
		オート LF	= オフ
		オート マスク	= オフ
		ヒダリ マージン	=####
		ミギ マージン	=####
		ウエ マージン	=####
		シタ マージン	=####
		ギョウスウ	=####
	BR-SCRIPT3	エラーインサツ	= オフ
ネットワーク	TCP/IP	TCP/IP オン / オフ	= オン
		IP アドレス	=169.254.###.### ※1
		サブネット マスク	=255.255.0.0 ※1
		ゲートウェイアドレス	=0.0.0.0
		IP セッテイリトライ	=3
		IP セッテイホウホウ	= オート
		APIPA	= オン
	NETWARE	NETWARE オン / オフ	= オン
		フレームタイプ	= オート
	APPLETALK		= オン
	NETBEUI		= オン
	DLC/LLC		= オン
	NETBIOS/IP		= オン
	イーサネットモード		= オート

※1　「APIPA」を「オン」に設定すると、APIPA プロトコルによって、IP アドレスとサブネットマスクが自動的に設定されます。詳細は「ネットワーク設定説明書」を参照してください。

モード	設定メニュー	サブ設定メニュー	初期値
インタフェース	センタク		= オート
	オートインタフェースタイム		=5
	バッファ		= レベル 3
	パラレル	ハイスピード	= オン
		ソウホウコウ	= オン
		INPUT PRIME	= オフ
	USB 2.0	ハイスピード	= オン

ネットワーク設定のリセット

ネットワークの設定は操作パネルでリセットすることはできません。パスワードや IP アドレス情報など、すでに設定しているネットワークの情報は次の手順でリセットします。

1 ネットワークテストボタンを 5 秒以上押します。P.1-4

ネットワークの設定がリセットされます。

ネットワークテストボタンを 5 秒未満で離すと、ネットワークの設定はリセットされずに、「ネットワーク」モードの設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

設定ページの印刷

プリンタ設定ページの印刷

本機の設定メニューと設定値（「ネットワーク」モード以外）のリストは、次の手順で印刷します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 「インフォメーション」が表示されていることを確認して、を押します。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
▼
ｾｯﾃｲﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ

3 「セッテイリスト　インサツ」が表示されていることを確認して、を押します。

ｾｯﾃｲﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ

設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

ネットワーク設定ページの印刷

「ネットワーク」モードの設定メニューと設定値のリストは、次の手順で印刷します。

1 ネットワークテストボタンを押します。P.1-4

「ネットワーク」モードの設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

ネットワークテストボタンを 5 秒以上押したままにしないでください。ネットワークの設定がリセットされます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

テストページの印刷

テストページは、次の手順で印刷します。

1

のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2

「インフォメーション」が表示されていることを確認して、を押します。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
▼
ｾｯﾃｲﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ

3

を 1 回押して「テストページ　インサツ」を選択し、を押します。

ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ

テストページが印刷されます。

メモ

プリンタドライバからの印刷方法

Windows® 用プリンタドライバを使用している場合は、「HITACHI PC-PL2180 のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある テスト ページの印刷(T) をクリックします。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

ブザー音について

本機には、ブザーが装備されています。操作パネルのボタンを押すか、本機の状態が変わると、ブザー音が鳴ります。ブザー音の意味の下記の表を参照してください。

ブザー音	意味
短い音が 1 回鳴る	操作パネルのボタンを押して何らかの情報を入力したとき
短い音が 2 回鳴る	• 設定メニュー、設定値をスクロールさせて切り替えて、最初の設定メニュー、設定値に戻ったとき • 他のメニュー階層に切り替えたとき
短い音が 5 回鳴る	エラーが発生したとき
長い音が 1 回鳴る	設定を変更したとき
長い音が 2 回鳴る	• 本機がオンラインに切り替わったとき • ウォーミングアップ状態から「インサツデキマス」表示に切り替わったとき
長い音と短い音が交互に鳴る	間違った情報を入力したとき

ブザーの鳴らしかた、音量は「セットアップ」モードの「エラー　ブザー」、「パネル　ブザー」、「ブザー　オンリョウ」で変更できます。P.1-17

エミュレーションモードについて

HP LaserJet モード（未サポート）

HP LaserJet モード（HP モード）は、ヒューレット　パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語互換のエミュレーションモードです。

アプリケーションソフトがヒューレット　パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

BR-Script 3 モード

BR-Script 3 モードは、当社独自の言語と PostScript® 言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。

レベル 3 の PostScript® に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScript のコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

EPSON FX-850 モード（未サポート）

EPSON FX-850 モードは、ドットマトリクスプリンタ用の業界基準を準拠するためのエミュレーションモードです。

ドットマトリクス対応プリンタから印刷する必要がある場合は、このモードを使用してください。

使用できる用紙と領域

推奨紙

用紙種類	用紙名
普通紙	My Paper 64g/m^2、P 紙 64g/m^2、PB PAPER 64g/m^2、GF-500 68g/m^2、
	CP-250 64g/m^2、SC-250 68g/m^2、
再生紙	Green 100、EW-500、EN-500、EW-100、EN-100
OHP	住友 3M CC3300、キヤノン LBP 用 OHP フィルム
ラベル	エーワンレーザーラベル 28362、
	キヤノン LBP 用ラベル用紙 A4-001/A4-121/P-201A4

印刷用紙と寸法

本機は本体の用紙トレイ、多目的トレイ、またはオプションのローワートレイユニットから用紙を給紙します。
プリンタドライバ上では、下記の名称で表示しています。

本体の名称	プリンタドライバ上での名称
用紙トレイ、または用紙カセット	トレイ 1
多目的トレイ、または手差しトレイ	MP トレイ
ローワートレイユニット、またはペーパーフィーダー	トレイ 2

下表のマークをクリックすると、それぞれの用紙のセット方法が参照できます。

用紙の種類	トレイ 1	多目的（MP）トレイ	トレイ 2	自動両面印刷	プリンタドライバで用紙媒体を選択
薄紙 60g/m^2 ～ 75g/m^2	P.2-38	P.2-41	P.2-38	P.2-73	普通紙
普通紙（厚め） 75g/m^2 ～ 105g/m^2	P.2-38	P.2-41	P.2-38	P.2-73	普通紙（厚め） 普通紙
再生紙	P.2-38	P.2-41	P.2-38	P.2-73	再生紙
ボンド紙 60g/m^2 ～ 161g/m^2	P.2-38 60g/m^2 ～ 105g/m^2	P.2-41 60g/m^2 ～ 161g/m^2	P.2-38 60g/m^2 ～ 105g/m^2		ボンド紙
厚紙 105g/m^2 ～ 161g/m^2		P.2-48			厚紙 超厚紙
官製ハガキ※	P.2-51 最大 30 枚	P.2-54			ハガキ
OHP フィルム （A4、レターサイズのみ）	P.2-45 最大 10 枚	P.2-48			OHP
ラベル紙 （A4、レターサイズのみ）		P.2-63			超厚紙
封筒		P.2-58			封筒

※ 私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは使用できません。

各トレイで使用できる用紙サイズと枚数は、次のようになります。

トレイ	トレイ 1	多目的（MP）トレイ	トレイ 2	自動両面印刷時
用紙サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6	幅 69.9 ～ 215.9mm × 長さ 116 ～ 406.4mm	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5	A4、レター、 リーガル、
枚数（容量）	500 枚（64g/m^2）	100 枚（64g/m^2）	500 枚（64g/m^2）	

印刷する用紙の種類によっては、背面排紙トレイ（上面排紙トレイ）を使用する必要があります。
下表の　マークをクリックすると、それぞれの用紙の排紙方法が参照できます。

用紙の種類	上面排紙トレイ	背面排紙トレイ
普通紙 60g/m^2 ～ 105g/m^2	P.2-38 P.2-41	P.2-48
再生紙	P.2-38 P.2-41	P.2-48
ボンド紙	P.2-41	P.2-48
厚紙 105g/m^2 ～ 161g/m^2		P.2-48
官製ハガキ※	P.2-51 P.2-54	P.2-51 P.2-54
OHP フィルム （A4、レターサイズのみ）	P.2-45	P.2-48
ラベル紙 （A4、レターサイズのみ）		P.2-63
封筒		P.2-58

※ 私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは使用できません。

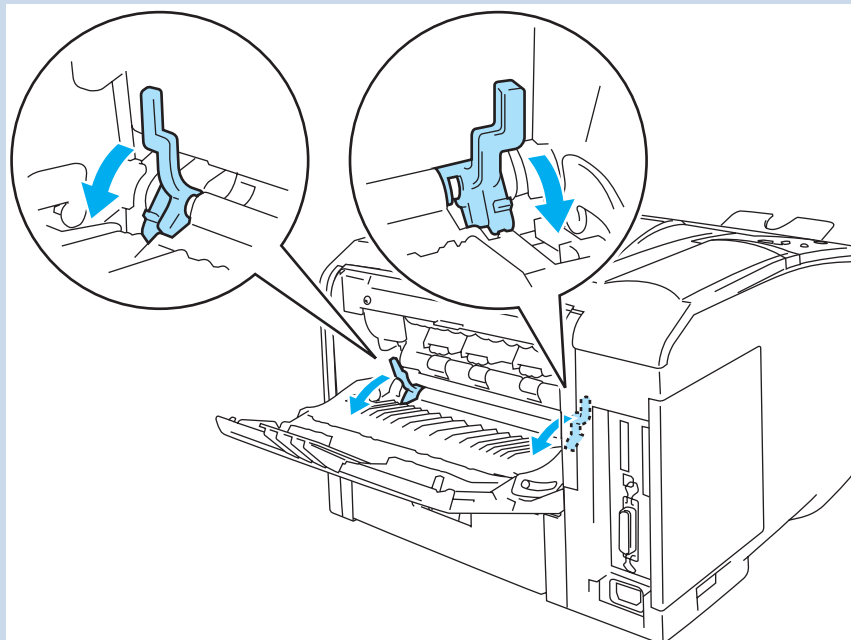
給紙する用紙トレイの優先順位は、操作パネルのボタンを使って設定メニューから設定できます。
P.1-16

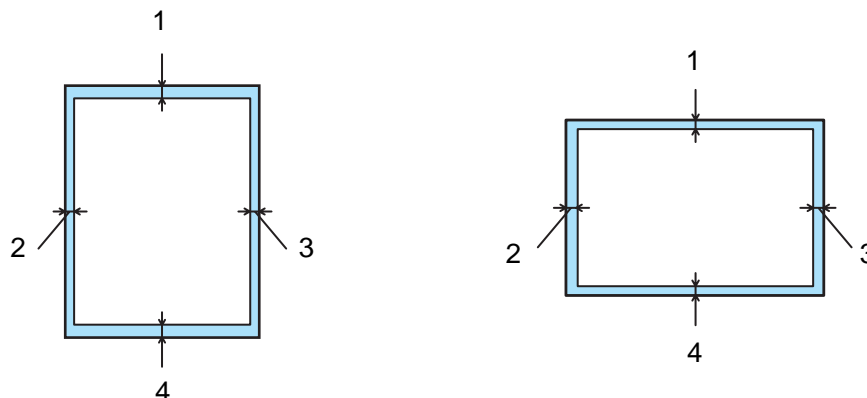
OHP フィルムを使用するときは、背面排紙トレイから排紙することをおすすめします。

たくさんの用紙を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから、購入してください。
用紙を購入するときは、次の点に注意してください。
- 普通紙コピー用の用紙をご使用ください。
- 用紙は中性紙を使用し、酸性やアルカリ性紙は使用しないでください。
- 用紙は縦目をご使用ください。
- 用紙の水分は約 5% のものをご使用ください。
- 連続紙をカットした用紙やミシン目が入っている用紙は使用しないでください。

- インクジェット紙を使用しないでください。紙づまりを起こし、故障の原因になります。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。本機に損傷を与える恐れがあります。

本機で使用できる用紙については、「用紙仕様」P.6-3の「対応用紙」を参照してください。

封筒を印刷する場合
- プリンタドライバの［基本設定］タブの［用紙媒体］で「封筒」を選択してください。
- 図のように、本機背面の背面排紙トレイを開け、左右の青色のレバーを押し下げます。印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。レバーがリセットされ元の位置に戻ります。

印刷可能領域

各用紙サイズに対する印刷できない範囲（縁）を下図に示します。
用紙サイズから縁寸法を引いた部分が、印刷可能領域になります。

	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6
1	4.2 mm（4.32mm※）、他のプリンタとの互換性を保つために 5mm 以上を推奨します。
2	4.2 mm、他のプリンタとの互換性を保つために 5mm 以上を推奨します。
3	4.2 mm（4.32mm※）、他のプリンタとの互換性を保つために 5mm 以上を推奨します。
4	4.2 mm、他のプリンタとの互換性を保つために 5mm 以上を推奨します。

※ BR-Script 3 のエミュレーションモードをご使用の場合は、4.32 mm になります。

添付ソフトウェアを使う

- このセクションは Windows® ユーザー専用です。
- 詳細はネットワーク設定説明書を参照してください。

プリンタードライバーインストーラ

このインストーラでは、ご使用のパソコンに直接接続されているプリンタ（ローカルプリンタ）やネットワークプリンタのプリンタドライバを簡単にインストールできるツールです。
Windows のシステムに接続されたローカルプリンタやネットワーク上のプリンタのドライバおよびポートの設定を自動で行うプログラムを作成することができます。

ネットワーク用ソフトウェア

BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows 95/98/Me/2000/XP および Windows NT 4.0 の環境下でネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているプリンタを設定したり、プリンタの状態を確認することができます。

ネットワーク印刷ソフトウェア

Windows からネットワーク（LAN またはインターネット）を通じて印刷するために必要なポートモニタ（インターネット印刷ソフトウェア / ピアツーピア印刷ソフトウェア）をインストールします。

第 2 章

印刷する

プリンタドライバについて

プリンタドライバとは、アプリケーションソフトから印刷を実行するときに、プリンタの各機能や動作を設定するためのソフトウェアです。

Windows® プリンタドライバは CD-ROM からインストールすることができます。最新のプリンタドライバは、以下のサポートホームページからダウンロードすることもできます。

http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/printer/download/driver/download_list.html

表示される画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によって異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 **用プリンタドライバ**

- Windows® プリンタドライバ　　CD-ROM メニューの「プリンタドライバのインストール」からインストールできます。
- Windows® BR-Script3 プリンタドライバ　　CD-ROM メニューの「プリンタドライバのインストール」を行い、インストール方法で「カスタムインストール」を選択すれば、インストールできます。

メモ

Windows® でご使用になる場合、Windows® プリンタドライバを使用されることをおすすめします。しかしながら Windows® でも、Adobe® の Photoshop® のような DTP ソフトを使用されている場合は、Windows® BR-Script3 プリンタドライバのご使用をおすすめします。

Windows 用プリンタドライバを設定する

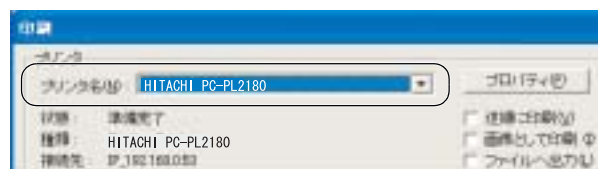
パソコンのデータをプリンタから印刷するときは、プリンタドライバで各種の設定ができます。

- このセクションの画面は、Windows® XP の画面です。ご使用のパソコン画面は、OS によって異なります。
- 最新のプリンタドライバやその他の情報は、ホームページ（**http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/printer/download/driver/download_list.html**）から入手できます。

Windows® プリンタドライバの設定方法

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、［適用(A)］または［OK］をクリックして、その設定を有効にしてください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「HITACHI PC-PL2180」を選択し、［プロパティ(P)］をクリックします。

プリンタドライバの設定画面「HITACHI PC-PL2180 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。

① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

② 「HITACHI PC-PL2180」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

③ Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「HITACHI PC-PL2180 のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定(I)...］ボタンをクリックします。「HITACHI PC-PL2180 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 95/98/Me の場合は、「HITACHI PC-PL2180 のプロパティ」に各項目が表示されます。

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「Windows® プリンタドライバの設定内容」P.2-5を参照してください。

4 [適用(A)]または[OK]をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。[OK]をクリックした場合は、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ

- [適用(A)]をクリックしなくても、[OK]をクリックすると、各タブで変更した設定が確定されます。
- [キャンセル]をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。
- 工場出荷時の初期設定に戻す場合は、手順 3 で[標準に戻す(U)]をクリックしてから[適用(A)]または[OK]をクリックします。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

Windows® プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで設定　変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、ご使用の OS によっては利用できない項目があります。
また、ご使用のアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

［基本設定］タブでの設定項目

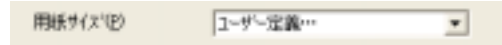
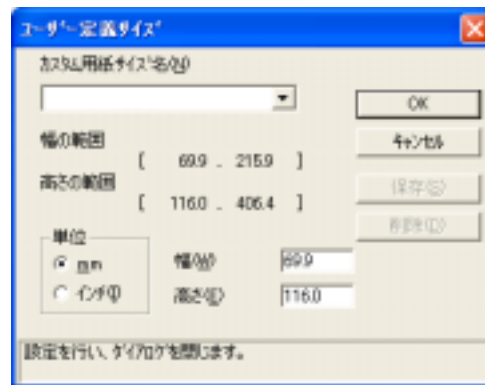
次の項目を設定できます。
（下記の　マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

①用紙サイズ P.2-6
②レイアウト P.2-6
③印刷の向き P.2-7
④部数 P.2-7
⑤用紙媒体 P.2-7
⑥給紙方法 P.2-8

［適用］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

用紙サイズ、レイアウトの設定項目は、プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。また、レイアウトと給紙方法の設定は、イラストをクリックして変更することもできます。

①用紙サイズ

用紙サイズの選択では、さまざまな標準用紙サイズから選ぶことができます。必要に応じて、横 69.8 ～ 215.9mm ×縦 116 ～ 406.4mm の間で、任意のサイズを作成することもできます。プルダウンメニューから、使用する用紙サイズを選択してください。

ユーザー定義サイズを選択して、任意のサイズを入力することもできます。適正な印刷品質を得るためには、適切な厚さの用紙を使ってください。

- アプリケーションソフトによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
- 最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

②レイアウト

レイアウトの選択によって、1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、画像サイズを拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷することができます。

レイアウトを使用したときの例

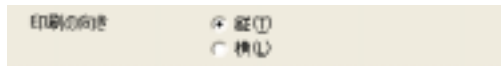
2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合	4 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合
「**2** ページ」を選択	「**4** ページ」を選択

仕切り線

レイアウト機能を使って、複数のページを 1 枚の用紙に印刷するときは、各ページの境界に実線または点線の境界線を入れることができます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

③印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

④部数

印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。

部単位

「部単位」チェックボックスをチェックすると、文書一式が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。「部単位」チェックボックスをチェックしていないときは、各ページが選択された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
例えば、3 ページの文書を 3 部印刷したときは次のようになります。

⑤用紙媒体

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙媒体を設定してください。

「普通紙（厚め）」：　市販されている厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙」：　市販されている普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙」：　ラベルなどの厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：　「厚紙」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「ボンド紙」：　ボンド紙に印刷する場合
「OHP」：　OHP フィルムに印刷する場合
「封筒」：　封筒に印刷する場合
「ハガキ」：　ハガキに印刷する場合
「再生紙」：　「再生紙」に印刷する場合

⑥給紙方法

給紙するトレイを選択します。

「自動選択」：　本機が自動的にトレイを選択します。

「トレイ 1」：　用紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙トレイから印刷する」P.2-38を参照してください。

「トレイ 2」：　オプションのローワートレイユニットを使用するときに選択します。オプションは別売品です。P.3-3を参照してください。

「MP トレイ」：　多目的トレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41を参照してください。

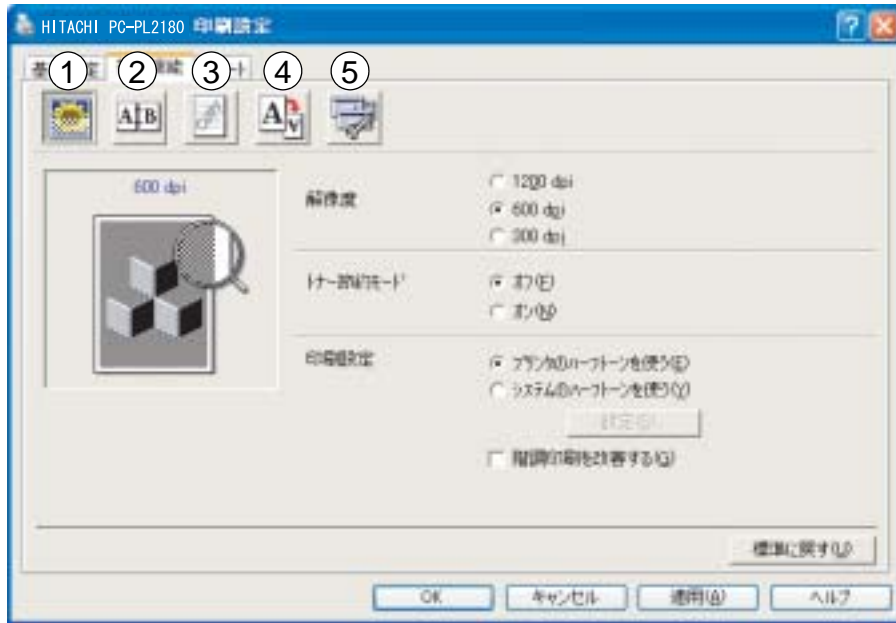
また、1 ページ目と 2 ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

「1 ページ目」：　1 ページ目を印刷するときの給紙方法を設定します。

「2 ページ目以降」：　2 ページ目以降を印刷するときの給紙方法を設定します。

多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

［拡張機能］タブでの設定項目

アイコンをクリックして、次の項目を設定　変更することがきます。

①グラフィックス P.2-10
②両面印刷 P.2-11
③ウォーターマーク P.2-12
④ページ設定 P.2-16
⑤その他特殊機能 P.2-17

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。

グラフィックス

解像度、トナー節約モード、印刷設定などが設定できます。

①解像度

解像度を次の 3 種類から選択します。

「1200 dpi」：　1 インチあたり 1200 ドットの解像度で印刷します。
「600 dpi」：　1 インチあたり 600 ドットの解像度で印刷します。
「300 dpi」：　1 インチあたり 300 ドットの解像度で印刷します。

" メモリフル " エラーがでる場合は、解像度を下げて印刷してください。

②トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

③印刷設定

輝度、コントラストなどの設定を手動で設定できます。

- Windows® 95/98/Me の場合

  「自動設定」：本機の設定のまま印刷されます。
  「手動設定」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

- Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP の場合

  「プリンタのハーフトーンを使う」：本機の設定のまま印刷されます。
  「システムのハーフトーンを使う」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

階調印刷を改善する（Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP のみ）

「階調印刷を改善する」チェックボックスをチェックすると、陰影部の画質を改善できます。階調部分が上手く印刷されない場合には、このチェックボックスをチェックしてください。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6 種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。
印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-66を参照してください。

①両面印刷

「両面印刷ユニットを使う」
自動で両面印刷ができます。手動で用紙をセットし直す必要がありません。
自動両面印刷に使用できる用紙は、A4、レターおよびリーガルの普通紙および再生紙です。
「手動両面印刷」
はじめに偶数ページ（裏面）をすべて印刷します。本機がいったん停止して、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、[OK] をクリックすると、奇数ページ（表面）の印刷を開始します。

②小冊子印刷

両面印刷機能とレイアウト機能の「2 ページ」（2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷）を組み合わせることで、小冊子のような印刷物を作ることができます。

③綴じ方

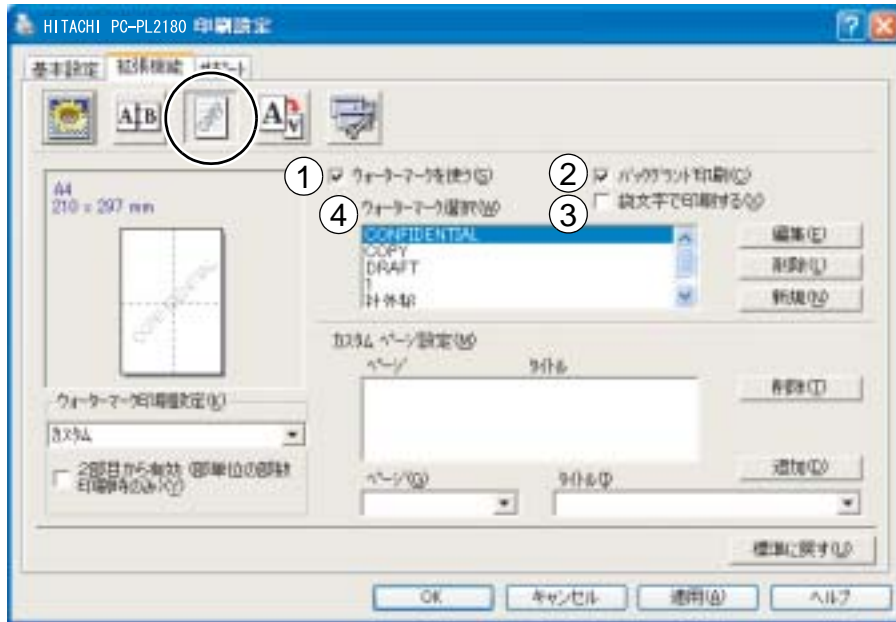
印刷の向き、縦または横など 6 種類の綴じ方があります。

左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
右綴じ	下綴じ	下綴じ（反転なし）

④綴じしろ

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をインチまたはミリメートルで設定できます。

ウォーターマーク

ロゴやテキストをウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめいくつかウォーターマークが登録されていますが、ビットマップファイルまたはテキストファイルを作成して使うことができます。
印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-77を参照してください。

①ウォーターマークを使う

「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックすると、「ウォーターマーク選択」から選択したウォーターマークを文書に入れて印刷できるようになります。また、選択したウォーターマークは編集することもできます。「ウォーターマーク設定」P.2-14を参照してください。

②バックグラウンド印刷

「バックグラウンド印刷」チェックボックスをチェックすると、文書の背景にウォーターマークが印刷されます。これをチェックしていないときは、文書の一番上にウォーターマークが印刷されます。

「バックグラウンド印刷」をチェックした場合	「バックグラウンド印刷」をチェックしていない場合
あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ 社外秘	あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ 社外秘

③袋文字で印刷する P.2-13
④ウォーターマーク選択 P.2-13

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

③袋文字で印刷する（WindowsNT®4.0、Windows® 2000/XP のみ）

ウォーターマークの輪郭を印刷したいときのみ、「袋文字で印刷する」チェックボックスをチェックします。

「袋文字で印刷する」をチェックした場合	「袋文字で印刷する」をチェックしていない場合

④ウォーターマーク選択

「ウォーターマーク印刷設定」には、次の選択項目があります。

「全ページ」: 全ページにウォーターマークが印刷されます。

「開始ページのみ」: 2 ページ以上の印刷の場合、最初のページにだけウォーターマークが印刷されます。

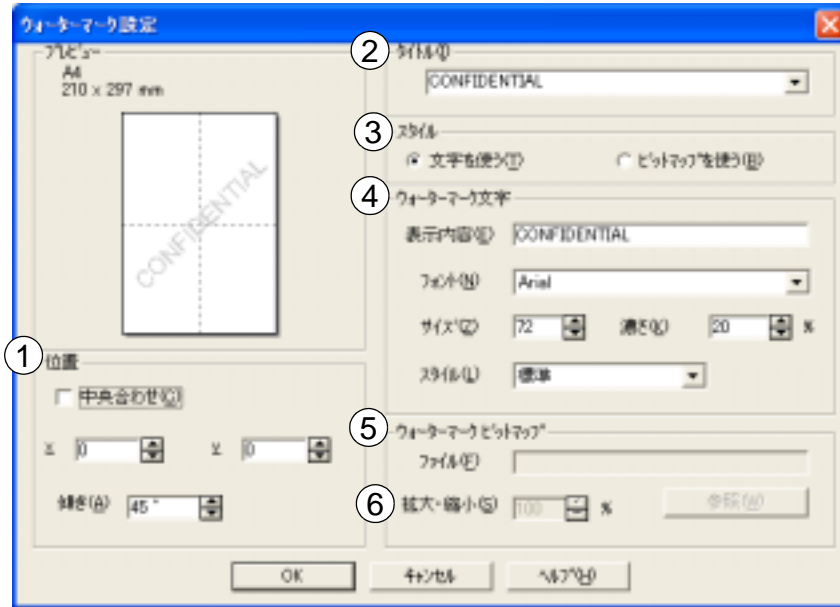
「2 ページ目から」: 2 ページ以上の印刷の場合、2 ページ目以降にウォーターマークが印刷されます。

「カスタム」: 2 ページ以上の印刷の場合は、各ページに対し別々のウォーターマーク設定ができます。
「カスタムページ設定」P.2-15を参照してください。

2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）（WindowsNT®4.0、Windows® 2000/XP のみ）

2 部以上印刷する場合に、1 部目にはウォーターマークを入れず、2 部目からウォーターマークを入れるときに、「2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）」チェックボックスをチェックします。

ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、編集(E)をクリックすると、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、新規(N)をクリックし、［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択します。

①位置

ページ上のウォーターマークを配置する位置や角度を設定します。

②タイトル

設定したウォーターマークの名前を設定します。ここで設定した名前は、「ウォーターマーク選択」に表示されます。

③スタイル

新しく追加するウォーターマークが、文字かビットマップかを選択します。

④ウォーターマーク文字

ウォーターマークの文字を「表示内容」に入力して、「フォント」、「サイズ」、「スタイル」、「濃さ」を選択します。

⑤ウォーターマークビットマップ

「ファイル」ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥拡大　縮小

イメージのサイズを設定します。

カスタムページ設定

各ページに対して別々のウォーターマークの設定ができます。「ウォーターマーク印刷設定」で「カスタム」を選択したときのみ有効になります。

- **設定テーブル**

  各ページに対して設定されている内容が表示されます。

  設定の追加

  ①「ページ」から設定したいページを入力します。
  ページ設定として番号以外にその他のページが選択できます。

  ②「タイトル」から使用したいウォーターマークを選択します。
  選択したページにウォーターマークを付けたくない場合は、なしを選択します。

  ③ 追加(D) をクリックします。
  設定テーブルに追加されます。

  設定の削除

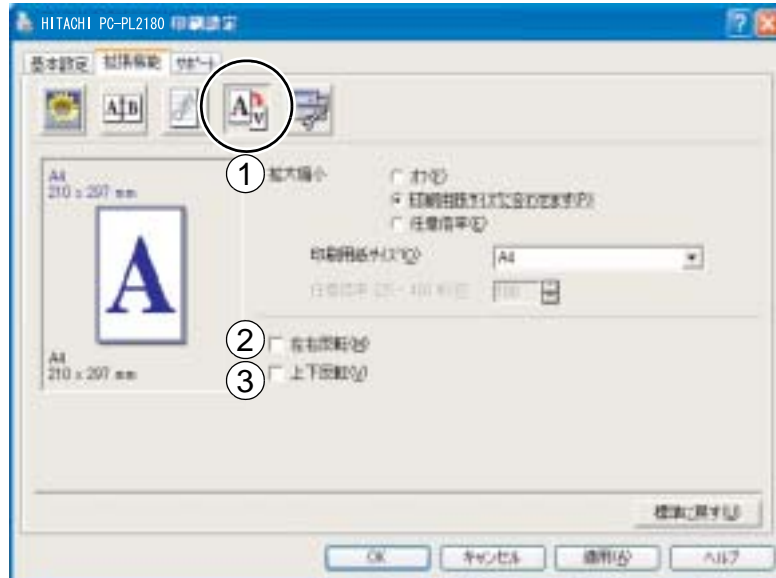
  ① 設定テーブルから削除したいページの設定を選択します。

  ② 削除(T) をクリックします。
  設定テーブルから削除されます。

  印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-77を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

ページ設定

アプリケーションソフトで作成した文書や画像のデータを変更せずに、ページイメージをそのまま拡大縮小して用紙サイズを変更して印刷できます。またページイメージをそのまま左右反転、上下反転して印刷することもできます。

[適用(A)]または[OK]をクリックして、選択した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは[標準に戻す(U)]をクリックします。

①拡大縮小

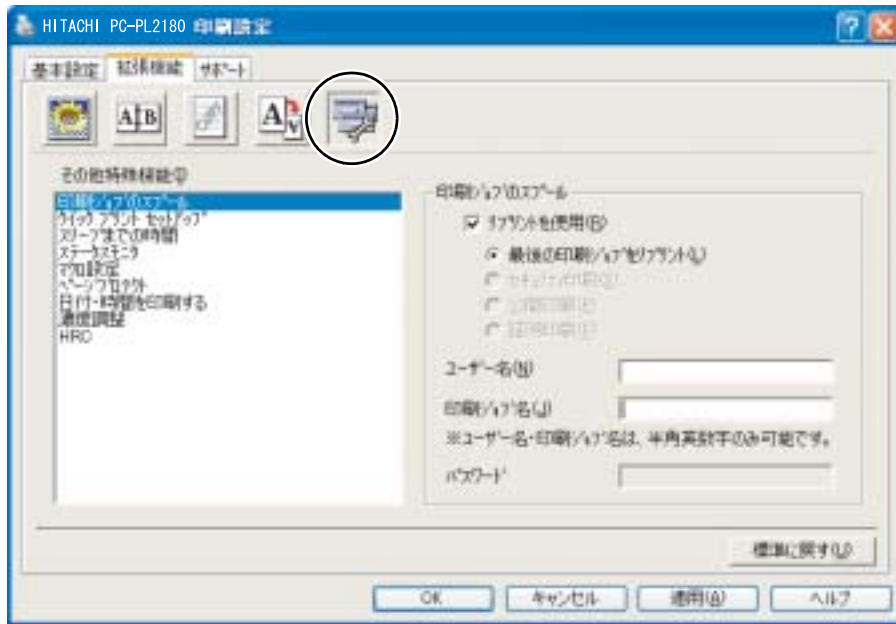
「オフ」:	画面に表示されたとおりに文書を印刷します。
「印刷用紙サイズに合わせます」:	文書が非定形サイズの場合や標準サイズの用紙しかない場合は、「印刷用紙サイズに合わせます」を選択し、「印刷用紙サイズ」で選択した用紙サイズに拡大縮小して印刷します。
「任意倍率」:	「任意倍率［25 － 400％］」で設定した倍率で印刷します。

②左右反転

左右を逆にして印刷します。

③上下反転

上下を逆にして印刷します。

● その他特殊機能

次のプリント機能モードを設定できます。
（下記のマークをクリックすると、各機能の詳細を説明しているページが表示されます。）

印刷ジョブのスプール P.2-18
クイックプリントセットアップ P.2-19
スリープまでの時間 P.2-20
ステータスモニタ P.2-21
マクロ設定 P.2-22
設定保護管理機能※1 .... P.2-23
コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-24
ページプロテクト P.2-25
日付　時間を印刷する P.2-26
濃度調整 P.2-27
HRC（高解像度コントロール）※2 .... P.2-28

適用(A) または OK をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは 標準に戻す(U) をクリックします。

プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。

※ 1　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。

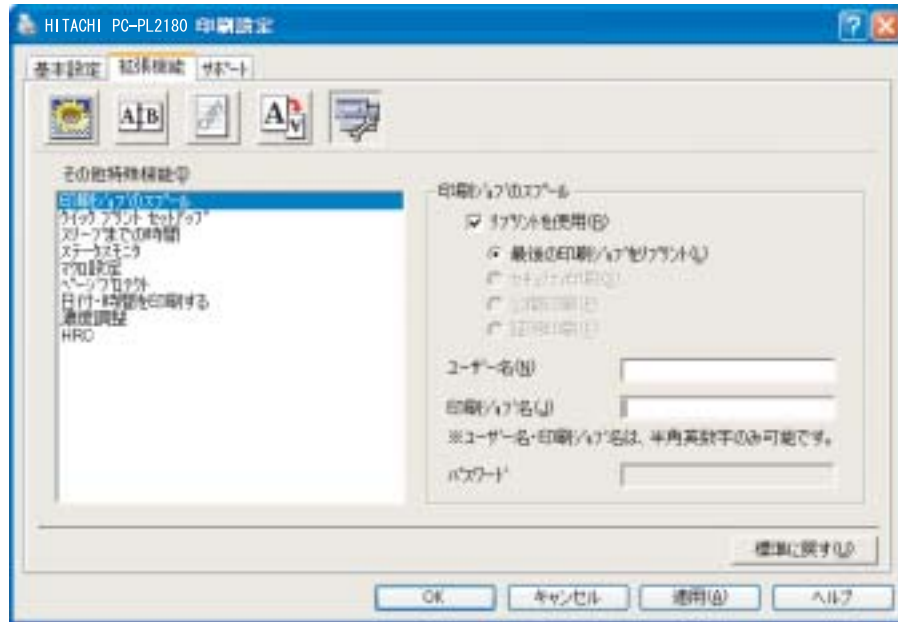
※ 2　Windows® 95/98/Me の場合は、［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、HRC の設定と TrueType 設定を変更できます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

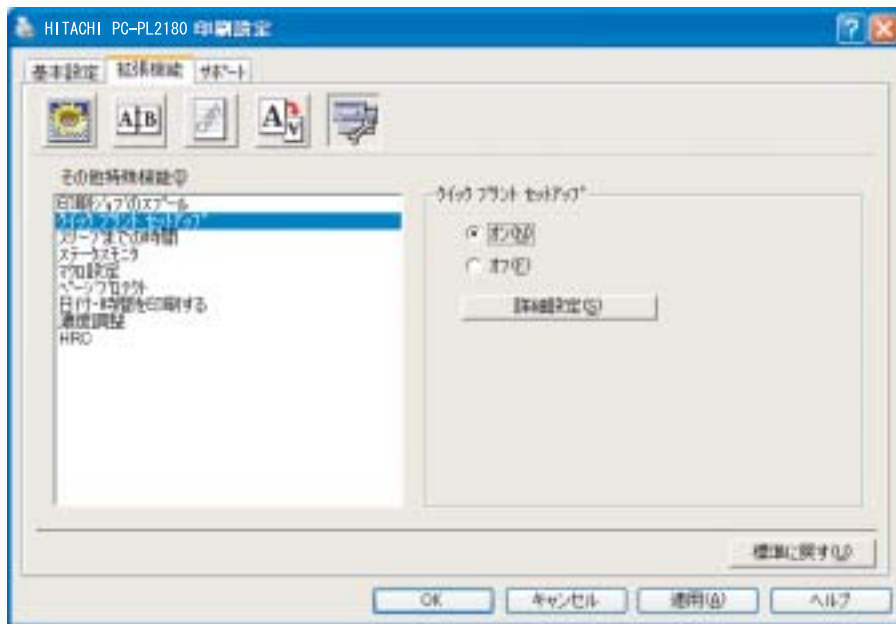
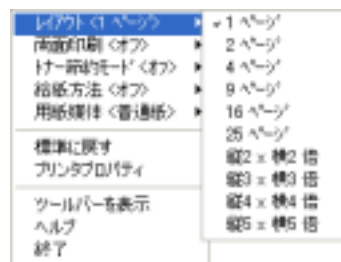
印刷ジョブのスプール

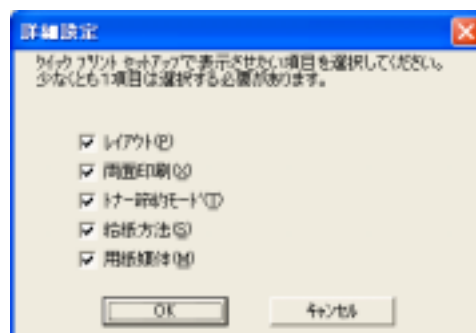
「リプリントを使用」のチェックボックスをチェックしておくと、最後に印刷したジョブを本機が記憶します。パソコンからあらためてデータを送らずに、文書を再び印刷することができます。

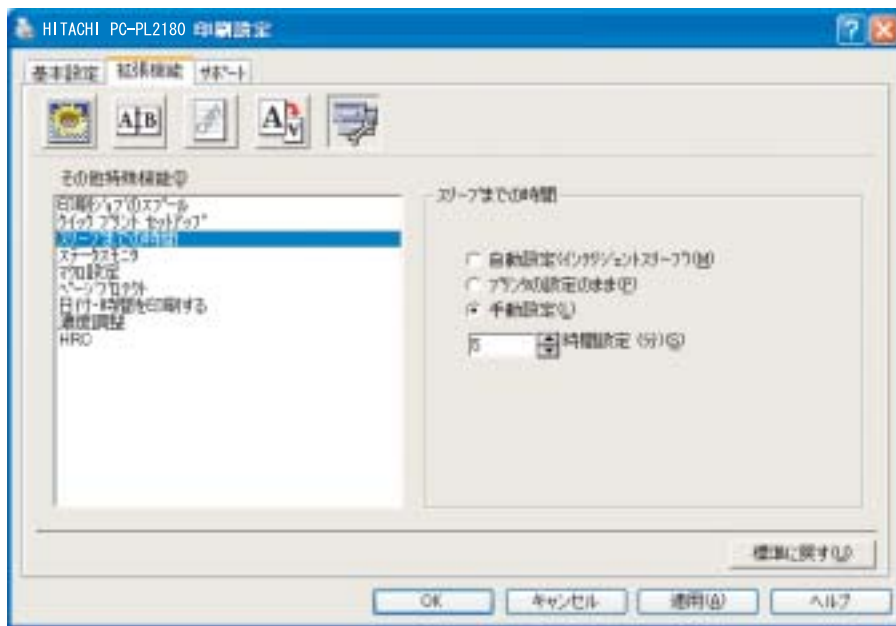
再印刷についての詳細は、「Reprint ボタン」P.1-6を参照してください。

メモ

本機に保存したデータを他の人に印刷されたくない場合は、「リプリントを使用」チェックボックスのチェックを外してください。

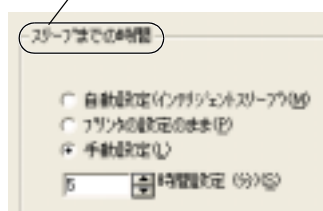
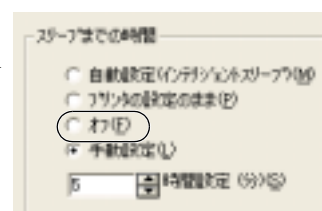
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

クイックプリントセットアップ
クイックプリントセットアップ機能のオン／オフを切り替えます。

ドライバ設定を簡単に設定　変更することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。

下記の５つの項目を設定できます。
　レイアウト
　両面印刷
　トナー節約モード
　給紙方法
　用紙媒体

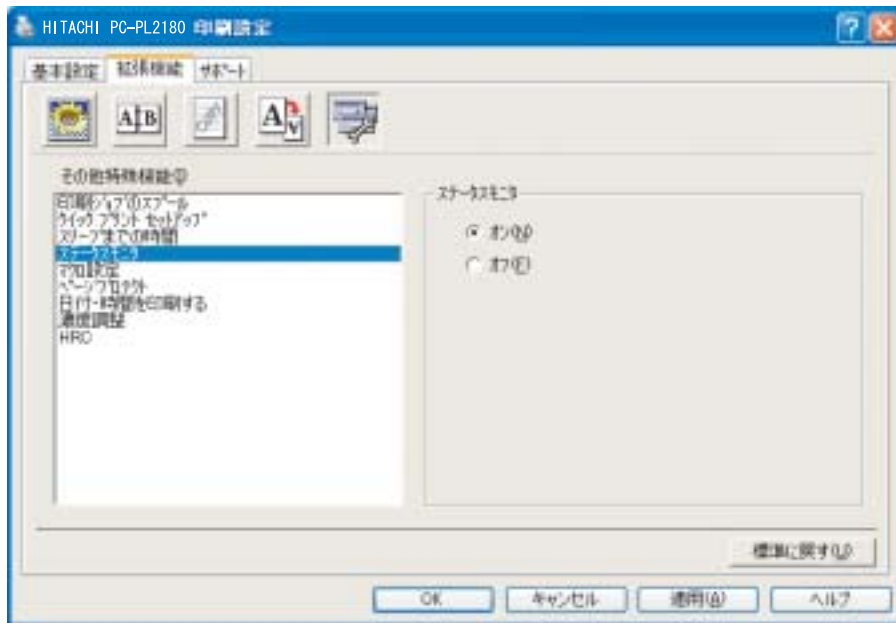
［詳細設定(S)］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。クイックプリントセットアップ機能使用時に、表示させたい項目のチェックボックスをチェックします。

スリープまでの時間

スリープモードは、本機の電源を切っているときと同じ状態になるため、電力を節約できます。
一定時間本機がデータを受信しなかったとき（タイムアウト時）に、スリープモードに切り替わります。
本機がスリープモードに入っているときは、液晶ディスプレイのバックライトが消灯していますが、パソコンからのデータは受信することができます。印刷ファイルや文書のデータを受信すると、本機は自動的に復帰し、印刷を開始します。
操作パネルからも設定できます。P.1-18
操作パネル上の任意のボタンを押しても、本機は復帰します。
初期設定時間は 5 分です。

「自動設定（インテリジェントスリープ）」：　本機の使用頻度によって、スリープモードに入る最も適切な時間を自動的に調整します。
「プリンタの設定のまま」：　本機で設定されている時間の 5 分でスリープモードに入ります。
「手動設定」：　1 ～ 240 分（1 分単位）の間で設定できます。

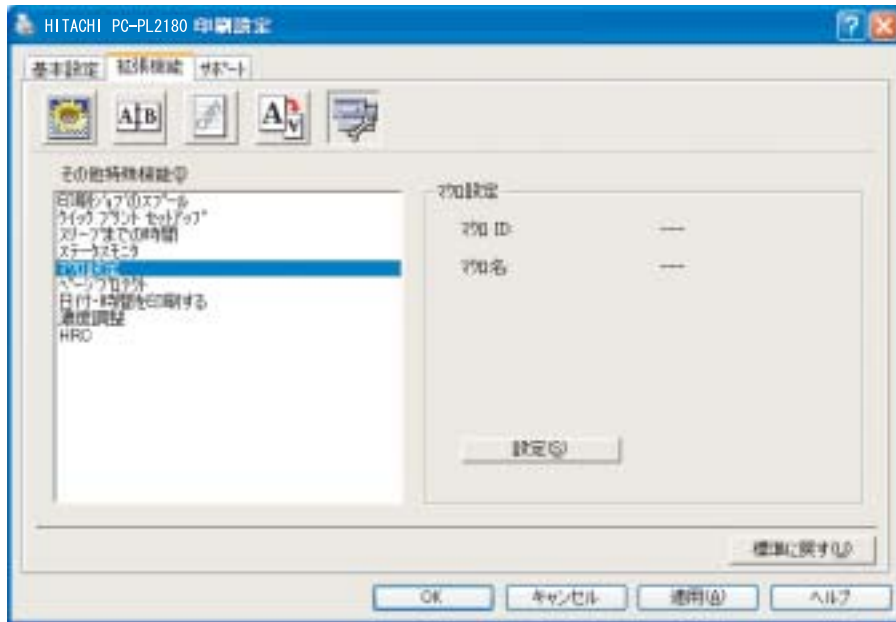
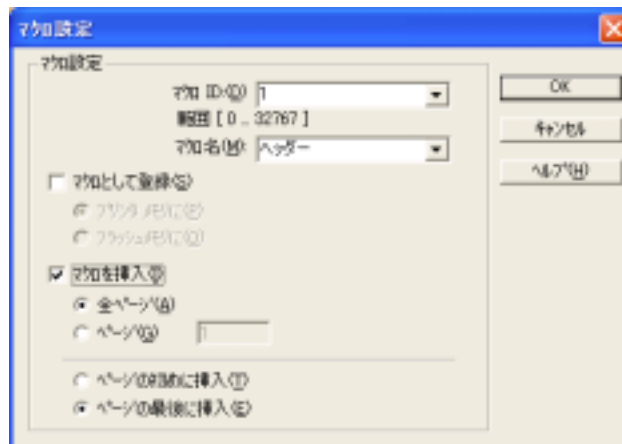
スリープモードをオフするには

スリープモードにならないようにオフに設定することもできます。ただし、節電のため、スリープモードをオンにしてご使用になることをおすすめします。
設定内容の一番上に表示されている「スリープまでの時間」をダブルクリックすると、「オフ」が表示されます。「オフ」をクリックします。

オフが表示されていない　　オフが表示される

ステータスモニタ

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

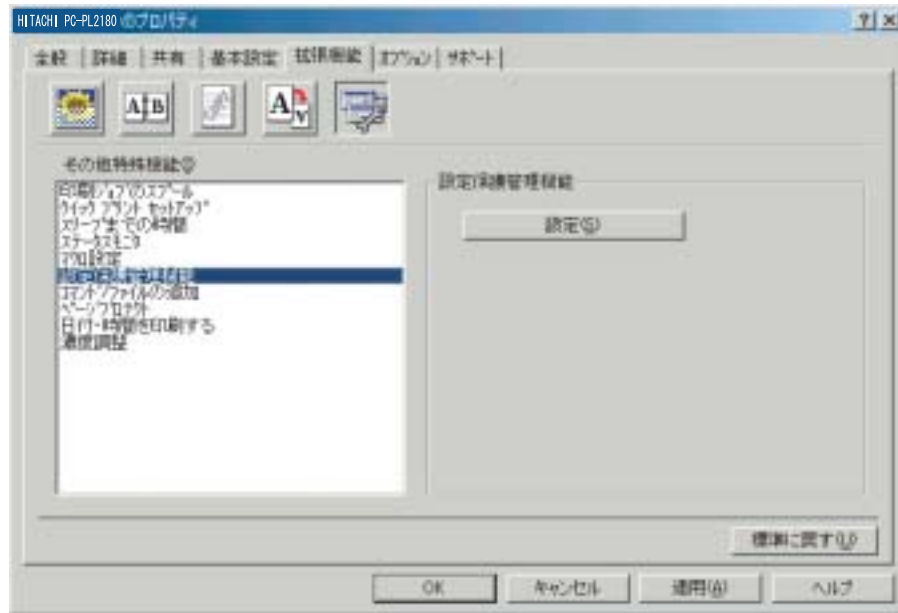
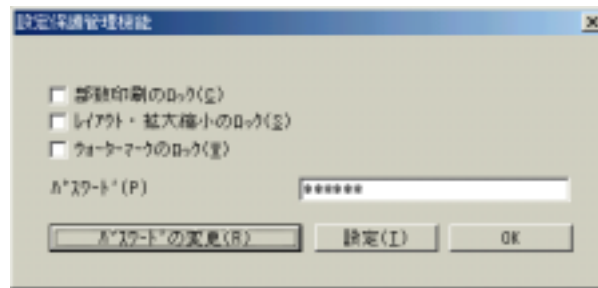
印刷時に、プリンタステータス（本機で発生したエラー情報など）を通知します。
初期設定ではオフになっています。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

マクロ設定

マクロとして、本機のメモリに文書を登録することができます。登録したマクロは、印刷時に実行して、文書にオーバーレイとして印刷できます。
フォーム、会社ロゴ、手紙の書き出し文、送り状など、よく使う情報を登録してご使用になると便利です。

設定(S) をクリックすると、［マクロ設定］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

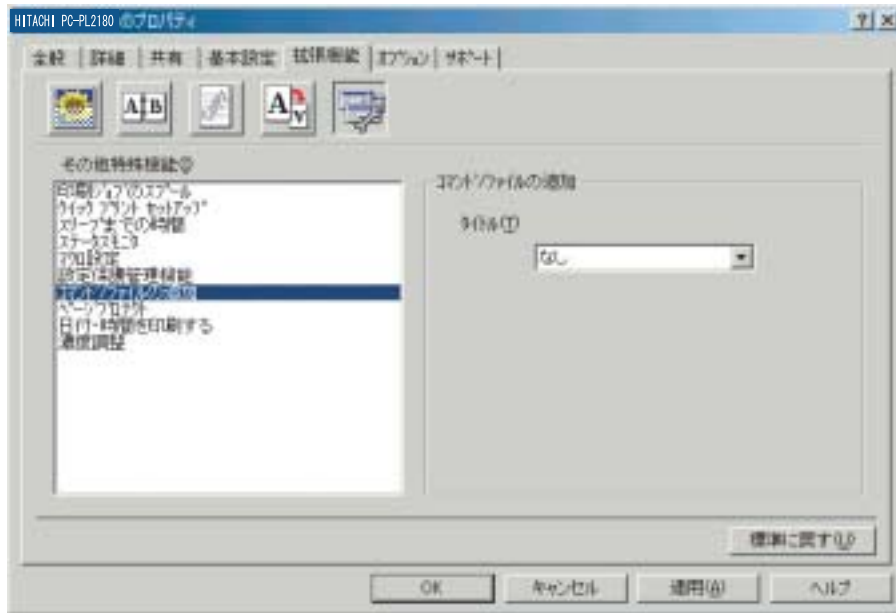
設定保護管理機能

- このセクションは Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows® Me の画面です。

部数印刷、レイアウト、拡大縮小、ウォーターマークの設定をロックすることができます。

設定(S) をクリックすると、［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。
各項目を設定してください。

- 部数印刷のロック
  部数印刷をロックして複数部印刷をできなくします。
- レイアウト　拡大縮小のロック
  レイアウトを 1 ページ、拡大縮小を 100% の設定にロックします。
- ウォーターマークのロック
  現在設定されているウォーターマーク設定にロックします。
- パスワード
  保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
  パスワードを変更したいとき、およびはじめてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

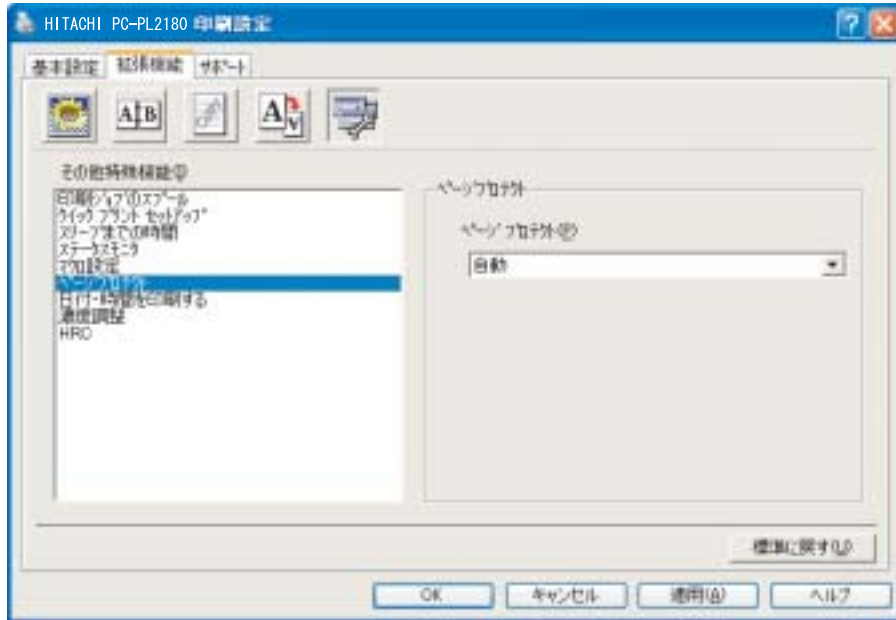
コマンド／ファイルの追加

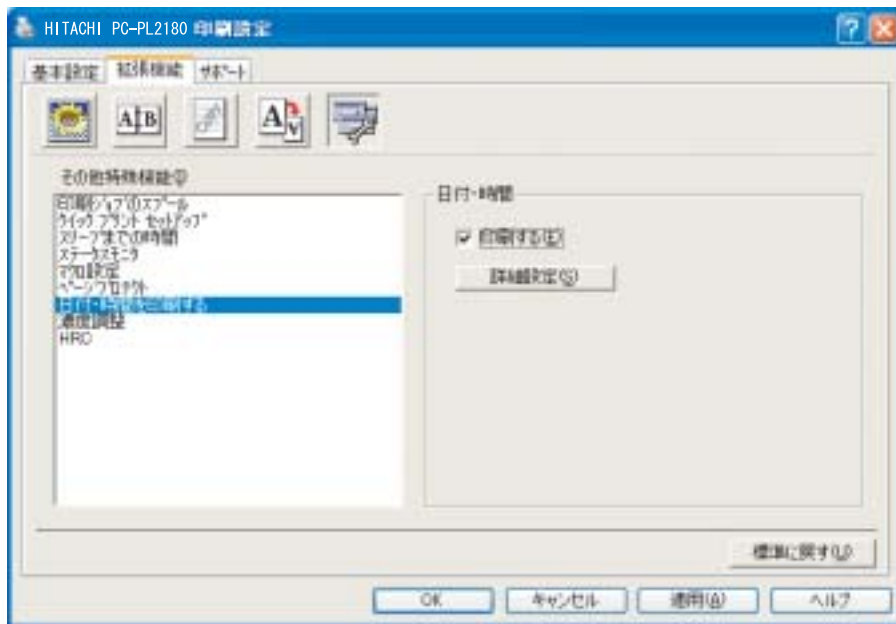
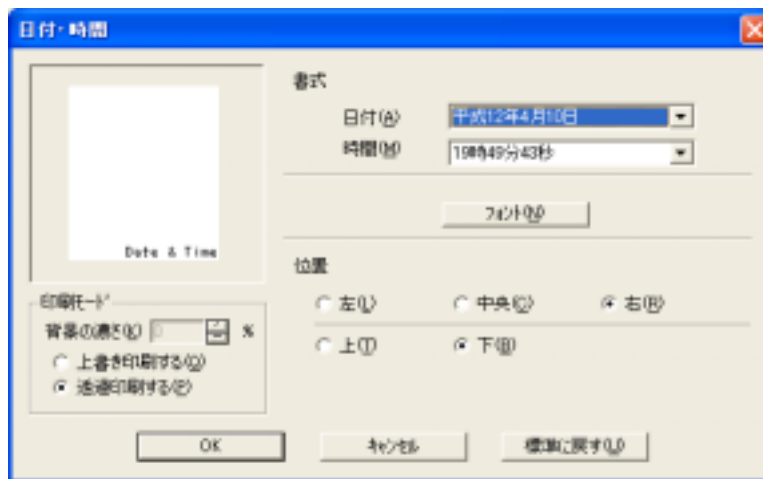
- このセクションは Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows® Me の画面です。

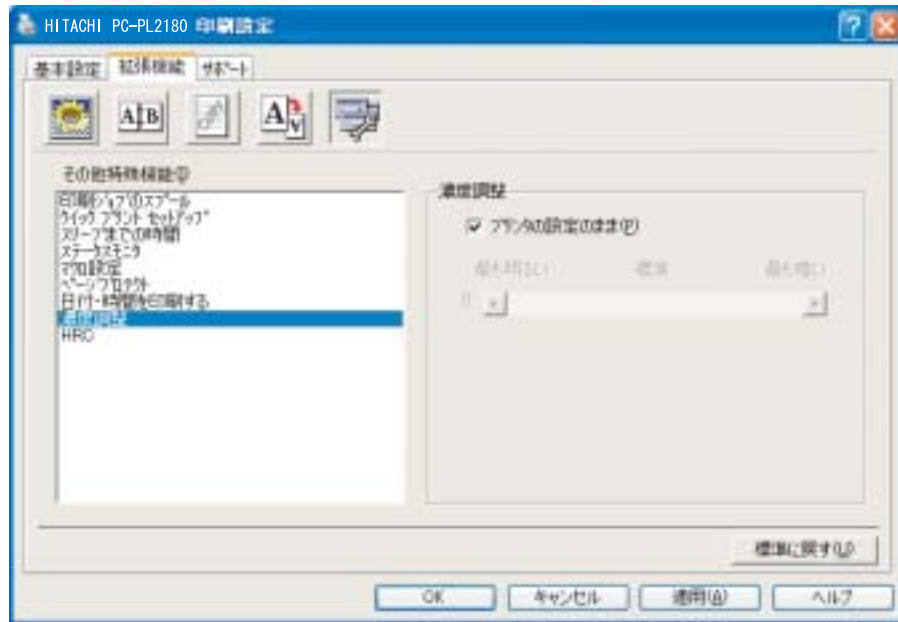
指定したコマンドやファイルを自動的にデータに追加して印刷します。

下記の 3 つの項目をデータに追加して印刷できます。
Tiff 形式のファイル
特定の文字列
登録してあるマクロ ID

この機能の使いかたの詳細は、ヘルプ をクリックして表示されるプリンタドライバのヘルプを参照してください。

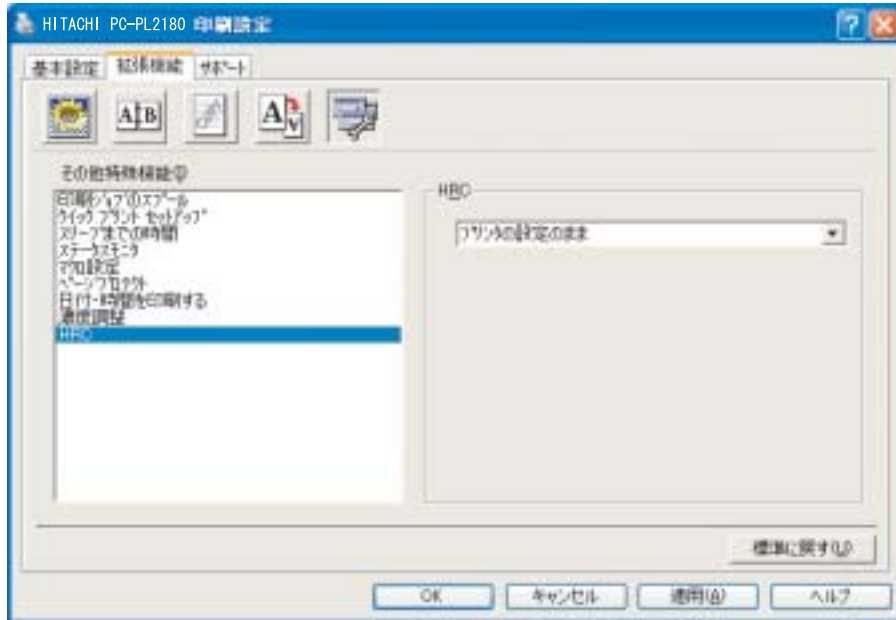
ページプロテクト

本機が用紙に印刷する前に、印刷データをいったんメモリに保存して、印刷される完全なページイメージをメモリ内に作成します。イメージが非常に複雑な文書を問題なく印刷するために、この機能を使って印刷に十分なメモリを設定します。
イメージのサイズは、自動、レター、A4、リーガルから選択できます。

日付　時間を印刷する

日付と時間を自動で文書に入れて印刷することができます。

「印刷する」チェックボックスをチェックし、[詳細設定(S)]をクリックすると、［日付　時間］ダイアログボックスが表示されます。日付と時間の書式や印刷位置、印刷モードの各項目を設定してください。

濃度調整

印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリントの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリントの設定のまま」チェックボックスのチェックを外し、調節します。

HRC（高解像度コントロール）

HRC（高解像度コントロール）を変更できます。

HRC は、300 または 600dpi で印刷した場合の文字やグラフィックスの印字品質を改善して印刷する特別な機能です。

下記の 5 つの設定ができます。

プリンタの設定のまま
弱
中
強
OFF

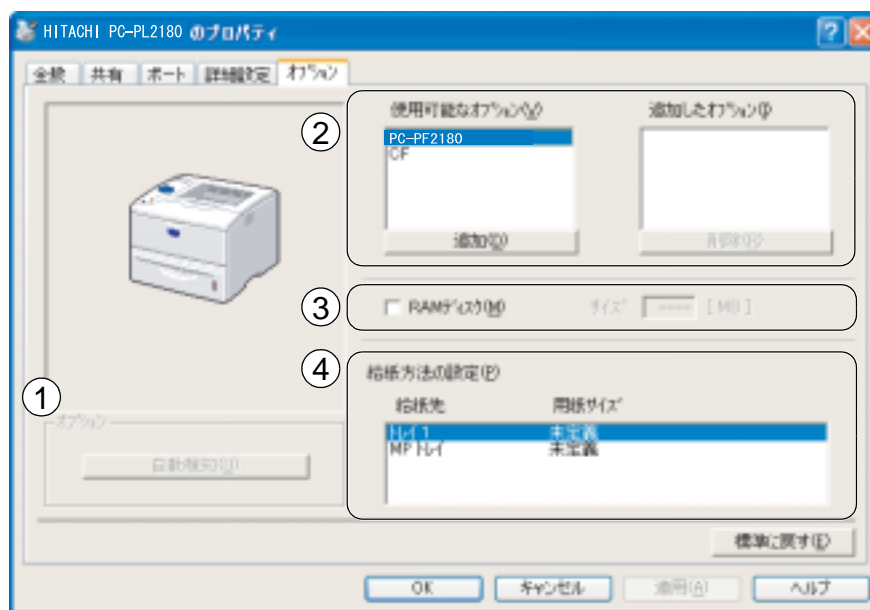
[オプション]タブでの設定項目

本機にオプション品を取り付けたり、取り外したりしたときに設定します。

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューの[印刷]から表示したプリンタドライバの設定画面では、[オプション]タブが表示されません。プリンタドライバの設定画面は、次の手順で[スタート]メニューから表示してください。

① Windows® XP の場合は、[スタート]メニューから[プリンタと FAX]をクリックします。Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、[スタート]メニューから[設定]－[プリンタ]の順にクリックします。

②「HITACHI PC-PL2180」のアイコンを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックします。

③「HITACHI PC-PL2180 のプロパティ」ダイアログボックスの[オプション]タブをクリックします。

[適用(A)]または[OK]をクリックして、変更した設定を確定します。標準(初期)設定に戻すときは[標準に戻す(U)]をクリックします。

①オプションの自動検知

自動検知機能は、現在取り付けられているオプション品やメモリサイズを自動で認識し、オプション品の設定を自動で行います。

自動検知機能は、プリンタの条件によっては利用できない場合があります。

②オプションの設定を手動で追加、削除します。

「使用可能なオプション」欄のリストから本機に取り付けたオプション品をクリックし、[追加(D)]をクリックします。

「追加したオプション」欄にオプション品が追加されます。

③ RAM DISK

[自動検知(U)]をクリックすると、操作パネルを使用して設定した RAM ディスクの容量を検知することができます。詳細は「RAM ディスクの設定」P.1-10を参照してください。

④給紙方法の設定

[自動検知(U)]をクリックすると、操作パネルの設定メニューで設定されている用紙サイズを表示します。

［サポート］タブでの設定項目

ドライババージョンを確認できます。ホームページにアクセスしたり、現在のドライバの設定内容が確認できます。

①サポートホームページ

クリックすると、ホームページに（**http://prinfina.jp**）にアクセスします。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他本機をご使用いただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。

②設定の確認

クリックすると、現在のドライバの基本的な設定の一覧が表示されます。

Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定方法

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、[適用(A)]または[OK]をクリックして、その設定を有効にしてください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「HITACHI PC-PL2180」を選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。

プリンタドライバの設定画面「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

メモ

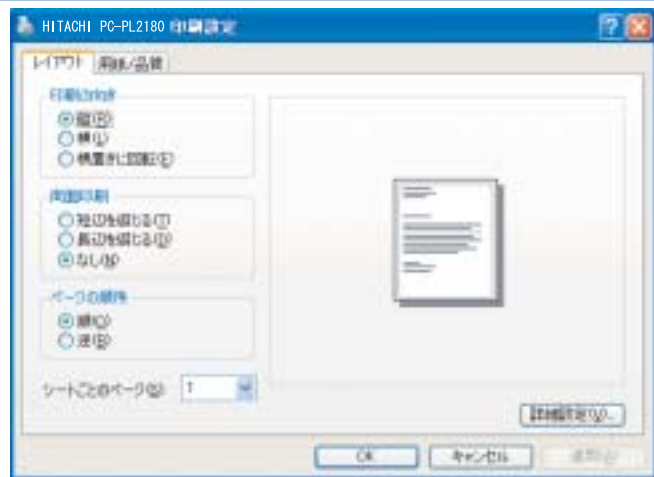
プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。

① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

② 「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

③ Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある[印刷設定(I)...]ボタンをクリックします。「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 95/98/Me の場合は、「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J のプロパティ」に各項目が表示されます。

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定内容」P.2-34を参照してください。

4 適用(A) または OK をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。OK をクリックした場合は、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

- 適用(A) をクリックしなくても、OK をクリックすると、各タブで変更した設定が確定されます。
- キャンセル をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

ポートの選択

「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J」のポートが選択されているかを確認する方法について説明します。

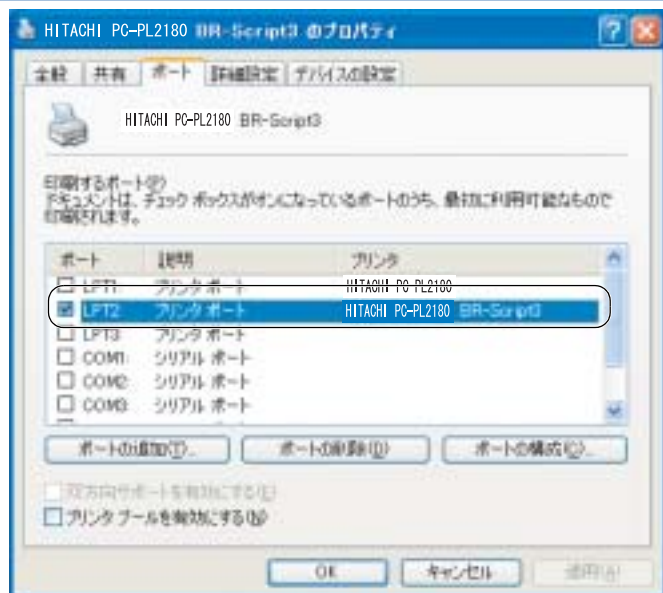
1 **Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。**
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2 **「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

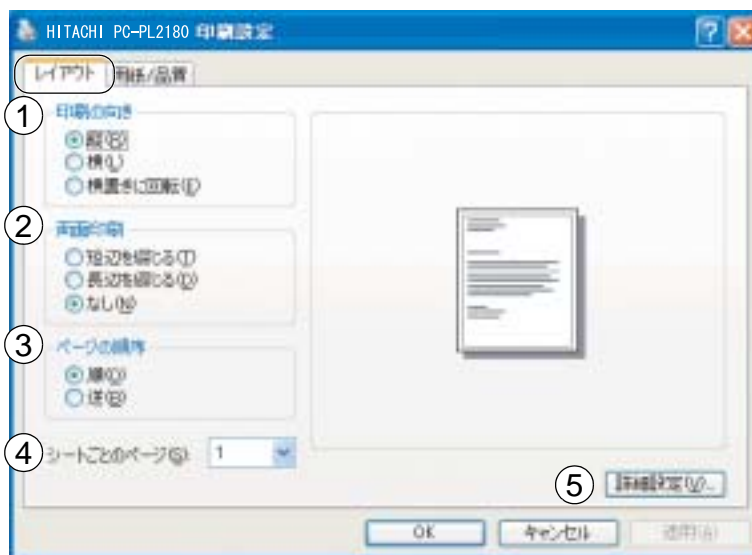
「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［ポート］タブをクリックします。**

4 **「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J」のポートが選択されているかを確認します。**

選択されていない場合は、「HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J」と表示されているポートのチェックボックスをチェックして、OK をクリックします。

Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで設定　変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、ご使用の OS によっては利用できない項目があります。
また、ご使用のアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

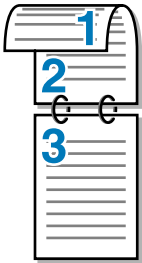
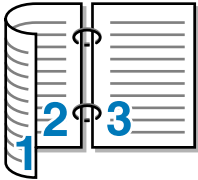
[レイアウト] タブでの設定項目

次の項目を設定できます。
(下記の マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。)

①印刷の向き P.2-35
②両面印刷 P.2-35
③ページの順序 P.2-35
④シートごとのページ P.2-36
⑤詳細設定 P.2-36

[適用(A)]または[OK]をクリックして、変更した設定を確定します。

設定項目は、プリンタドライバの設定画面右側のイラストに現在の設定が表示されます。

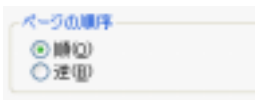
①印刷の向き

文書を印刷する向き（縦、横または横置きに回転）を選択します。

「横置きに回転」： レイアウトには一切影響を与えず、印刷面を反時計回りに 90 度回転して印刷します。

②両面印刷

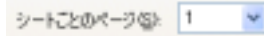
自動両面印刷の設定ができます。

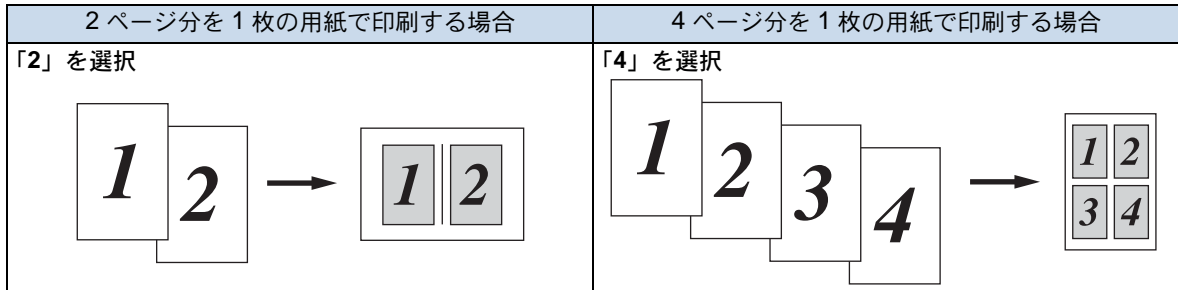
印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-66を参照してください。

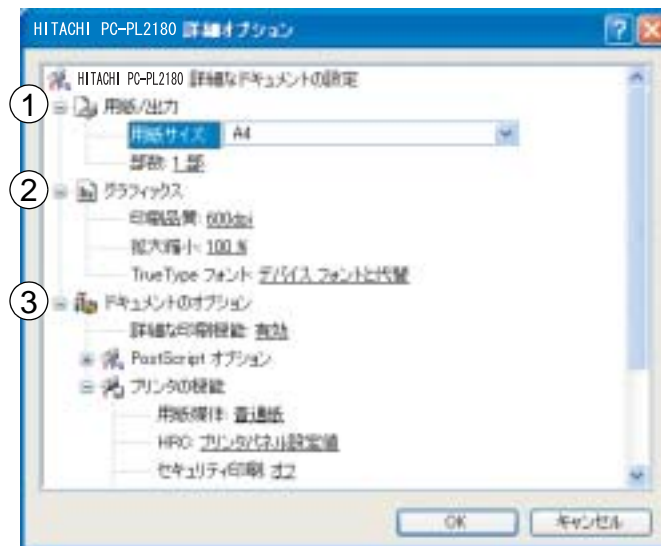
③ページの順序

「順」： 1 ページ目が 1 番上になるように印刷されます。

「逆」： 最後のページが 1 番上になるように印刷されます。

④シートごとのページ

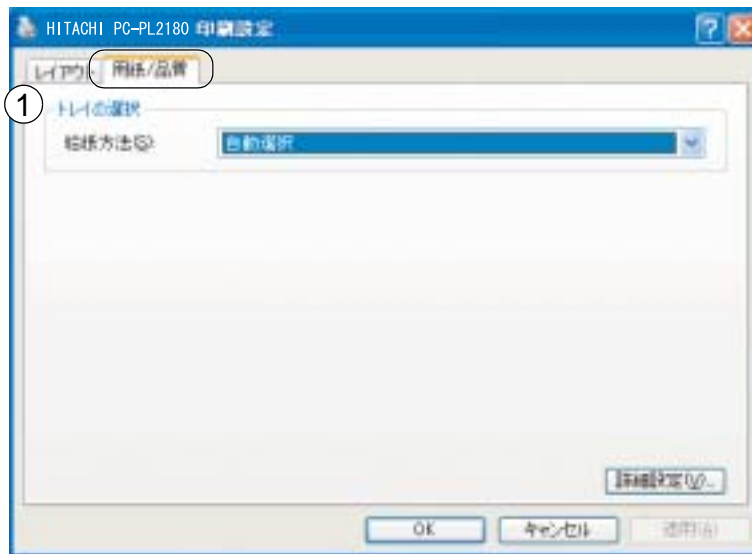
1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷します。

シートごとのページを使用したときの例

2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合	4 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合
「**2**」を選択	「**4**」を選択

⑤詳細設定

詳細設定(V)... をクリックすると、［HITACHI PC-PL2180 BR-Script3J 詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

詳細オプションでは、次の項目を設定できます。

①用紙 / 出力：	用紙サイズ 部数
②グラフィックス：	印刷品質 拡大縮小 TrueType フォント
③ドキュメントのオプション：	詳細な印刷機能 PostScript オプション 　PostScript 出力オプション 　TrueType フォント ダウンロードオプション 　PostScript 言語レベル 　PostScript エラーハンドラを送信 　左右反転印刷 　白黒反転印刷

③ドキュメントのオプション：　プリンタの機能
用紙媒体
HRC
セキュリティ印刷
パスワード
印刷ジョブ名
トナー節約
スリープまでの時間［分］
BR-Script レベル

［用紙 / 品質］タブでの設定項目

①トレイの選択

「自動選択」：　本機が自動的にトレイを選択します。
「トレイ 1」：　用紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙トレイから印刷する」P.2-38を参照してください。
「トレイ 2」：　オプションのローワートレイユニットを使用するときに選択します。オプションは別売品です。P.3-3を参照してください。
「MP トレイ」：　多目的トレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41を参照してください。

メモ　多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

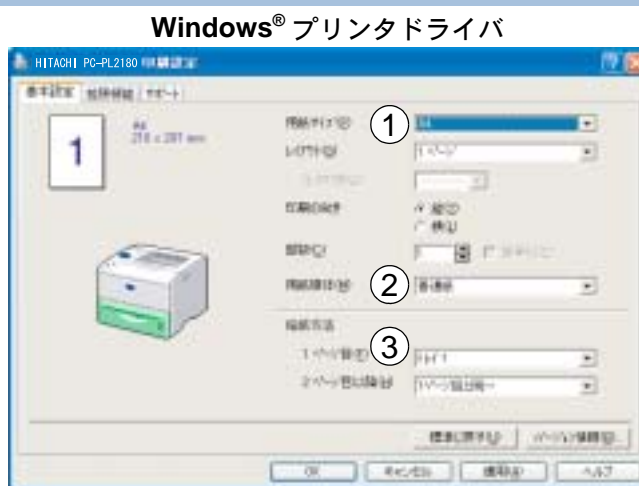
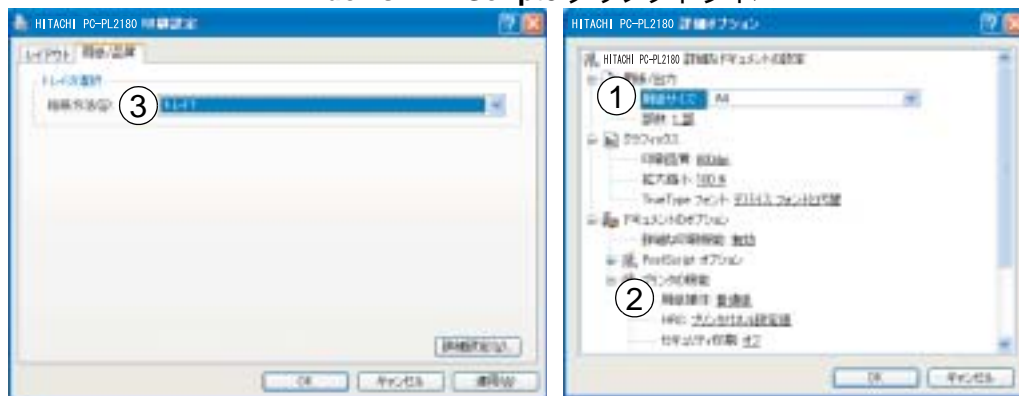
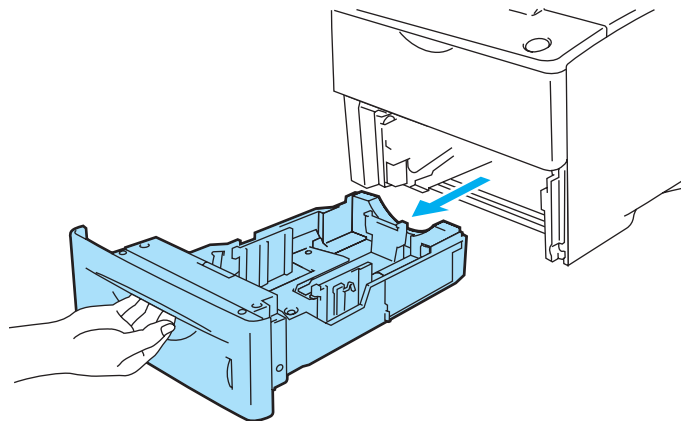
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

普通紙に印刷する

普通紙は、用紙トレイまたは多目的トレイから印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-29を参照してください。

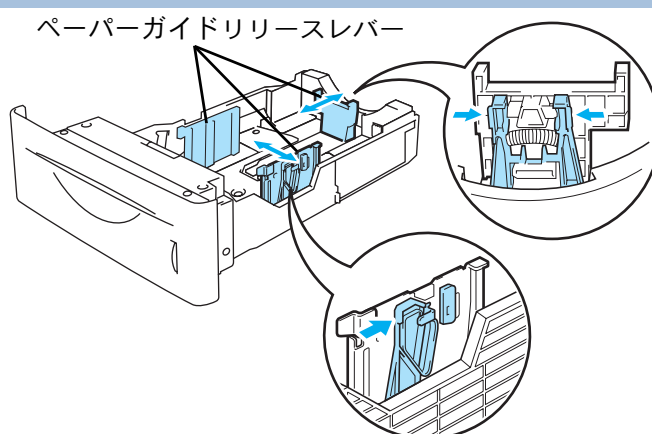
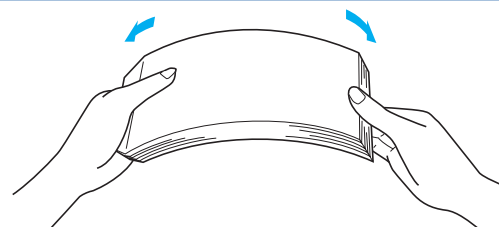
用紙トレイから印刷する

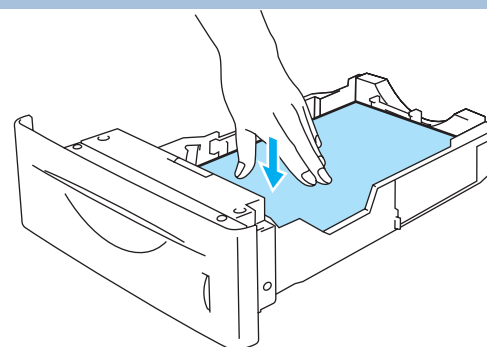
1 **プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。**

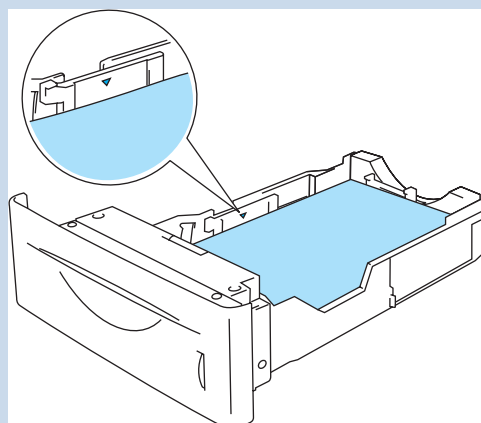
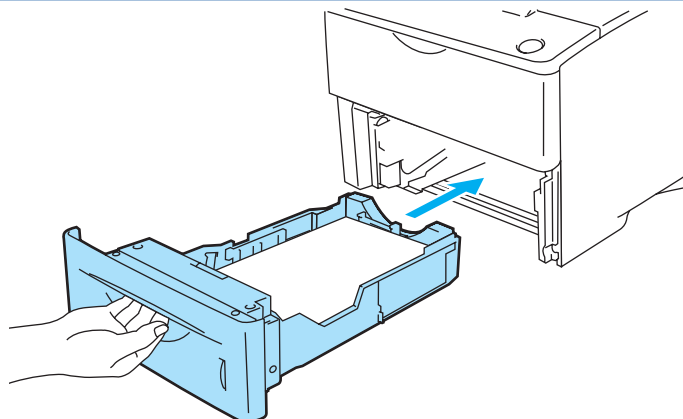
①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体 ：普通紙（厚め）、普通紙、再生紙
③給紙方法１ページ目 ：トレイ１（トレイ２）

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

2 **本機から用紙トレイを引き出します。**

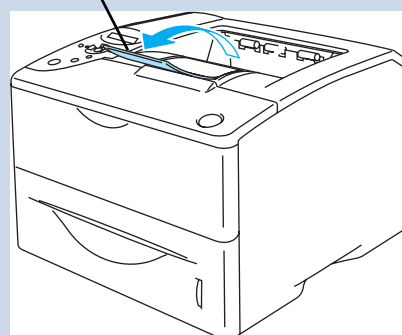
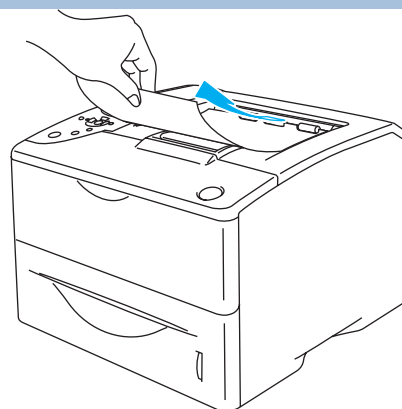
3 青色のペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

5 用紙トレイに用紙をセットします。

用紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
用紙が平らになっていることを確認してください。

- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙トレイに用紙を 500 枚 (64g/m^2) 以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙トレイにセットされている用紙の一番上にセットしてください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

6 用紙トレイを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

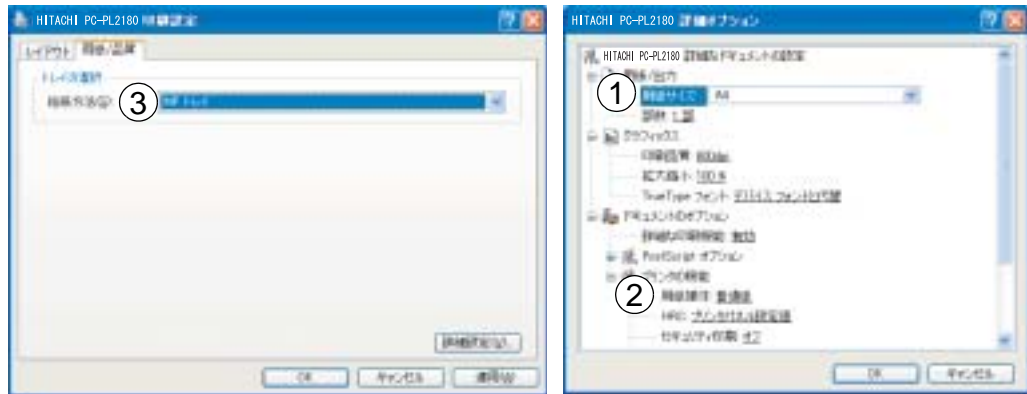
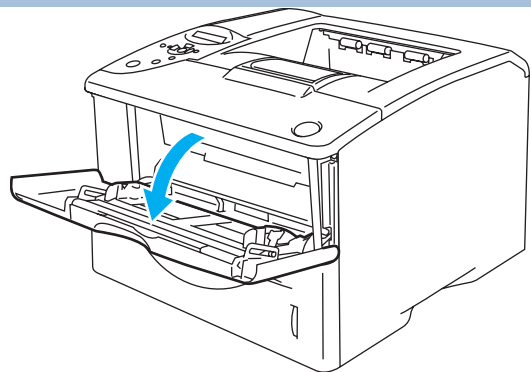
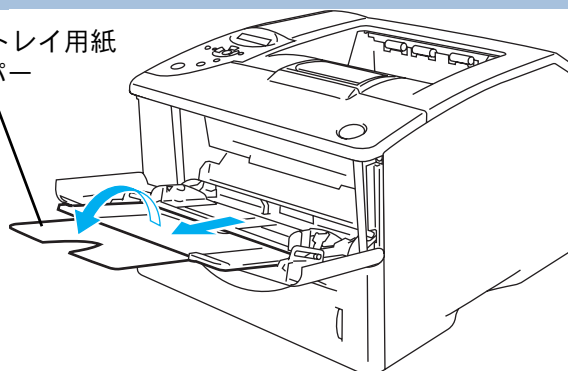
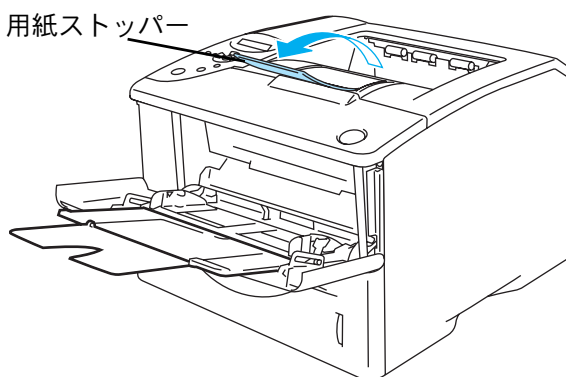
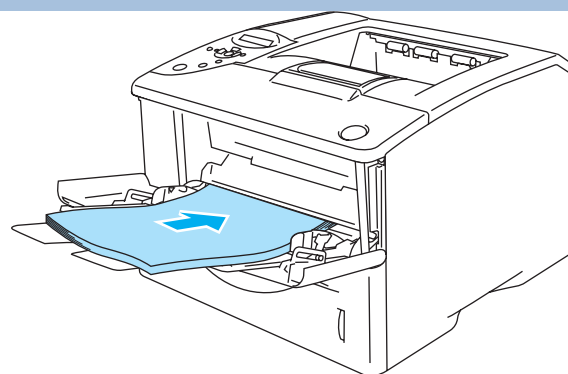
印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを使用してください。

7 印刷データを本機に送ります。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

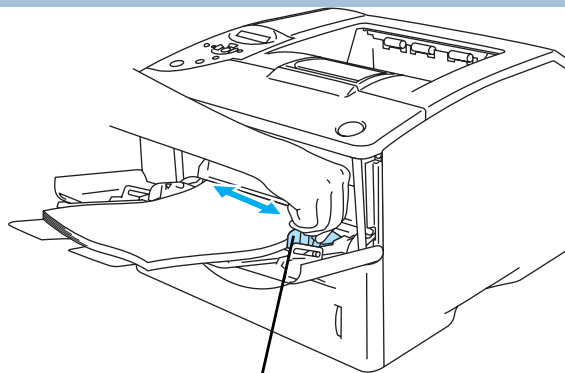
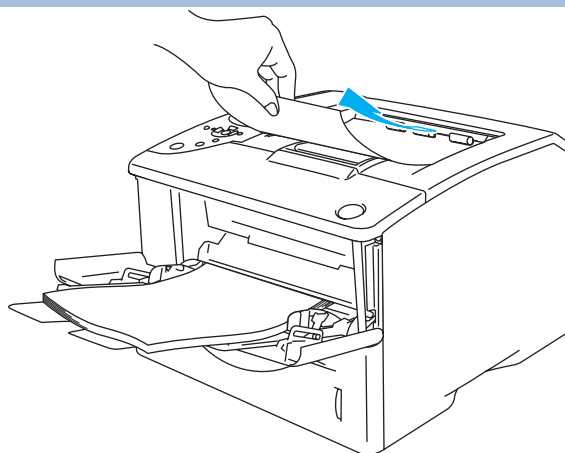
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体 ：普通紙（厚め）、普通紙、ボンド紙、再生紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

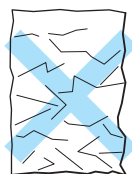
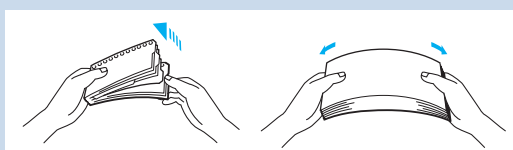
Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

2 多目的トレイをゆっくりと開けます。

3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを起こしてください。
- 用紙ストッパーを起こさない場合には、本機から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

4 多目的トレイに用紙を挿入します。

多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれた用紙から、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには 100 枚（64g/m^2）以上の用紙を挿入しないでください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

5 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙サイズの幅に合わせます。

6 印刷データを本機に送ります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

厚紙および OHP フィルムに印刷する

厚紙は、多目的トレイから印刷できます。
OHP フィルムは、用紙トレイ、多目的トレイから印刷できます。

背面排紙トレイを開けているときは、多目的トレイから給紙された用紙は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って厚紙や OHP フィルムに印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-29を参照してください。

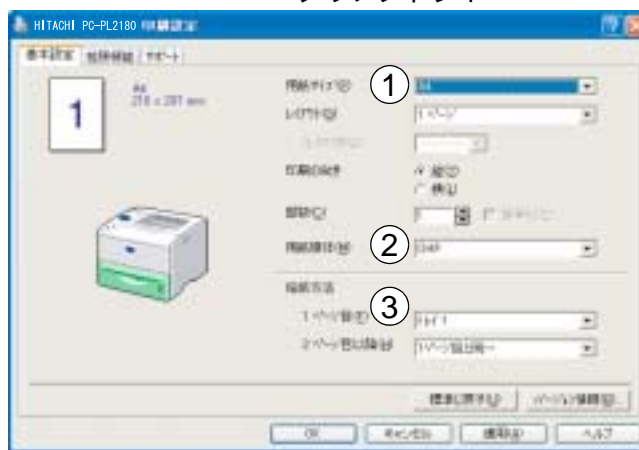
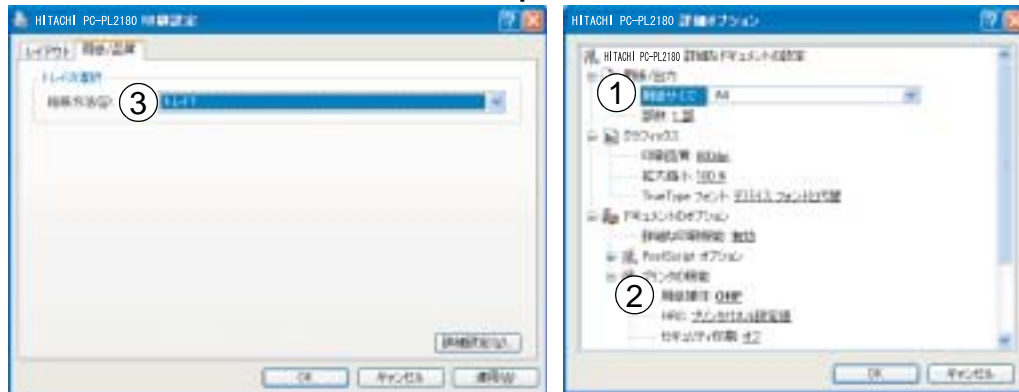
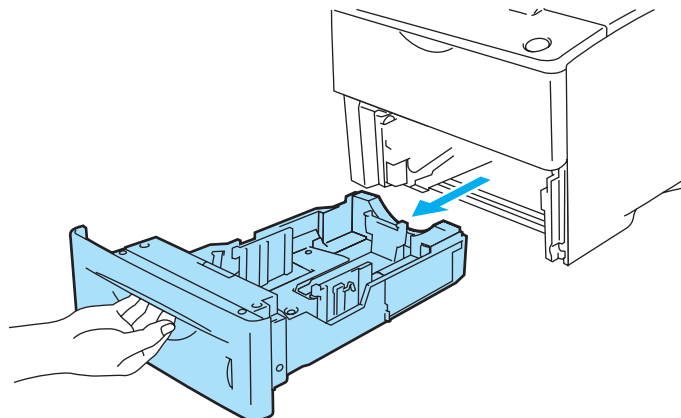
- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。

- ページプリンタ印刷用紙の OHP フィルムをご使用いただくことをおすすめします。
- ページプリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材の OHP フィルムをご使用ください。
- 印刷されたばかりの OHP フィルムは高温になっている恐れがあります。印刷直後は触らないでください。
- システム手帳用紙のように穴付の用紙を印刷する際には、あらかじめ用紙をよくさばき、正しくセットしてください。紙づまりや給紙ミスが起こる可能性があります。

- システム手帳用紙のパンチ穴の部分を用紙センサーの近くにセットしないでください。
- 粘着加工されたシステム手帳用紙を使用しないでください。糊の部分で本機が故障する恐れがあります。
- 厚紙やカードストックなどを両面印刷することはできません。
- 種類の異なる用紙を同時に用紙トレイに入れないでください。紙づまりや給紙ミスが起こる恐れがあります。
- 正しく印刷するためには、アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷する用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

用紙トレイから印刷する

用紙トレイへは、OHP フィルムを 10 枚より多くセットしないでください。

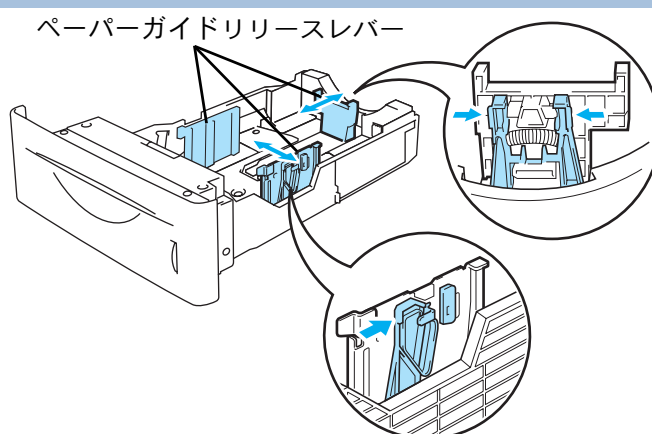
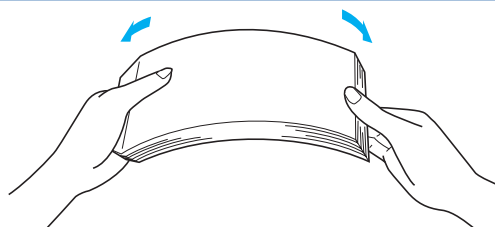
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

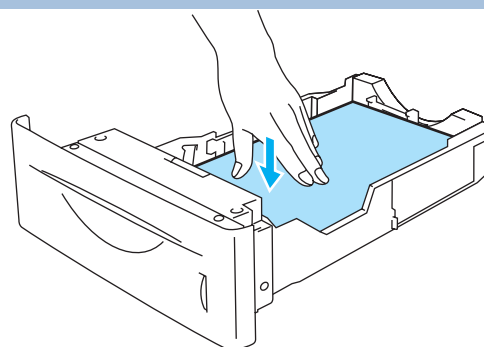
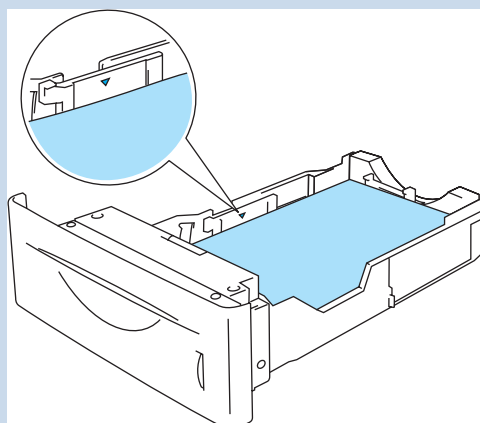
①用紙サイズ ：任意選択（厚紙の場合）
A4、レター（OHP フィルムの場合）
②用紙媒体 ：厚紙、超厚紙（厚紙の場合）
OHP（OHP フィルムの場合）
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

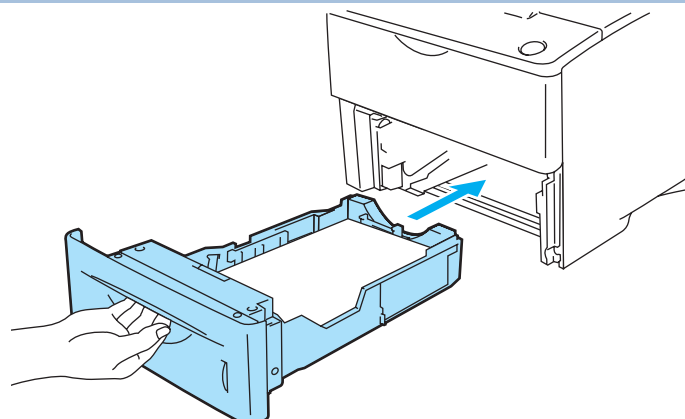
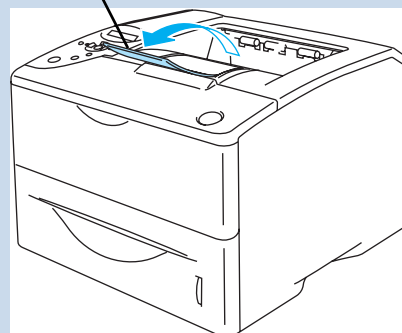
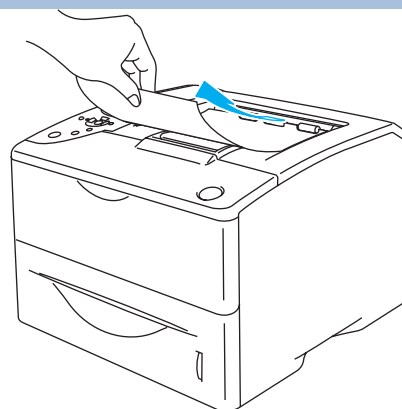
2 本機から用紙トレイを引き出します。

3 青色のペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

5 用紙トレイに用紙をセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。

用紙トレイに OHP フィルムを 10 枚より多くセットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

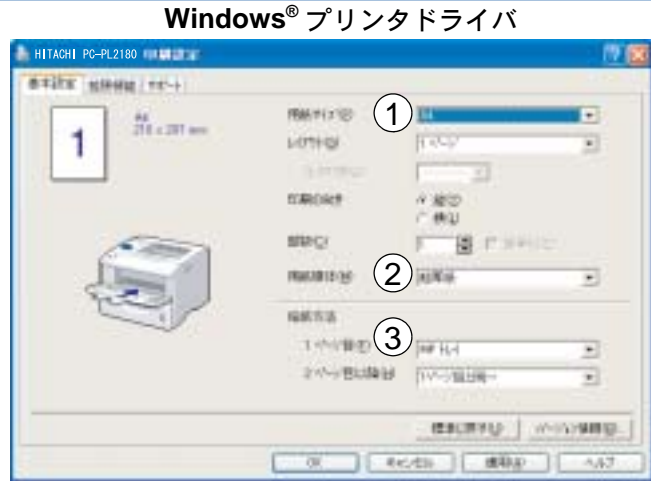
6 用紙トレイを本機に戻します。

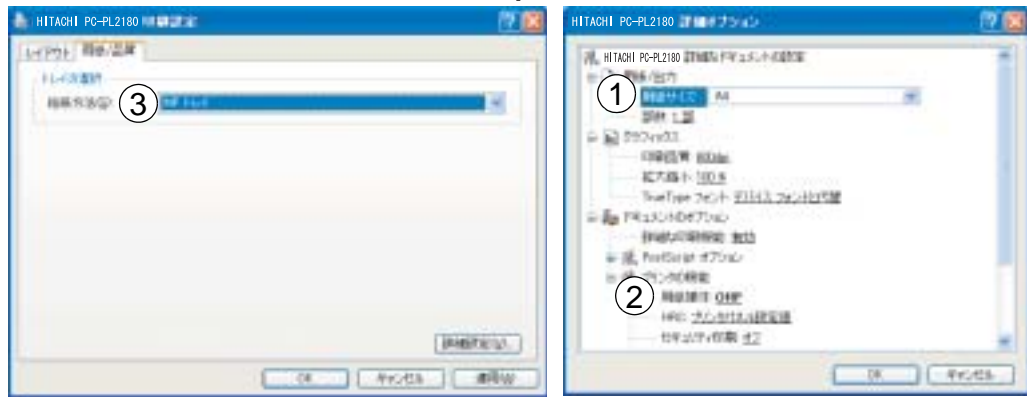
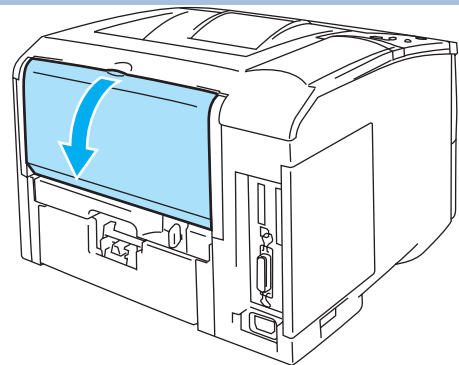
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを使用してください。
- 用紙ストッパーを使用しない場合には、本機から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

7 印刷データを本機に送ります。

本機から出てきた用紙は、上面排紙トレイからすぐに取り除いてください。

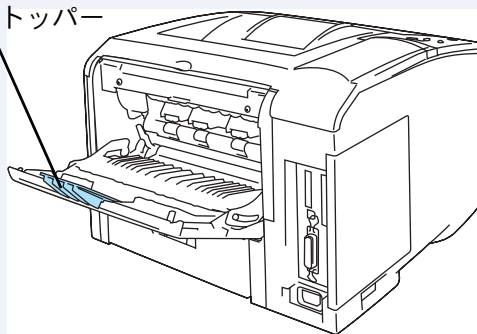
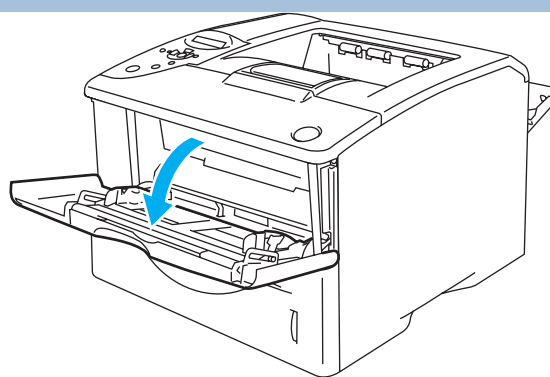
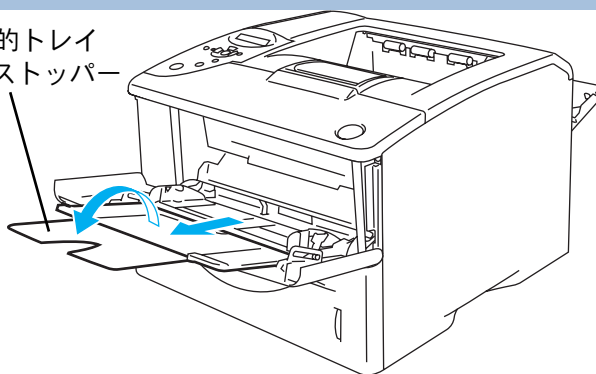
多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

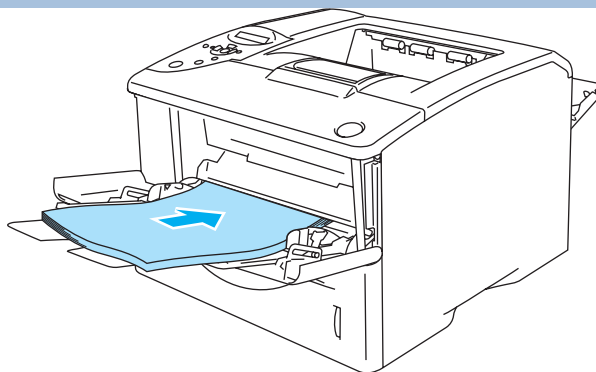
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

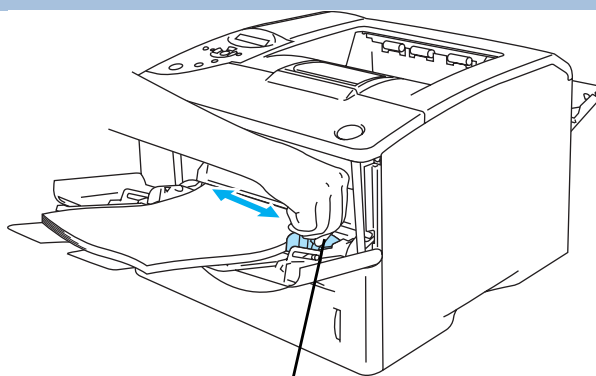
①用紙サイズ ：任意選択（厚紙の場合）
A4、レター（OHP フィルムの場合）
②用紙媒体 ：厚紙、超厚紙（厚紙の場合）
OHP（OHP フィルムの場合）
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

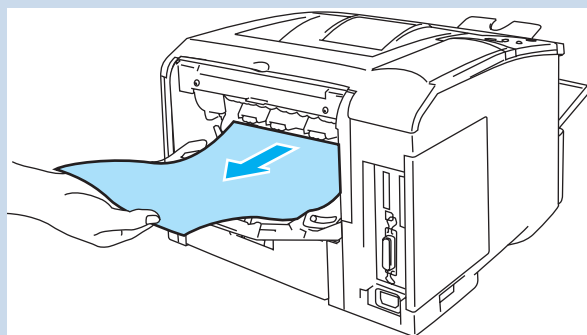
Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

2 背面排紙トレイを開けます。

必要に応じて背面排紙トレイの用紙ストッパーを引き出してください。

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

4 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

5 多目的トレイに用紙を挿入します。

多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれた用紙から、上の面に印刷されます。
- 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

6 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙サイズの幅に合わせます。

7 印刷データを本機に送ります。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

ハガキに印刷する

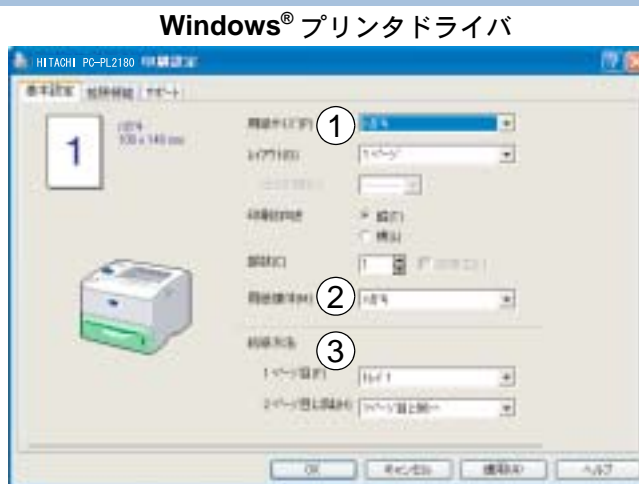
官製ハガキは、用紙トレイ、多目的トレイから印刷できます。

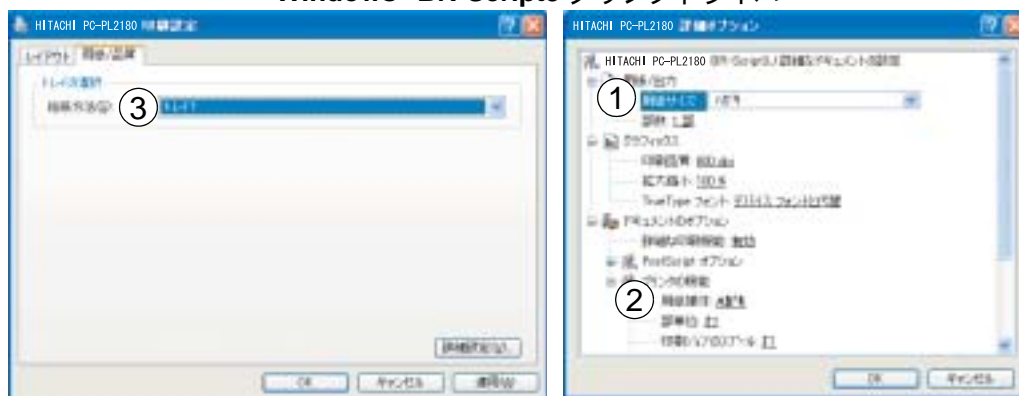
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-29を参照してください。

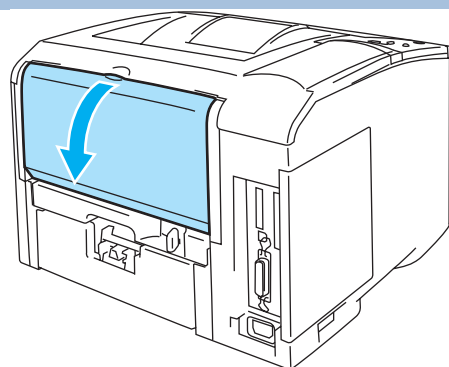
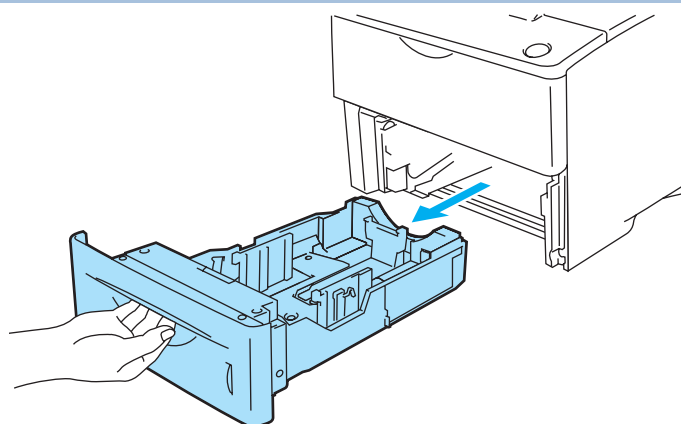
用紙トレイから印刷する

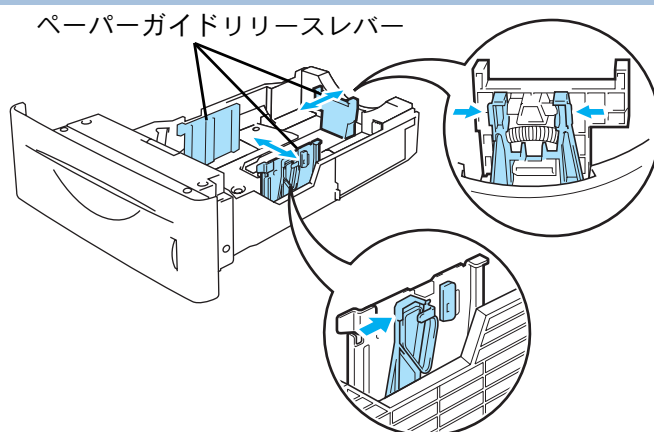
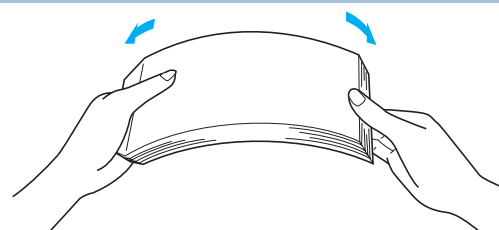
用紙トレイへは、官製ハガキを 30 枚より多くセットしないでください。

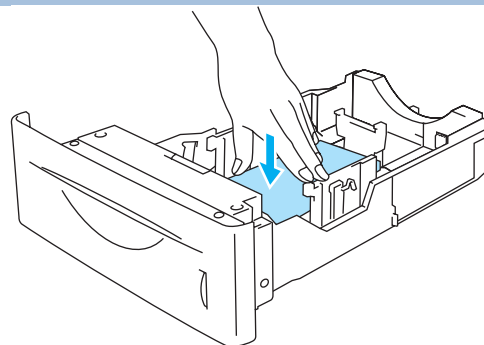
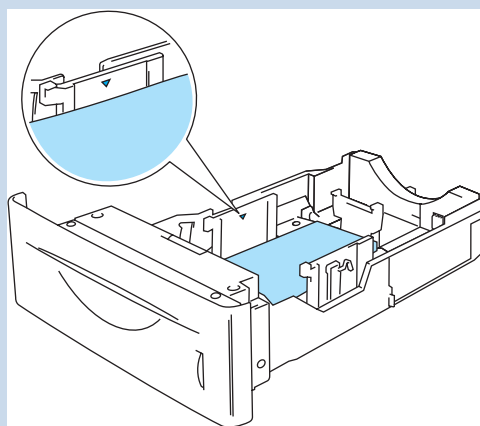
1 **プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。**

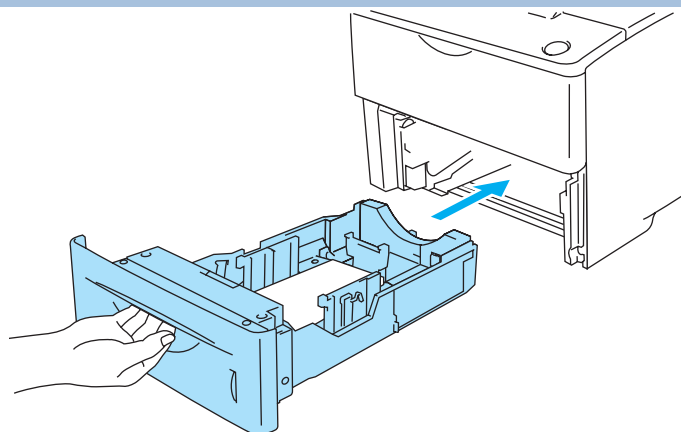
①用紙サイズ ：ハガキ
②用紙媒体 ：ハガキ
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

2 背面排紙トレイに排紙したいときは、背面排紙トレイを開けます。

3 本機から用紙トレイを引き出します。

4 青色のペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷するハガキのサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用するハガキのサイズの溝にはまっていることを確認してください。

5 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、ハガキをさばきます。

6 用紙トレイにハガキをセットします。

ハガキが平らになっていることを確認してください。

- 用紙トレイに官製ハガキを 30 枚より多くセットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した官製ハガキに印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（官製ハガキの上がトレイの前側にくるように）して、用紙トレイにセットされている官製ハガキの一番上にセットしてください。

7 用紙トレイを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

8 印刷データを本機に送ります。

9 印刷が終了しました。背面排紙トレイが開いている場合は閉じます。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：ハガキ
②用紙媒体　 ：ハガキ
③給紙方法 1 ページ目 ：MP トレイ

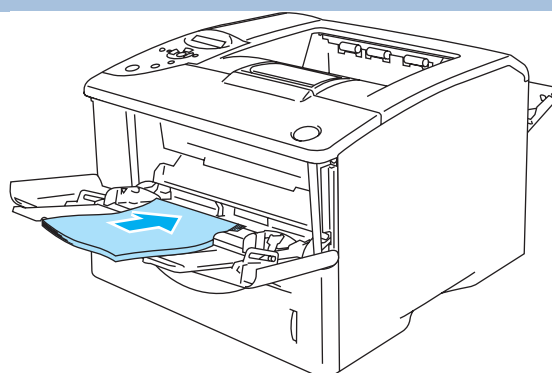
Windows® プリンタドライバ

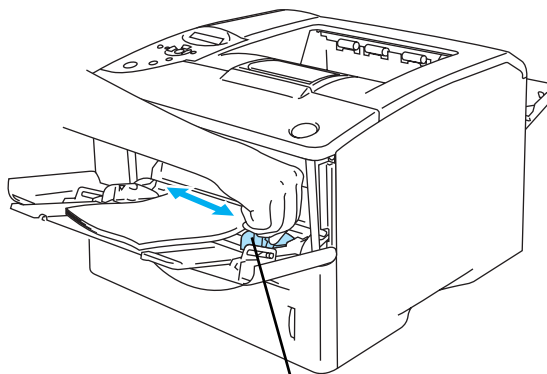
Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

2 背面排紙トレイに排紙したいときは、背面排紙トレイを開けます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

4 多目的トレイにハガキを挿入します。

多目的トレイにハガキを挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれたハガキから、上の面に印刷されます。
- ハガキはペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめにハガキの先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- ハガキは、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。ハガキが正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

5 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷するハガキのサイズの幅に合わせます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

6 印刷データを本機に送ります。

7 印刷が終了しました。
背面排紙トレイが開いている場合は閉じます。

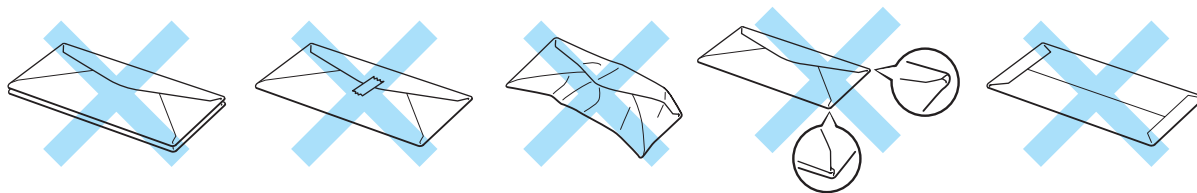
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

封筒に印刷する

封筒は多目的トレイから印刷できます。

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒、または規格外の封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- ページプリンタで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

上記の種類の封筒を使用すると、本機が故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

- 封筒を印刷するときは、紙づまりや給紙ミスを防ぐため、あらかじめ封筒をよくさばき、正しくセットしてください。

- いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。
- 封筒に両面印刷することはできません。
- 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
- 「使用できる用紙と領域」P.1-29を参照してください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
先端の紙の貼り合せ部分が厚過ぎず、縁がまっすぐで、しっかりと折り目が付けられており、ふくれてなく、薄くて平らな状態のものが適しています。
ページプリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

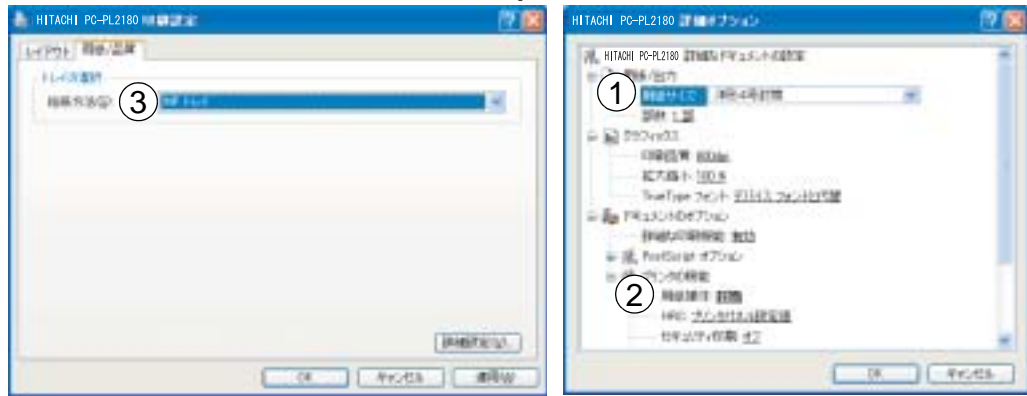
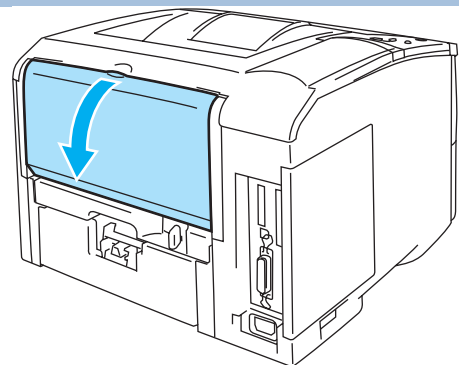
特に推奨するメーカーはありません。上記の使用できない封筒に該当しない印刷に適した封筒をお選びください。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

背面排紙トレイを開けているときに、多目的トレイから給紙された封筒は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って封筒に印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。

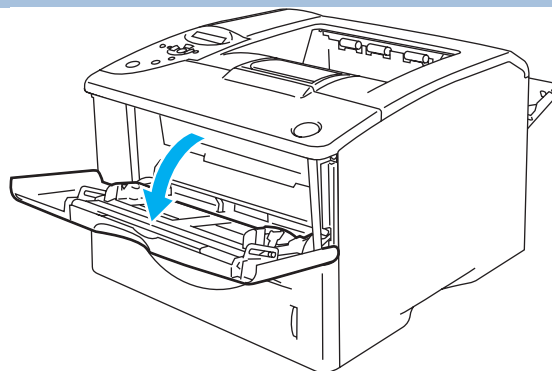
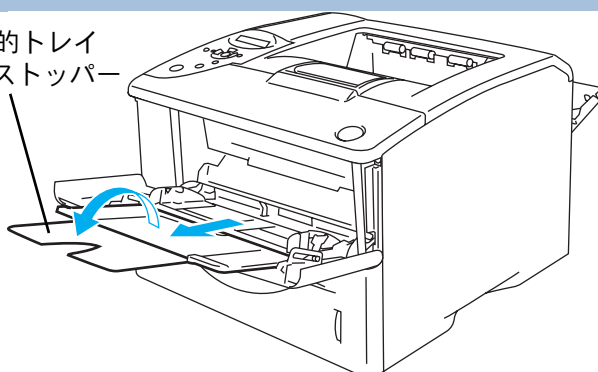
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

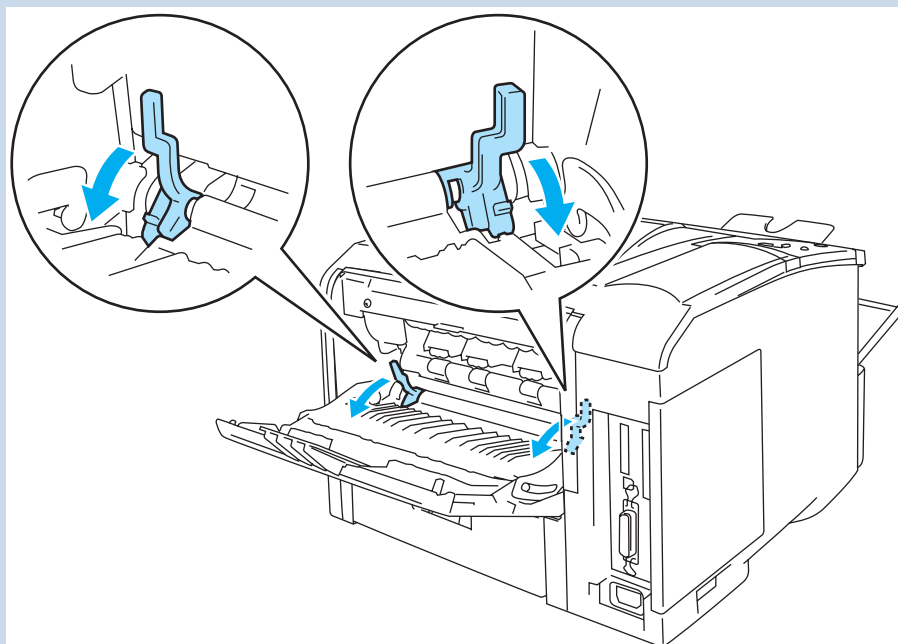
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

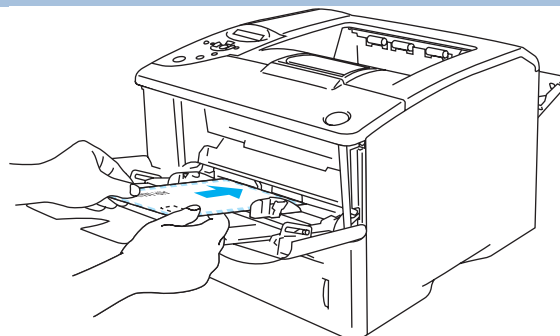
①用紙サイズ ：洋形 4 号、洋形最大
②用紙媒体　 ：封筒
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

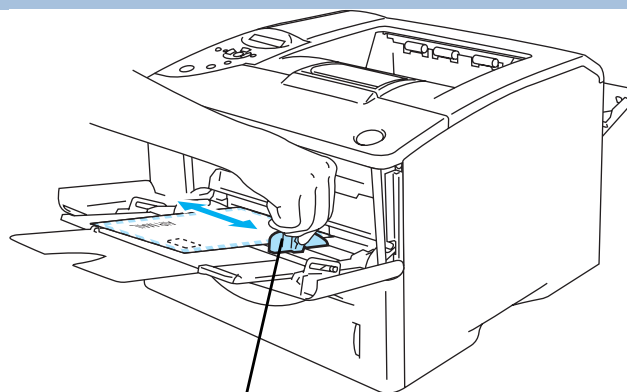
2 背面排紙トレイを開けます。

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

4 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

印刷した封筒にしわや折り目が付く場合

図のように、本機背面の背面排紙トレイを開け、左右の青色のレバーを押し下げます。

印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。レバーがリセットされ元の位置に戻ります。

5 多目的トレイに封筒を挿入します。

多目的トレイに封筒を挿入するときは、次の点に注意してください。

- 1 番上に置かれた封筒から、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには 3 枚以上の封筒を挿入しないでください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 封筒はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめに封筒の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 封筒は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。封筒が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

6 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷する封筒の幅に合わせます。

7 印刷データを本機に送ります。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した封筒をすぐに取り除いてください。印刷した封筒を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

- 印刷することで封筒ののり付けされている部分がはがれることはありません。
- 封筒の周囲に折り目やしわを付けないでください。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙は、多目的トレイから印刷できます。

ラベル紙に関する注意点

- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。本機に損傷を与えることがあります。
- ページプリンタ印刷用紙のラベル紙をご使用いただくことをおすすめします。
- ページプリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材のラベル紙をご使用ください。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

背面排紙トレイを開けているときは、多目的トレイから給紙されたラベル紙は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。

- 多目的トレイからラベル紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

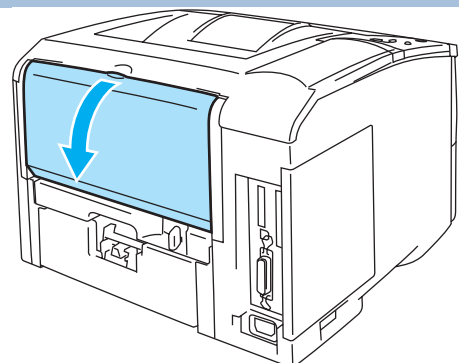
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：A4、レター
②用紙媒体 ：超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

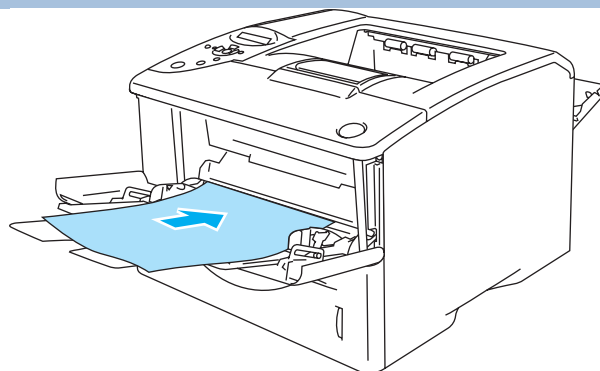
Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

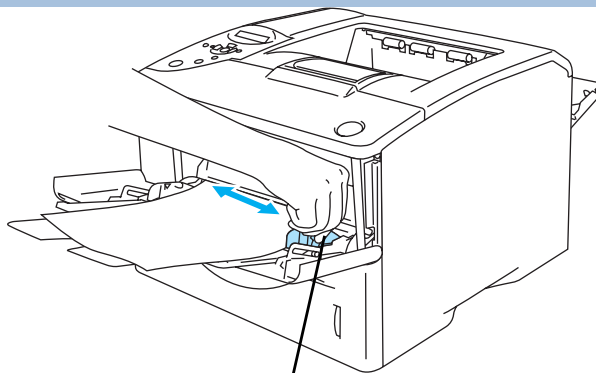
2 背面排紙トレイを開けます。

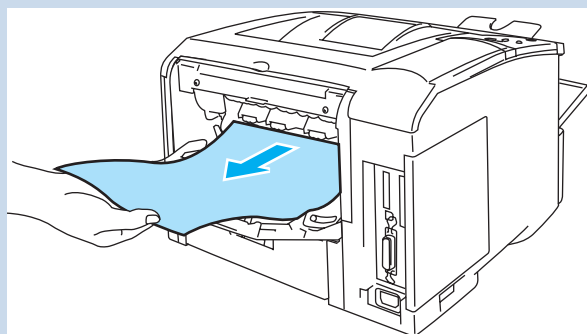
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

4 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

5 多目的トレイにラベル紙を 1 枚挿入します。

多目的トレイにラベル紙を挿入するときは、次の点に注意してください。

- 多目的トレイにラベル紙を 2 枚以上セットしないでください。
- ラベル紙の上の面から印刷されます。
- ラベル紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめにラベル紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- ラベル紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。ラベル紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

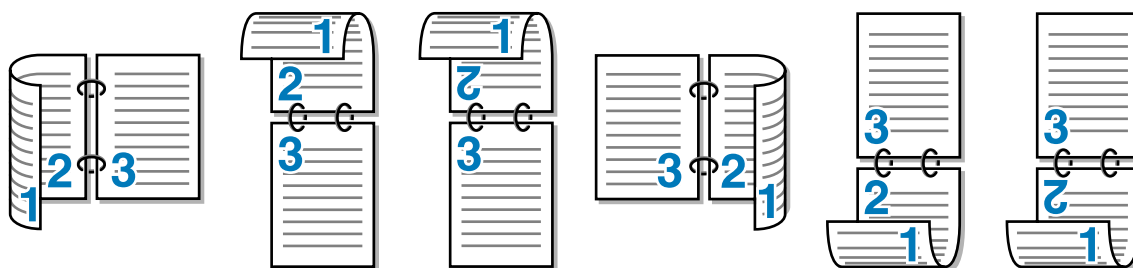
6 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、印刷するラベル紙サイズの幅に合わせます。

7 印刷データを本機に送ります。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷したラベル紙をすぐに取り除いてください。印刷したラベル紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

両面印刷する

設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

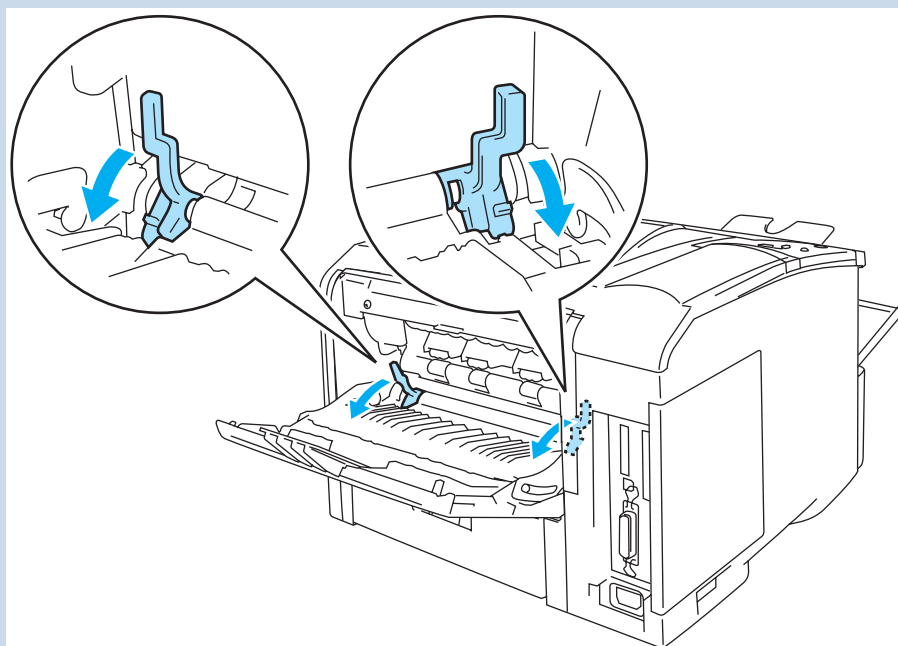
Windows® BR-Script3 プリンタドライバでは、手動両面印刷機能を使用することはできません。

両面印刷の例

両面印刷に関する注意点

- 用紙が薄い場合は、しわが付く可能性があります。
- 用紙が反っている場合は、まっすぐに伸ばしてから用紙トレイに入れてください。
- ボンド紙は使用できません。
- 用紙が正常に給紙されないときは、用紙が反っている恐れがあります。用紙を取り出してまっすぐに伸ばしてください。

手動両面印刷のポイント

- 用紙トレイを使った手動両面印刷で、偶数ページ（裏面）の印刷が終了して奇数ページ（表面）の印刷を開始するときは、用紙トレイ内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページ（裏面）を印刷した用紙のみを多目的トレイに入れてください。そのとき印刷する面を上向きに入れてください。(印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。)

多目的トレイを使って厚紙を手動両面印刷する場合、偶数ページ（裏面）を印刷した後、奇数ページ（表面）を印刷するために厚紙を挿入しても、給紙されないことがあります。このようなときは、図のように、本機背面の背面排紙トレイを開け、左右の青色のレバーを押し下げます。

印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。このとき、レバーは自動的に元の位置に戻ります。

自動両面印刷のポイント

はじめに偶数ページ（裏面）が印刷されます。
例えば、用紙 5 枚を使って 10 ページ分印刷する場合、まず 1 枚目の 2 ページ→ 1 ページ、2 枚目の 4 ページ→ 3 ページ、3 枚目の 6 ページ→ 5 ページ ... と順に印刷されます。

自動両面印刷する場合は、次の方法で用紙トレイまたは多目的トレイに用紙を入れてください。

用紙トレイ (カセット) またはローワートレイユニット（オプション）

トレイ (カセット) に用紙を入れたときの下面が、はじめに印刷面になります。

- はじめに印刷する面を下向き、用紙の上がトレイ (カセット) の前側にくるようにして、トレイ (カセット) に用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が上向き、用紙の上がトレイ (カセット) の前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合
- レターヘッドが印刷された面を上向き、用紙の上がトレイ (カセット) の前側にくるようにして、トレイ (カセット) に用紙を入れます。
- レターヘッドが印刷された面が下向き、用紙の上がトレイ (カセット) の前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

多目的トレイの場合

多目的トレイに用紙を入れたときの上面が、印刷面になります。

- はじめに印刷する面を上向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が下向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合
- レターヘッドが印刷された面を下向き、用紙の上が多目的トレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。
- レターヘッドが印刷された面が上向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

用紙トレイから手動両面印刷する

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9 を参照してください。

① [A|B]（両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「手動両面印刷」を選択します。

④「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

● 給紙方法：トレイ１

メモ 用紙トレイからの印刷については、「用紙トレイから印刷する」P.2-38 を参照してください。

3 本機は、まず用紙の片面に偶数ページを印刷します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

4 [OK] をクリックします。

偶数ページの印刷が開始されます。

5 パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

6 OK をクリックします。

奇数ページの印刷が開始されます。

多目的トレイから手動両面印刷する

- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12を参照してください。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① （両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「手動両面印刷」を選択します。

④「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

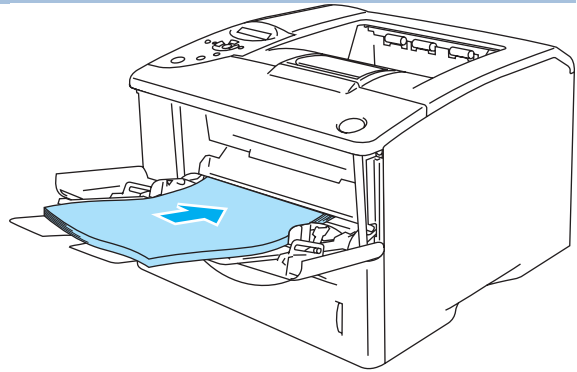
2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

● 給紙方法：MP トレイ

多目的トレイからの印刷については、「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

3 偶数ページを印刷する面を上にして、多目的トレイに用紙を挿入します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

4 OK をクリックします。

偶数ページの印刷が開始されます。

5 すべての偶数ページの印刷が終了したら、偶数ページが印刷された用紙を取り、奇数ページを印刷する面を上向きにして多目的トレイに挿入します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

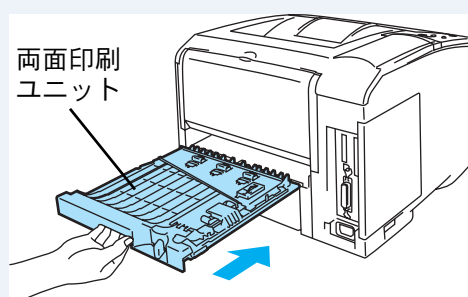
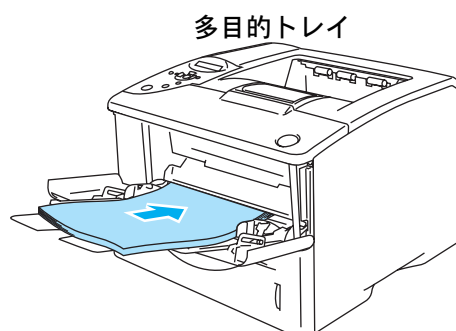
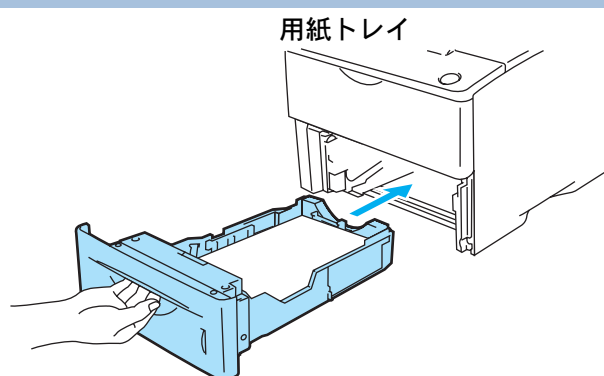
6 OK をクリックします。

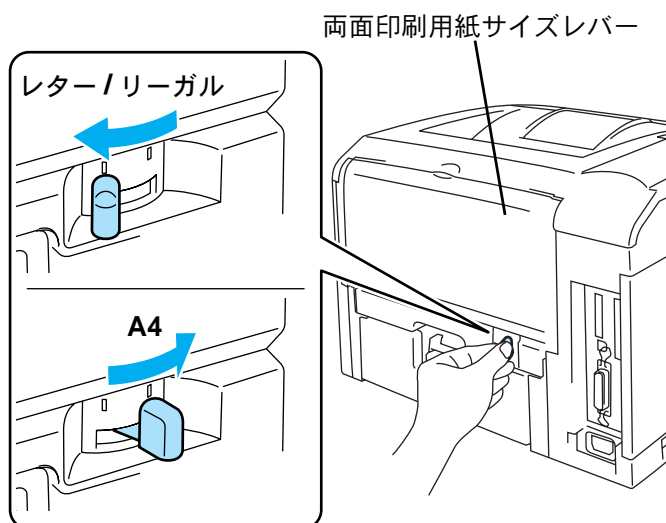
奇数ページの印刷が開始されます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

自動両面印刷する

- 自動両面印刷に使用できる用紙は、A4、レターおよびリーガルの普通紙です。
- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12を参照してください。

- 背面排紙トレイが閉じているかを確認してください。
- 両面印刷ユニットが取り付けられているかを確認してください。

1 用紙トレイまたは多目的トレイに用紙を挿入します。

2 用紙サイズに合わせて、両面印刷用紙サイズレバーを切り替えます。

用紙サイズ	レバーの位置
A4	A4
レター、リーガル	LTR/LGL

両面印刷用紙サイズレバーが用紙に対して正しく設定されていないと、紙づまりの原因になったり、用紙上の印刷位置が大幅にずれる場合があります。

3 プリンタドライバの両面印刷を設定します。

Windows® プリンタドライバの場合

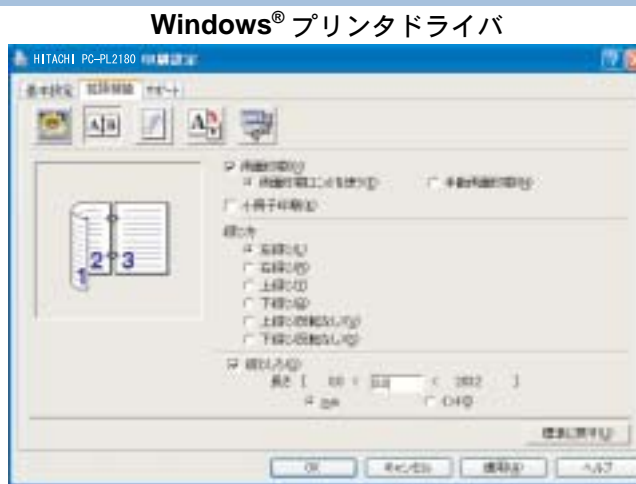
「[拡張機能] タブでの設定項目」P.2-9 を参照してください。

① (両面印刷) をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「両面印刷ユニットを使う」を選択します。

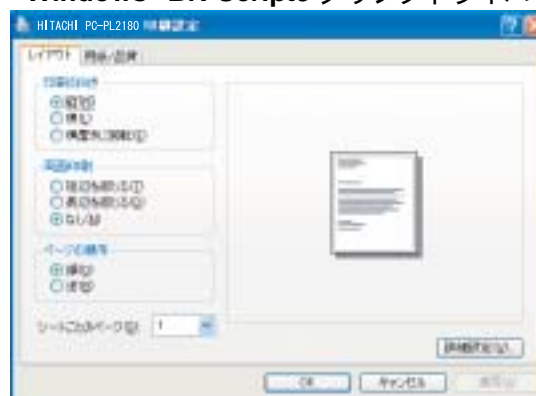
④ 小冊子印刷をする場合は、「小冊子印刷」チェックボックスをチェックしてください。

⑤「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

Windows® BR-Script3 プリンタドライバの場合

「[レイアウト] タブでの設定項目」P.2-34 を参照してください。

① [レイアウト] タブをクリックします。

②「両面印刷」で「短辺を綴じる」または「長辺を綴じる」を選択します。

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

4 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

Windows® プリンタドライバ

Windows® プリンタドライバの場合

「[基本設定] タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

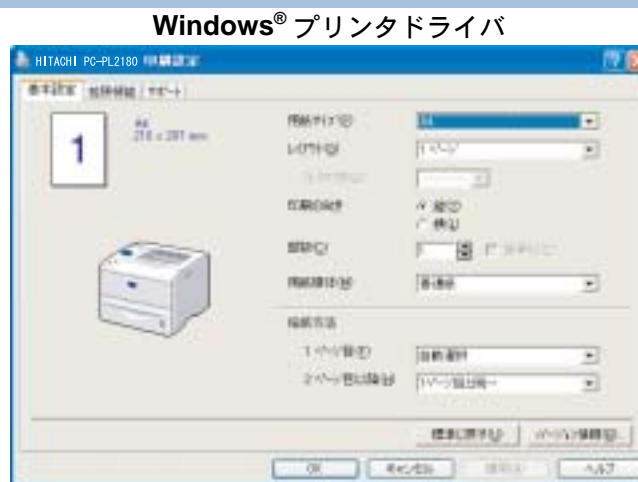
- 給紙方法：MP トレイ / トレイ 1

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバの場合

「[用紙 / 品質] タブでの設定項目」P.2-37を参照してください。

- 給紙方法：MP トレイ / トレイ 1

メモ

- 用紙トレイからの印刷については、「用紙トレイから印刷する」P.2-38を参照してください。
- 多目的トレイからの印刷については、「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41を参照してください。

5 OK をクリックします。

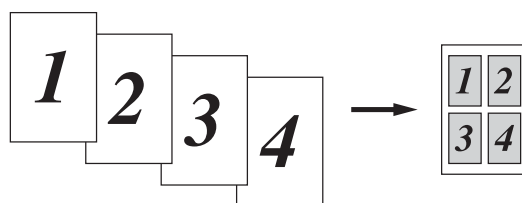
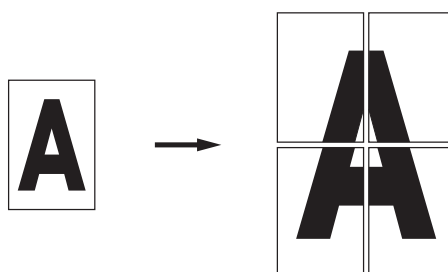
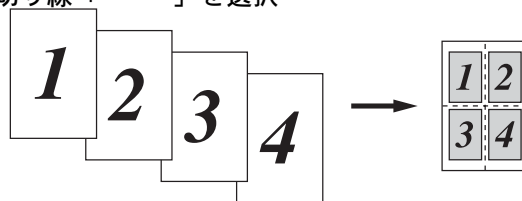
複数のページを 1 枚にまとめて印刷する

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷したり、逆に 1 ページを複数の用紙に分割して印刷したりする方法について説明します。
確認のため試し印刷をするときなどに使用すると、用紙の節約になります。

1 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定した後、レイアウトを設定します。

「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

①「レイアウト」から 1 枚にまとめて印刷するページ数（1,2,4,9,16,25 ページ）を選択します。
例えば、「4 ページ」を選択した場合、4 ページ分を 1 枚にまとめて印刷します。
「4 ページ」を選択

「縦 2 ×横 2 倍」、「縦 3 ×横 3 倍」、「縦 4 ×横 4 倍」、「縦 5 ×横 5 倍」を選択した場合は、1 ページを選択した分割数で印刷します。
例えば、「縦 2 ×横 2 倍」を選択した場合は、1 ページ分を 4 枚に分割して印刷します。
「縦 2 ×横 2 倍」を選択

②1 枚に複数ページをまとめた場合、各ページに境界線を入れたいときは、「仕切り線」から線種を選択します。境界線が必要ないときは、「なし」を選択します。
「4 ページ」を選択、仕切り線「- - - - -」を選択

2 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-43、「厚紙および OHP フィルムに印刷する」P.2-44などを参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

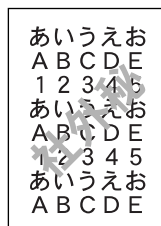
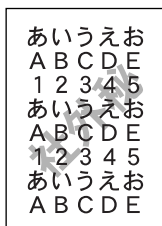
ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

ロゴや本文をウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの１つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

ウォーターマークを使用した例

あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ

あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、ウォーターマーク（すかし）を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

①（ウォーターマーク）をクリックします。

②「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックします。

③「ウォーターマーク選択」のリストから印刷するウォーターマークを選択します。

リストに表示されているウォーターマークの設定を変更したいときは、［編集(E)］をクリックします。

新しくウォーターマークを作成したいときは、［新規(N)］をクリックします。

表示された［ウォーターマーク設定］ダイアログボックスでウォーターマークを設定　変更します。

④必要に応じて、「バックグラウンド印刷」、「袋文字で印刷する」、「ウォーターマーク印刷設定」などを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

3 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-43、「厚紙および OHP フィルムに印刷する」P.2-44などを参照してください。

用紙サイズを変えて印刷する

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

アプリケーションソフトで用紙サイズを指定して作成された文書は、通常その用紙サイズで印刷する必要があります。この機能を使うと、指定した用紙サイズに収まるように、文書を拡大縮小して印刷できます。

例えば、A4 サイズで作成されたデータを印刷したいが用紙が B5 サイズしかない場合、文書を縮小して B5 サイズの用紙に印刷できます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、拡大縮小を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。
①（ページ設定）をクリックします。

②「印刷用紙サイズに合わせます」を選択します。
③「印刷用紙サイズ」から用紙サイズを選択します。

用紙サイズではなく任意の倍率を指定して、印刷することもできます。
その場合は、「任意倍率」を選択して、「任意倍率［25 – 400%]」で倍率を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

手順 1 の③で選択した用紙サイズを選択してください。用紙サイズが合っていないと、文書が用紙からはみ出したり、用紙より小さく印刷されてしまいます。

3 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-43、「厚紙および OHP フィルムに印刷する」P.2-44などを参照してください。

特殊機能を使って印刷する

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

［その他特殊機能］タブのプリント機能モードを設定しておくと、印刷時に実行して印刷することができます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、印刷時に使用するその他特殊機能を設定します。

① （その他特殊機能）をクリックします。

②「その他特殊機能」のリストから設定する項目をクリックします。
リストの右側に設定内容が表示されます。

印刷ジョブのスプール P.2-18
クイックプリントセットアップ P.2-19
スリープまでの時間 P.2-20
ステータスモニタ P.2-21
マクロ設定 P.2-22
設定保護管理機能※1 .... P.2-23
コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-24
ページプロテクト P.2-25
日付　時間を印刷する P.2-26
濃度調整 P.2-27
HRC（高解像度コントロール）※2 .... P.2-28

③ 詳細を設定します。

プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。
※1　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
※2　Windows® 95/98/Me の場合は、［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、HRC の設定と TrueType モードを変更できます。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

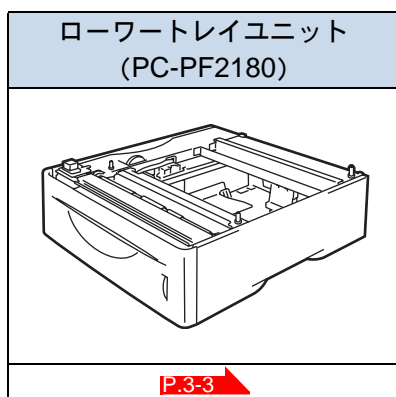
3 印刷を開始します。

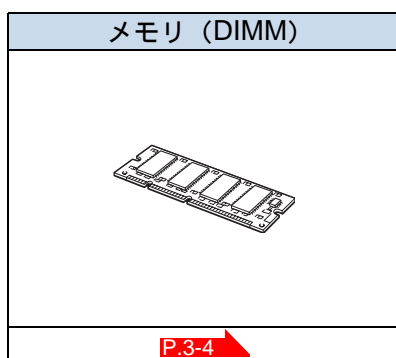
印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-43、「厚紙および OHP フィルムに印刷する」P.2-44などを参照してください。

第 3 章 オプションユニットを使う

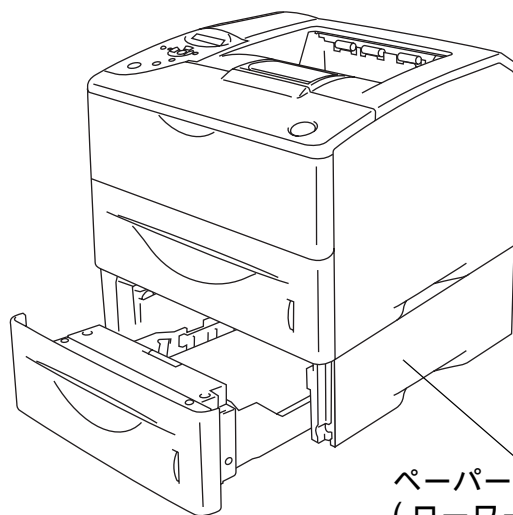
取り付けできるオプション

本機には、次のようなオプションのアクセサリーがあります。オプションを取り付けることで本機の機能をさらに拡張することができます。
下表の マークをクリックするとそれぞれの詳しい情報を見ることができます。

ローワートレイユニット（PC-PF2180）
P.3-3

オプションは別売品です。お近くの販売店、担当営業からご購入ください。

メモリ（DIMM）
P.3-4

注意：メモリが必要な場合は、市販品を購入してください。
プリンタは 32MB のメモリを内蔵していますが、セキュリティ機能やＲＡＭＤＩＳＫ機能などのプリンタ機能を使用したり、PostScript などで複雑なデータを印刷したり、圧縮率が低い複雑で緻密な画像データなどを 1200dpi で両面印刷を行う場合に、メモリフルエラーが発生する場合があります。このような場合は、解像度を低下させて印刷する、機能を使用しないで印刷を行う、あるいはプリンタメモリを増設してください。

ペーパーフィーダ（PC-PF2180）を取り付ける

ペーパーフィーダ (ローワートレイユニット) は、大容量給紙を可能にするオプション品です。普通紙で最大 500 枚（64g/m^2）の給紙ができます。

ペーパーフィーダ (ローワートレイユニット) を購入する場合は、本機を購入した販売店、担当営業にお問い合わせください。
取り付けの詳細は、ペーパーフィーダ (ローワートレイユニット) に付属の説明書を参照してください。

メモリ（DIMM）を増設する

メモリ（DIMM）について

プリンタは 32MB のメモリを内蔵していますが、セキュリティ機能や ＲＡＭＤＩＳＫ 機能などのプリンタ機能を使用したり、PostScript などで複雑なデータを印刷したり、圧縮率が低い複雑で緻密な画像データなどを 1200dpi で両面印刷を行う場合に、メモリフルエラーが発生する場合があります。このような場合は、解像度を低下させて印刷する、機能を使用しないで印刷を行う、あるいはプリンタメモリを増設してください。

本機は 32MB のメモリを内蔵し、オプションの増設メモリ用のスロットが設けられています。メモリは、市販の DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）を取り付けることで、最大で合計 160MB まで増設できます。

増設可能なメモリ（DIMM）容量

メーカー名	型番	メモリ容量
（株）バッファロー	PM-HP 32M	32MB
	PM-HP 64M	64MB
	PM-HP 128M	128MB

メーカー名	製品名	メモリ容量
（株）アドテック	AD-16M100SD	16MB
	AD-32M100SD	32MB
	AD-64M100SD	64MB
	AD-128M100SD	128MB

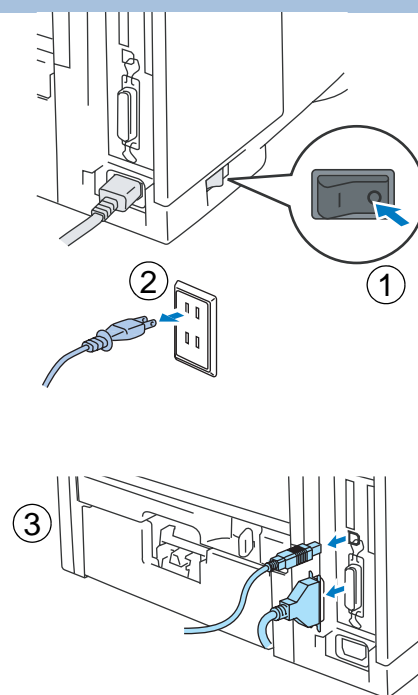
メモリ（DIMM）の一般仕様

項　目	仕　様
タイプ	100 ピン -32 ビット出力
CAS レイテンシー	2 または 3
クロック周波数	66MHz 以上
容量	16,32,64,128MB
高さ	35mm 以下
パリティ	なし
DRAM タイプ	SDRAM 4 バンク

- ページプロテクト機能を使用する場合は、メモリ（DIMM）を増設してプリンタメモリを拡張する必要があります。
- FTP/IPP プロトコルを使う場合は、メモリ（DIMM）を増設してプリンタメモリを拡張する必要があります。

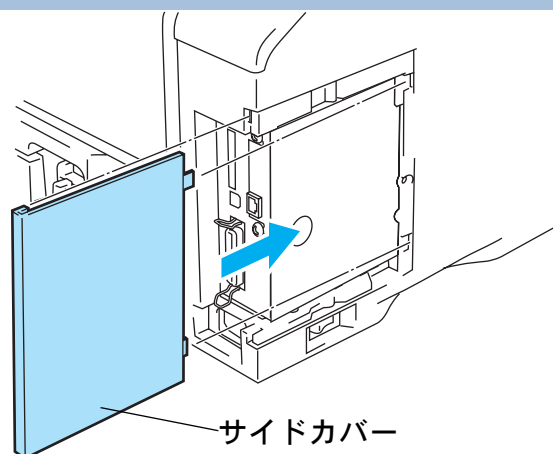
メモリ（DIMM）の増設方法

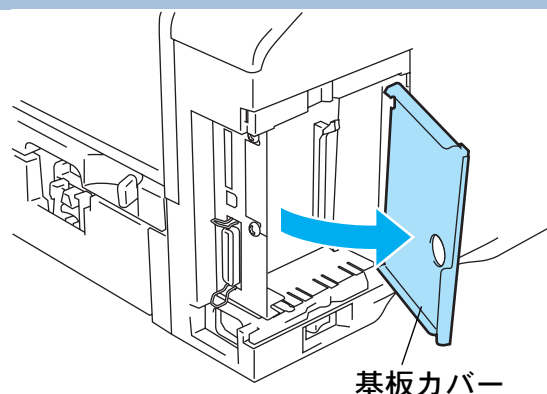
1

本機の電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。また、インターフェースケーブルを本機から取り外します。

注意

メモリ（DIMM）の取り付けや取り外しをする場合は、必ず事前に本機の電源を切ってください。

2

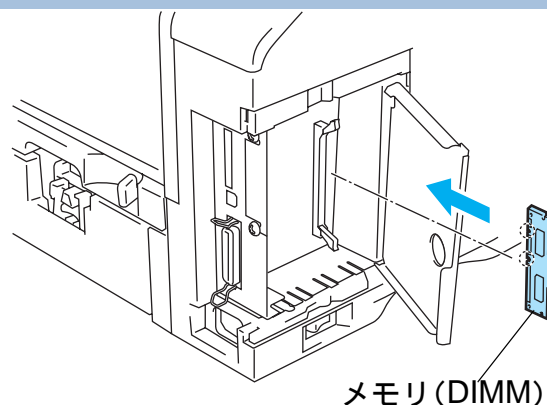
サイドカバーをスライドさせて取り外します。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録
索引

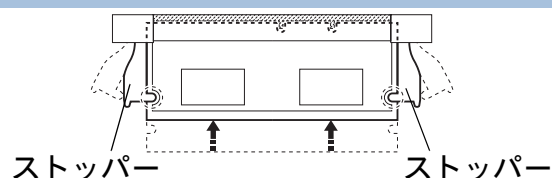
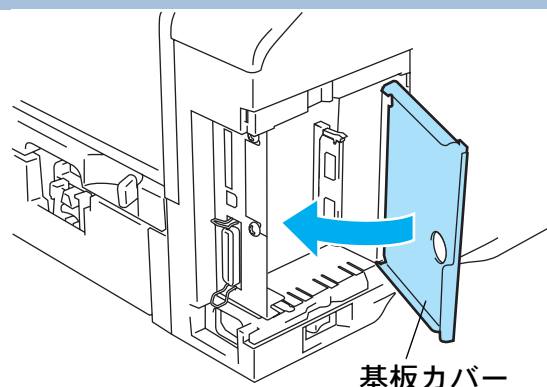
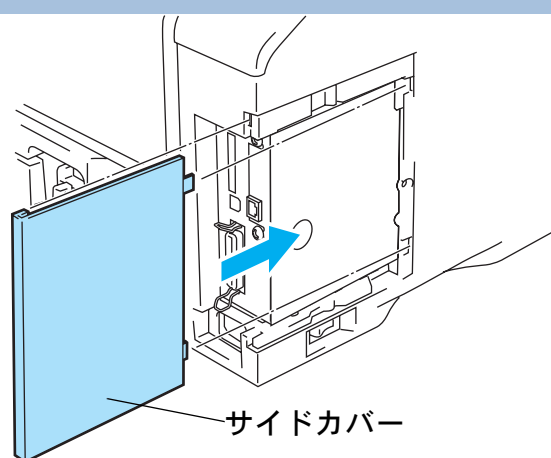
3 基板カバーを開けます。

4 メモリ（DIMM）を開封します。

注意

- DIMM 基板は、ほんのわずかな静電気によっても損傷する可能性があります。メモリチップや基板の表面には絶対に手を触れないでください。
- メモリ（DIMM）の取り付け、取り外し時には、帯電防止用の手首に付ける革ベルトなどを使って、静電気を除去してください。帯電防止用のベルトを使用しないときは、頻繁にスチール製の机や棚などに触れて、静電気を除去してください。

5 メモリ（DIMM）の両側を端子が下になるように持って、スロットの溝に合わせます。

ストッパーが外側へ開いていることを確認してください。

6 メモリ（DIMM）の両側にあるストッパーがカチッと音がするまで、メモリ（DIMM）をまっすぐゆっくりと押します。

ストッパーがメモリを固定しているか確認してください。
（メモリ（DIMM）を取り外すときは、ストッパーを外側へ開きます。）

7 基板カバーを閉じます。

8 サイドカバーをスライドさせて取り付けます。

9 本機とパソコンをインターフェースケーブルで接続します。電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源スイッチをオンにします。

メモ

本機の設定を印刷し、メモリ（DIMM）が正しく取り付けられていることを確認してください。

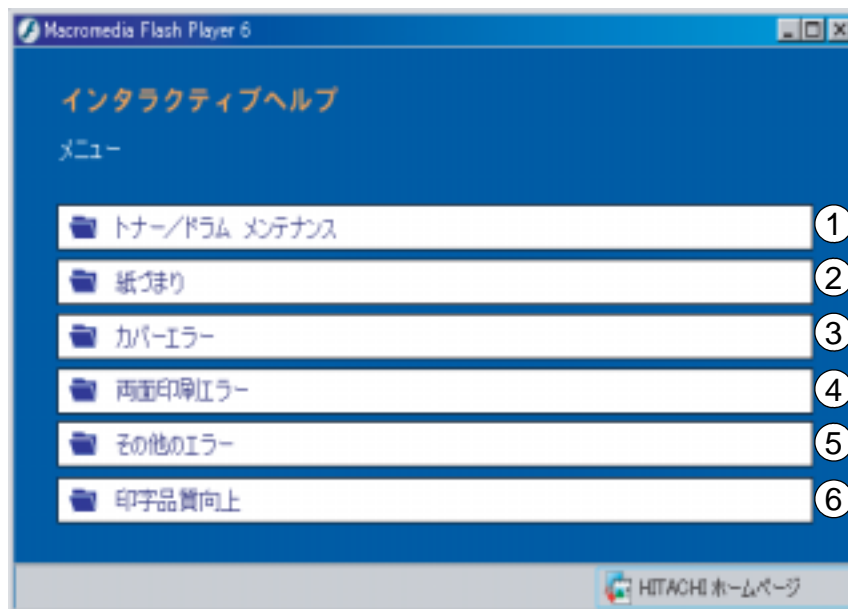
本機の設定の印刷方法は「プリンタ設定ページの印刷」P.1-26を参照してください。

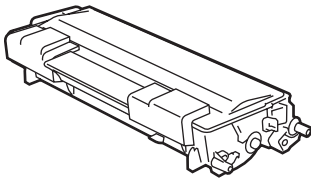
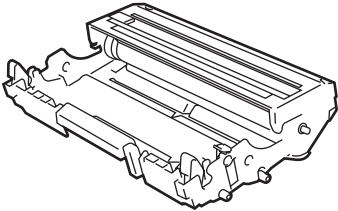
第 4 章 メンテナンス

メンテナンス

本機は定期的に消耗品を交換し、清掃する必要があります。

メンテナンスチュートリアル

CD-ROM メニュー上の「取扱説明書」－「インタラクティブヘルプ」から、本機のメンテナンス方法について、アニメーションにてご覧いただけます。ぜひご利用ください。

①トナーカートリッジやドラムユニットの交換方法をアニメでご覧いただけます。
②紙詰まりの解除方法をアニメでご覧いただけます。
③カバー開によるエラーの解除方法をアニメでご覧いただけます。
④両面印刷によるエラーの解除方法をアニメでご覧いただけます。
⑤その他のエラーの解除方法をアニメでご覧いただけます。
⑥印刷不具合を解決する方法をアニメでご覧いただけます。

上記の項目については「印刷品質を改善するには」P.5-27でも説明されています。

消耗品の交換

消耗品の交換時期になった場合、操作パネルの液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

メッセージ	内容	参照ページ
ﾄﾅｰ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶ	トナーカートリッジの残量が残り少ないことを示しています。一定間隔で表示されます。	P.4-4
ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾐｮｳ	トナーカートリッジが完全になくなったことを示しています。	P.4-4
ﾄﾞﾗﾑ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶ	ドラムユニットの寿命が少ないことを示しています。	P.4-9

消耗品

トナーカートリッジ (PZ21801)	ドラムユニット (PZ21802)
P.4-4	P.4-9

トナーカートリッジ

トナーカートリッジの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、PZ21801 トナーカートリッジでは 7,500 枚の印刷が可能です。

- トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 印刷面積比が大きいほど、トナー消費量は増大します。.
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。

トナーカートリッジの状態を確認する

トナー少量メッセージ

ﾄﾅｰ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶ　（一定間隔で表示）

「トナー　ノコリワズカ」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの残量が残り少ないことを示しています。「トナー　ジュミョウ」のメッセージが表示され、トナーカートリッジが完全になくなる前に、新しいトナーカートリッジを購入してください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5を参照してください。

トナー切れメッセージ

ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾐｮｳ

「トナー　ジュミョウ」のメッセージが表示されたときは、トナーが完全になくなり印刷できなくなるか、トナーカートリッジの内部で均等にトナーが分配されなくなります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。新しいトナーカートリッジに交換すると、印刷を再開できます。トナーカートリッジの交換については、「トナーカートリッジの交換」P.4-5を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

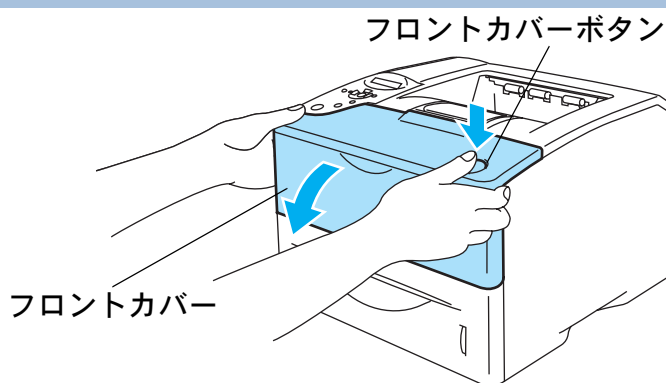
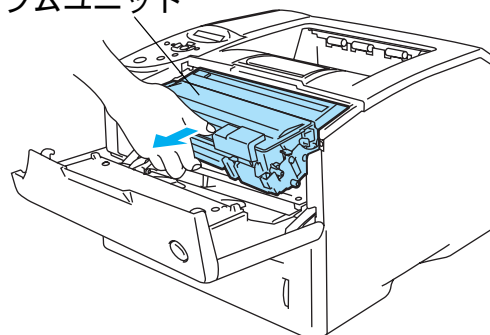
注意

- PZ21801 トナーカートリッジ (純正トナーカートリッジ) のみを使用してください。PZ21801 トナーカートリッジにトナーのみを補充しないでください。トナーが空になった場合は、トナーカートリッジごと PZ21801 トナーカートリッジに交換してください。純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、本機自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して発生した故障は保証の対象とはなりません。
  ご使用済みのトナーカートリッジを PZ21801 トナーカートリッジに交換された場合のみ、印刷品質や本機自体の品質を保証いたします。
- 純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、ドラムユニットの性能と寿命に重大な損傷をもたらす可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

- 本機または本機の印刷品質を維持するため、必ず PZ21801 トナーカートリッジ (純正トナーカートリッジ) をご使用ください。トナーカートリッジを購入する場合は、本機を購入した販売店または担当営業にお問い合わせください。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機を清掃することをおすすめします。「クリーニング」P.4-14を参照してください。
- トナーカートリッジの交換方法は、CD-ROM メニュー上の「取扱説明書」－「インタラクティブヘルプ」からアニメーションでもご覧いただけます。

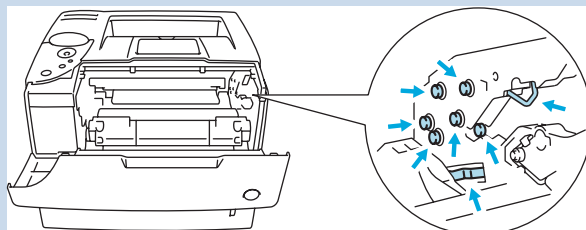
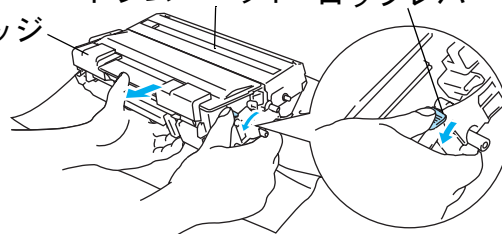
1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

2 ドラムユニットを取り出します。

注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

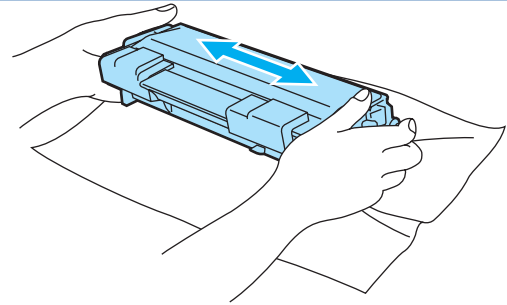
3 **青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。**

トナーカートリッジ　ドラムユニット　ロックレバー

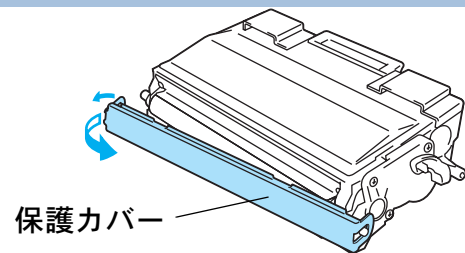
注意

トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

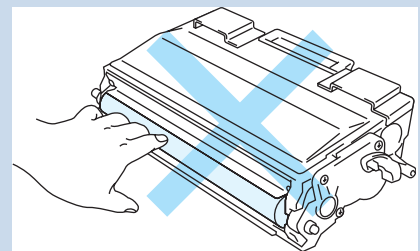
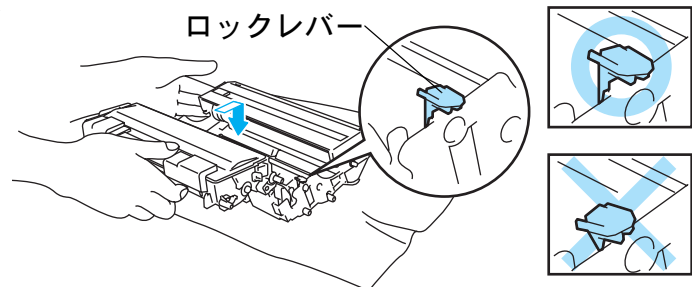
- トナーカートリッジを廃棄するときは、トナー粉が袋からこぼれないように、トナーカートリッジを袋に入れ、袋の口を堅く封印してください。
- トナーカートリッジを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
- リコープリンティングシステムズでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました PZ21801 トナーカートリッジ／ PZ21802 ドラムユニットがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（https://mall.rps.ricoh.co.jp/printer/siyouzumi.htm）を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

4 新しいトナーカートリッジを開封します。トナーが均等になるように、左右に５～６回ゆっくりと振ります。

注意

- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。長時間、開封したままで放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- ドラムユニットを開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

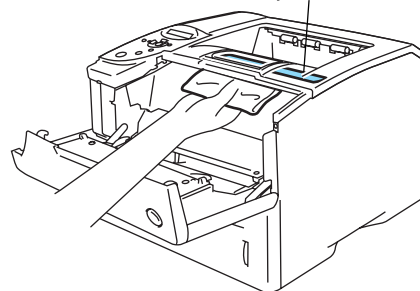
5 保護カバーを外します。

注意

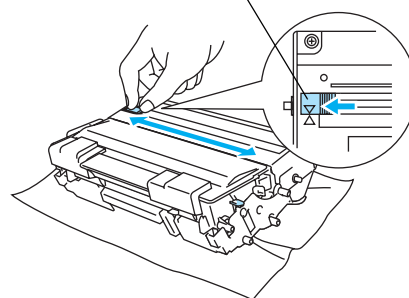
保護カバーを外したトナーカートリッジは、すぐにドラムユニットに装着してください。また、印刷品質の劣化を防止するため、右図の青色の部分には触れないでください。

6 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

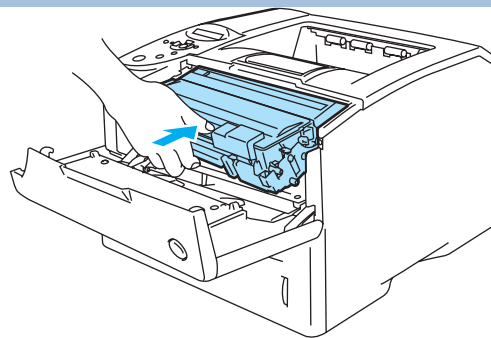
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

注意

トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

7 **乾燥した柔らかい布でスキャナガラス（右図に示す青色の部分）を拭きます。**

8 **ドラムユニットの青色のつまみを2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻してからトナーカートリッジをドラムユニットに戻します。**

注意

青色のつまみが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

9 **本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉じます。**

ドラムユニット

ドラムユニットの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、PZ21802 ドラムユニットでは約 30,000 枚の印刷が可能です。

- ドラムユニットの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニット寿命は約 30,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 本機は、清潔で塵埃が発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- 最良の性能を発揮させるために、PZ21801 トナーカートリッジだけを使用してください。
- 純正以外のドラムユニットを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、本機自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

ドラムユニットの状態を確認する

ドラム寿命メッセージ

ﾄﾞﾗﾑ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶ　（一定間隔で表示）

「ドラム　ノコリワズカ」のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの寿命が少なくなっていることを示します。印刷品質が劣化する恐れがあるので、お早めにドラムユニットを交換されることをおすすめします。「ドラムユニットを交換する」P.4-10を参照してください。

注意

- 内部にトナーが残っている場合があるので、ドラムユニットの取り外しには細心の注意を払ってください。
- ドラムユニットを交換するときは、本機を清掃することをおすすめします。「クリーニング」P.4-14を参照してください。

ドラムユニットを交換する

ドラムユニットを交換するときは、本機を清掃することをおすすめします。「クリーニング」P.4-14を参照してください。

ドラムユニットの交換方法は、CD-ROM メニュー上の「取扱説明書」－「インタラクティブヘルプ」からアニメーションでもご覧いただけます。

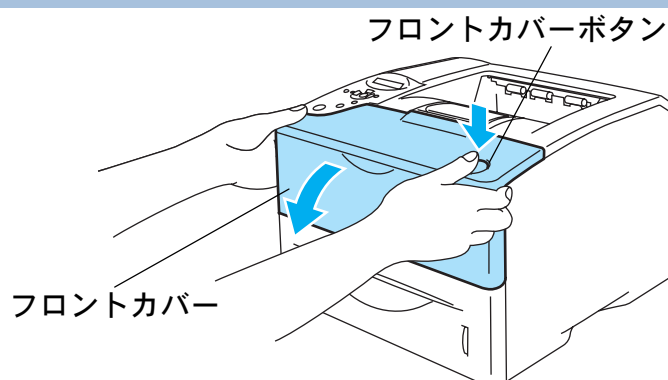
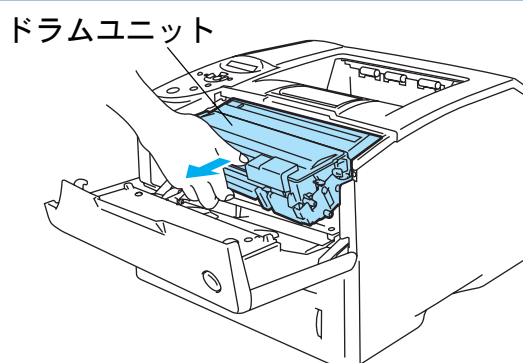
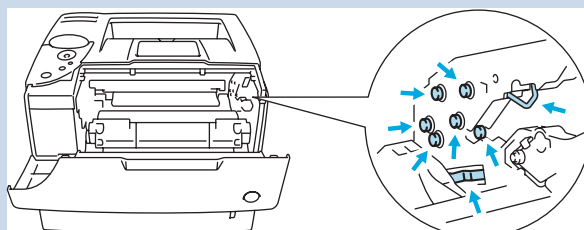
1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

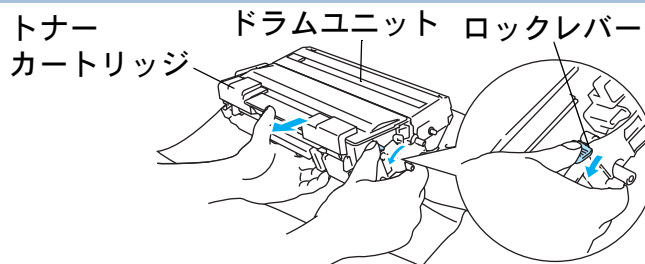
フロントカバーボタン

フロントカバー

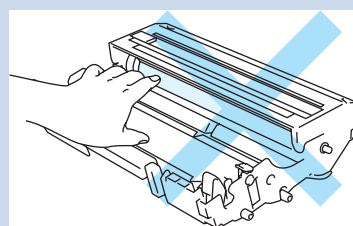
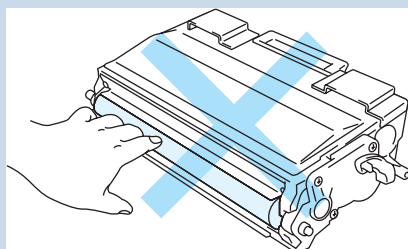
2 ドラムユニットを取り出します。

ドラムユニット

注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

3 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジ　ドラムユニット　ロックレバー

注意

• 印刷品質の劣化を防止するため、下図の青色の部分には触れないでください。

• トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

• ドラムユニットを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
• リコープリンティングシステムズでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました PZ21801 トナーカートリッジ／ PZ21802 ドラムユニットがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（https://mall.rps.ricoh.co.jp/printer/siyouzumi.htm）を参照してください

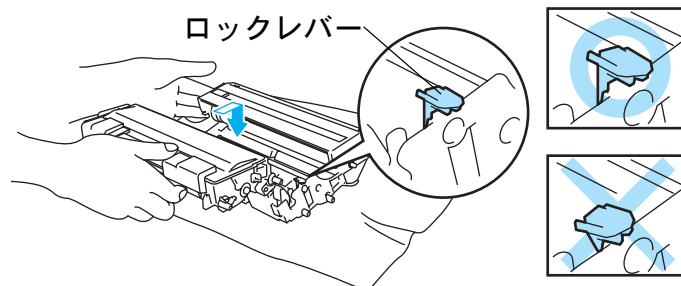
4 ドラムユニットを開封します。

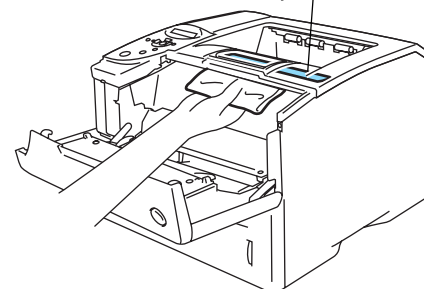
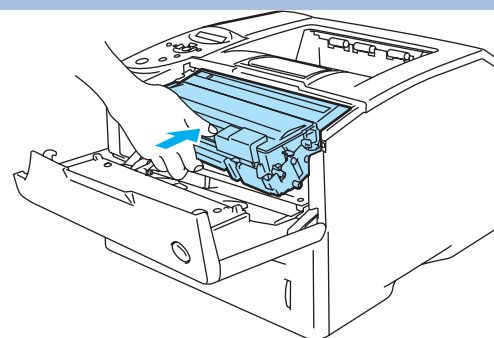
注意

ドラムユニットを本機に取り付ける直前まで開封しないでください。開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

5 トナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

6 乾燥した柔らかい布でスキャナガラス（右図に示す青色の部分）を拭きます。

7 本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉める前に、本機の電源を入れます。

8 ドラムカウンタをリセットします。

新しいドラムユニットに同梱されている説明書を参照してください。

トナーカートリッジのみ交換した場合は、ドラムカウンタをリセットしないでください。

9 フロントカバーを閉じます。

有寿命有償部品の交換

有寿命有償部品の交換時期になった場合、操作パネルの液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。印刷品質を保持するためには、有寿命部品を定期的に交換する必要があります。下表に示す枚数を印刷した後、下表の部品を交換することが必要です。

メッセージ	内容	概算寿命	保守部品交換の詳細
PF ｷｯﾄ MP ｺｳｶﾝ	多目的トレイ給紙キット※1を交換してください。	100,000 枚※3	保守会社へお問い合わせください。
PF ｷｯﾄ 1 ｺｳｶﾝ	用紙トレイ給紙キット※2を交換してください。	100,000 枚※3	
PF ｷｯﾄ 2 ｺｳｶﾝ	用紙トレイ給紙キット※2を交換してください。	100,000 枚※3	
ﾃｲﾁｬｸｷ ｺｳｶﾝ	定着ユニットを交換してください。	150,000 枚※3	
ﾚｰｻﾞｰｽｷｬﾅｰ ｺｳｶﾝ	レーザーユニットを交換してください。	200,000 枚※3	

※1 多目的トレイ給紙キットとは、給紙ローラーと分離プレートを示します。
※2 用紙トレイ給紙キットとは、給入ローラー、分離ローラー、分離パッド、分離パッドバネを示します。
※3 本機の印刷枚数は、プリンタ設定ページで確認できます。
「プリンタ設定ページの印刷」P.1-26を参照してください。
実際の印刷枚数は印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。上表の数字は一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 サイズの用紙に片面印刷した場合で算出されています。

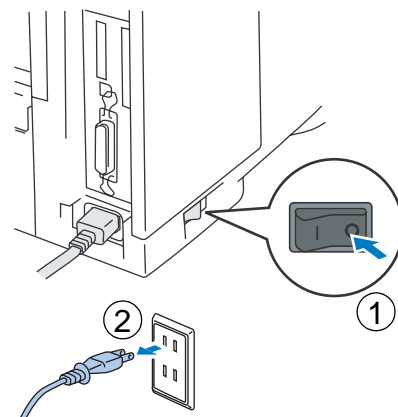
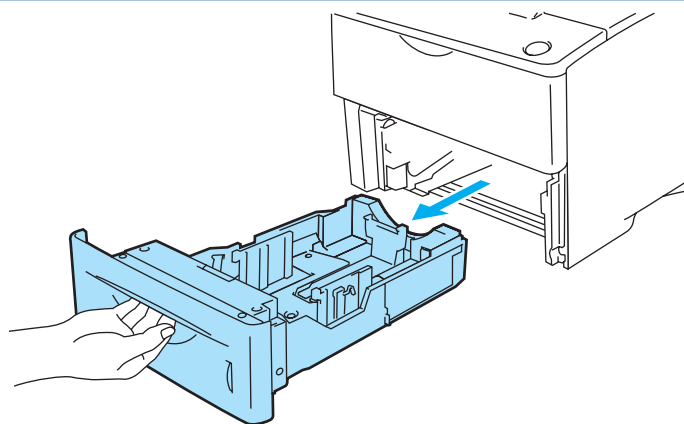
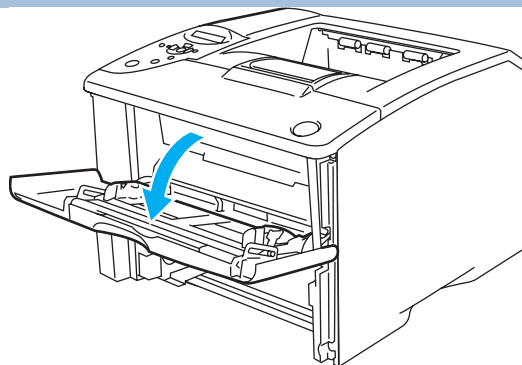
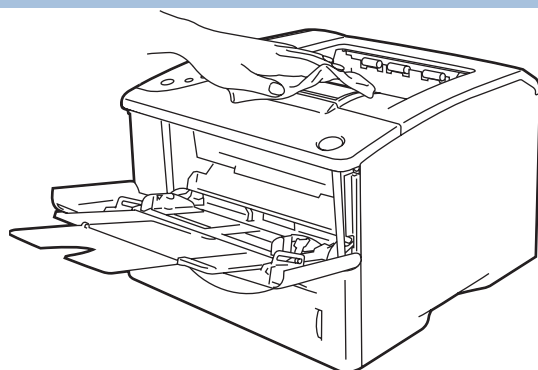
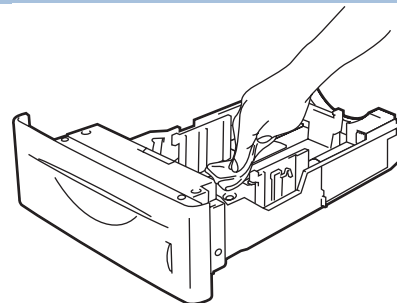
クリーニング

乾いた柔らかい布で本機の外部と内部を定期的に清掃してください。トナーカートリッジやドラムユニットを交換したり、印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、本機内部とドラムユニットを清掃します。

メモ
- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性有機溶剤を使用すると、本機の表面が損傷を受けます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。本機とトナーカートリッジが損傷を受けます。

ドラムのクリーニング方法は、CD-ROM メニュー上の「取扱説明書」－「インタラクティブヘルプ」からアニメーションでご覧いただけます。

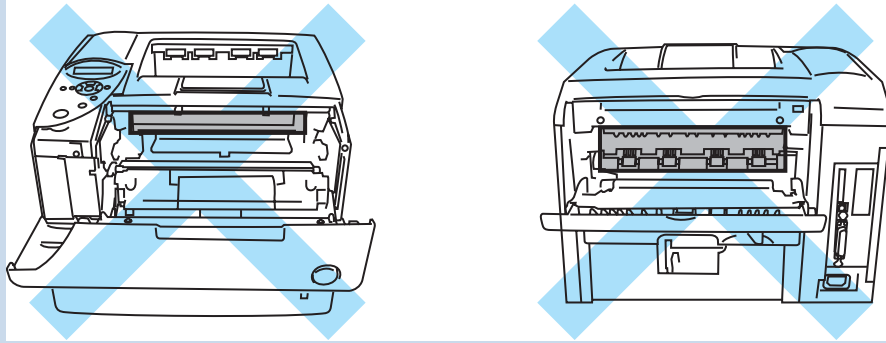
本機外部をクリーニングする

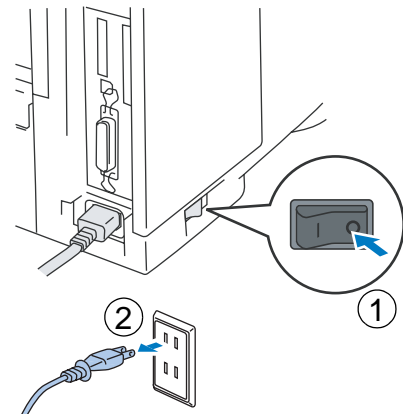
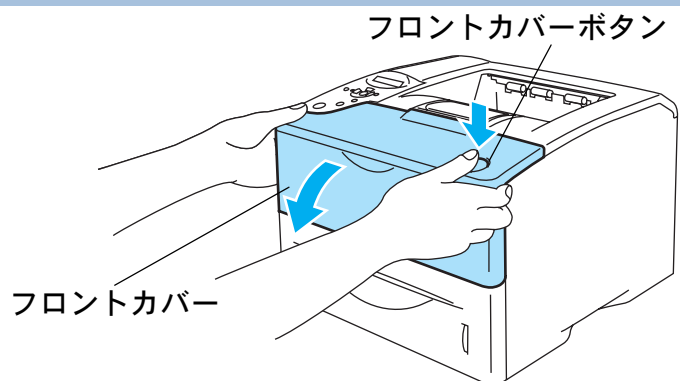
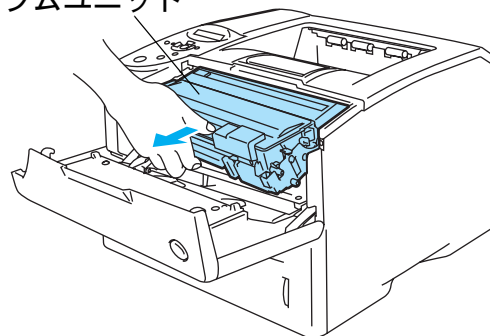
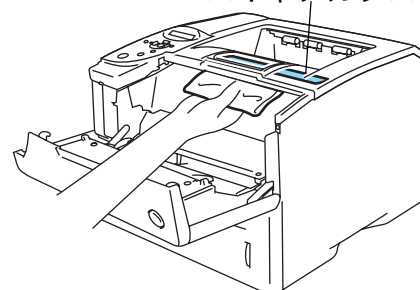
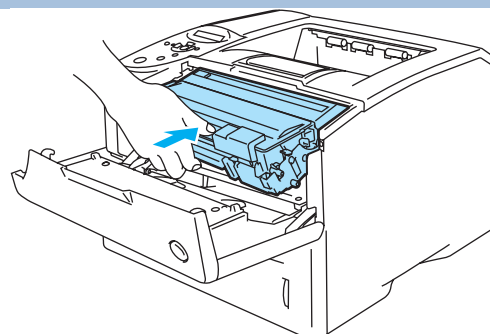
1 **本機の電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。**

2 **本機から用紙トレイを引き出します。**

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

4 本機外部の汚れや塵を拭き取ります。

5 多目的トレイ内部のペーパーガイドリリースレバーなどの突起物に付いた汚れや塵を拭き取ります。

6 多目的トレイを閉じ、用紙トレイを本機に戻します。

7 電源コードをコンセントに差し、本機の電源スイッチをオンにします。

本機内部をクリーニングする

注意

- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- 本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

1 本機の電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。

2 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

3 ドラムユニットを取り出します。

4 乾燥した柔らかい布でスキャナガラス（右図に示す青色の部分）を拭きます。

5 本機にドラムユニットを取り付けます。

6 フロントカバーを閉じます。

7 電源コードをコンセントに差し、本機の電源スイッチをオンにします。

コロナワイヤーをクリーニングする

次の手順でコロナワイヤーのクリーニングすると、印刷品質が改善される場合があります。

1

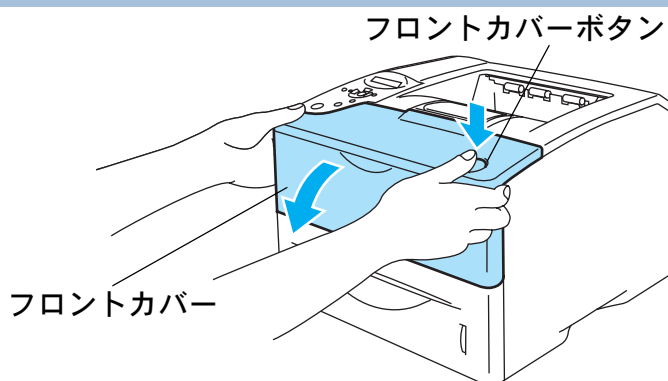
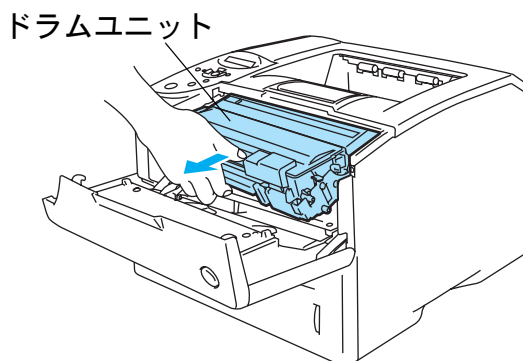
本機の電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。

2

フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

フロントカバーボタン

フロントカバー

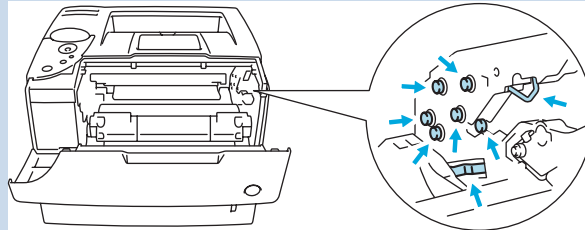
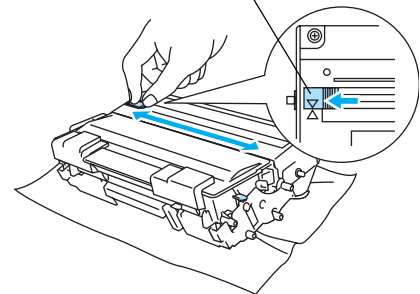
3

ドラムユニットを取り出します。

ドラムユニット

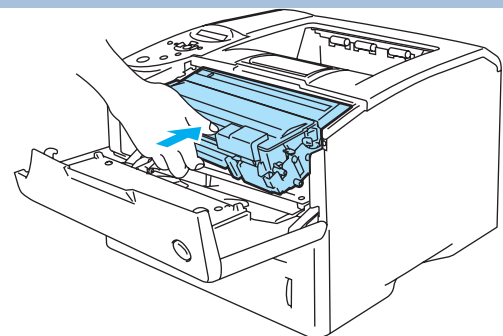
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

4 **ドラムユニットの青色のつまみを2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻してからトナーカートリッジをドラムユニットに戻します。**

注意

青色のつまみが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

5 **本機にドラムユニットを取り付けます。**

6 **フロントカバーを閉じます。**

7 **電源コードをコンセントに差し、本機の電源スイッチをオンにします。**

第 5 章 トラブルシューティング

トラブルの原因を確認する

使用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。
それでも問題が解決しないときは、下記お客様相談窓口にお問い合わせください。受付担当者がお問い合わせ内容を承り、専用エンジニアが折り返し電話、または ＦＡＸ にてお答えいたします。
なお、プリンタの故障であると思われる内容につきましては、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

お客様相談窓口　フリーダイヤル　０１２０－８６－２５５６
受付時間　月曜日～金曜日　９：００～１７：００（土日　祝日を除く）

はじめに下記の項目をご確認ください：

- 電源コードが正しく差し込まれているか、本機に電源が入っているか。
- すべての保護部品が取り除かれているか。
- トナーカートリッジとドラムユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーがしっかり閉まっているか。
- 用紙が用紙トレイに正しく挿入されているか。
- 本機とパソコンがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- パソコンが正しいプリンタポートに接続されているか。
- 正しいプリンタドライバがインストールされ、選択されているか。

本機が印刷をしない：

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示にしたがってください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示される

「操作パネルの見かた」を参照してください。P.1-5

ステータスモニタにエラーメッセージが表示される

「ステータスモニタのエラーメッセージ」を参照してください。P.5-7

用紙のトラブル

「使っている用紙を確認する」を参照してください。P.5-10

紙づまり

「使っている用紙を確認する」を参照してください。P.5-10
「紙づまりが起きたときは」を参照してください。P.5-12

その他のトラブル

「その他のトラブル」を参照してください。P.5-26

ページを印刷するが、問題がある：

印字品質を改善したい

「印字品質を改善するには」を参照してください。P.5-27

正しく印刷できない

「正しく印刷できないときは」を参照してください。P.5-32

その他分からないこと、知りたいことがある：

本機の詳しい仕様が知りたい

「プリンタ仕様」を参照してください。P.6-2

用語が分からない

「用語集」を参照してください。P.6-6

液晶ディスプレイのエラーメッセージ

本書で示した内容以外でのご使用は、本機の機能および性能の保証はできかねますのでご留意ください。

本機の液晶ディスプレイのエラーメッセージは、用紙トレイに次の名称が付けられています。

用紙トレイの名称	液晶ディスプレイ上での名称
用紙トレイ	トレイ 1
多目的トレイ	MP トレイ
ローワートレイユニット	トレイ 2

液晶ディスプレイのエラーメッセージ一覧

エラーメッセージ

エラーメッセージ	解決方法
ハイメンハイシトレイ　エラー	背面排紙トレイを開けてください。左右の青色のレバーを押し下げ、を押してください。
ハイメンハイシトレイ　オープン	背面排紙トレイを閉じてください。
バッファ　フル	「インタフェース」モードの設定を確認してください。
カード　エラー	コンパクトフラッシュを取り外してください。 本機の電源を切り、数秒後電源を入れます。再度エラーメッセージが表示された場合は、保守会社にご連絡願います。
カートリッジ　エラー	トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください。詳細は、「トナーカートリッジを交換する」P.4-5を参照してください。
NET ボード　フイッチ	プリンタの電源を切り、数秒後電源を入れます。再度エラーメッセージが表示された場合は、保守会社にご連絡願います。
NET バージョン　フイッチ .	プリンタの電源を切り、数秒後電源を入れます。再度エラーメッセージが表示された場合は、保守会社にご連絡願います。
ドラムユニット　ソウジ	フロントカバーを開け、ドラムユニットを取り外します。 ドラムユニットの青色のつまみを 2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。詳細は、「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-18を参照してください。
DIMM メモリ　エラー	メモリ（DIMM）を取り外してください。 本機の電源を切り、数秒後電源を入れます。再度エラーメッセージが表示された場合は、保守会社にご連絡願います。
ダウンロード　フル	**文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。** 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4を参照してください。
DX レバー　エラー	正しい用紙サイズ（A4、レター、リーガル）に合わせて、両面印刷用紙サイズレバーを切り替えてください。詳細は、「自動両面印刷する」P.2-73を参照してください。

エラーメッセージ	解決方法
テイチャクキ　エラー	本機の電源を切り、数秒後電源を入れます。電源を入れたまま 15 分間は使用しないでください。エラーは自動的に復帰します。
フォント　フル	**文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。** 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。
フロントカバー　オープン	フロントカバーを閉じてください。
ジャムクリアカバーオープン	背面排紙トレイ内のジャムクリアカバーを閉じてください。
データムシ	• 正しいプリンタドライバを使用しているかを確認してください。 • **文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。**市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。
カミヅマリ XXX	指定された場所からつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
テサシ	液晶ディスプレイに表示された用紙サイズの用紙を多目的トレイに挿入してください。印刷が一時停止になっている場合は、を押してください。
ヨウシシュルイ　エラー	正しい用紙の種類を指定してください。
メモリ　フル	• **を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。** • **文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。** • **市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。**
リョウメン　トレイ　ナシ	両面印刷ユニットを取り付けてください。詳細は、「自動両面印刷する」P.2-73 を参照してください。
カミナシ　XXX	表示されたトレイに用紙を入れてください。（XXX は MP トレイ、トレイ 1 またはトレイ 2 を示します。）
トレイ 1/2　ナシ	表示されたトレイを取り付けてください。
プリントオーバーラン	• **を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。** • **文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。** • **プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。** • **市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。**

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

エラーメッセージ	解決方法
サイズ　エラー　DX	両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4、レター、リーガル）を選択してください。プリンタドライバで設定を確認します。プリンタドライバで選択した用紙サイズの用紙をトレイに入れます。両面印刷できる用紙サイズの詳細は、「印刷用紙と寸法」P.1-29 を参照してください。
サイズ　エラー　T1/T2	プリンタドライバで選択した用紙サイズの用紙をトレイに入れます。用紙サイズの詳細は、「印刷用紙と寸法」P.1-29 を参照してください。
ヨウシサイズ　フイッチ	プリンタドライバを確認し、プリンタドライバで選択した用紙サイズの用紙をトレイに入れ、を押してください。
キオクデバイス　フル	不要なマクロやフォントを削除するか、コンパクトフラッシュ ™ を新しいものに交換してください。
トレイ 1　エラー	用紙トレイ (用紙カセット) をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください。
トレイ 2　エラー	ローワートレイユニット (ペーパーフィーダ、用紙カセット) をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください。

保守メッセージ

エラーメッセージ	解決方法
ドラム　ノコリワズカ	ドラムユニットの寿命が近づいています。新しいドラムユニットを準備してください。詳細は、「**ドラムユニットを交換する**」P.4-10 **を参照してください。**
トナー　ノコリワズカ	トナーの残量が残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。詳細は、「**トナーカートリッジを交換する**」P.4-5 **を参照してください。**
トナー　ジュミョウ	トナーを新しいものに交換してください。詳細は、「**トナーカートリッジを交換する**」P.4-5 **を参照してください。**
PF キット MP　コウカン	多目的トレイ給紙キット（給紙ローラーと分離プレート）を交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
PF キット 1　コウカン	用紙トレイ給紙キット（給紙ローラー、分離ローラー、分離パッド、分離パッドバネ）を交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
PF キット 2　コウカン	ローワートレイユニット給紙キット（給紙ローラー、分離ローラー、分離パッド、分離パッドバネ）を交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
テイチャクキ　コウカン	定着ユニットを交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
レーザスキャナー　コウカン	レーザーユニットを交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。

サービスコールメッセージ

エラーメッセージ	解決方法
エラー　###	本機の電源を切り、数秒後電源を入れます。再度エラーメッセージが表示された場合は、本機を購入した販売店、または。保守会社へお問い合わせください。

ステータスモニタのメッセージ

このセクションは Windows® ユーザー専用です。

ステータスモニタを表示させる

Windows® 用プリンタドライバ を使用している場合は、ステータスモニタで本機で発生したエラー情報などを通知できます。

1 「HITACHI PC-PL2180 のプロパティ」ダイアログボックスの［拡張機能］タブで （その他特殊設定）をクリックします。

2 リストから［ステータスモニタ］をクリックし、［オン］を選択します。

メモ

ステータスモニタは初期設定ではオフになっています。［オン］を選択していないとステータスモニタを表示することはできません。

3 適用(A) または OK をクリックして、選択した設定を確定します。

ステータスモニタのメッセージ一覧

ステータスモニタは本機の問題点を下記の表で示されたように表示されます。表示されたメッセージに対して適切な処置を行ってください。

エラーメッセージ	解決方法
印刷できます	印刷できる状態です。
お待ちください	ウォームアップ中です。（印刷データの受信は可能です。）
スリープ	スリープ状態（省エネモード）です。
ジョブキャンセル	ジョブをキャンセル中です。
トナー切れ	トナーを新しいものに交換してください。詳細は、「トナーカートリッジを交換する」P.4-5を参照してください。
トナー少量	トナーの残量が残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。詳細は、「トナーカートリッジを交換する」P.4-5を参照してください。
背面排紙トレイが開いています	背面排紙トレイを閉じてください。
紙づまりマルチパーパストレイ	多目的トレイからつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12を参照してください。

エラーメッセージ	解決方法
紙づまり本体用紙トレイ	用紙トレイからつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
紙づまりオプションローワートレイ	ローワートレイユニットからつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
紙づまり内部	本機内部からつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
紙づまり後ろ	本機背面からつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
紙づまり両面	両面印刷ユニットからつまった用紙を取り除いてください。詳細は、「紙づまりが起きたときは」P.5-12 を参照してください。
両面サイズエラー	両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4、レター、リーガル）を選択してください。プリンタドライバで設定を確認します。プリンタドライバで選択した用紙サイズの用紙をトレイに入れます。両面印刷できる用紙サイズの詳細は、「印刷用紙と寸法」P.1-29 を参照してください。
両面レバーエラー	正しい用紙サイズ（A4、レター、リーガル）に合わせて、両面印刷用紙サイズレバーを切り替えてください。詳細は、「自動両面印刷する」P.2-73 を参照してください。
両面トレイなし	両面印刷ユニットを取り付けてください。詳細は、「自動両面印刷する」P.2-73 を参照してください。
メモリフル	• を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。
プリントオーバーラン	• を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。
ドラムユニットソウジ	フロントカバーを開け、ドラムユニットを取り外します。ドラムユニットの青色のつまみを 2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。詳細は、「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-18 を参照してください。

エラーメッセージ	解決方法
背面排紙トレイが閉じています	背面排紙トレイを開けてください。左右の青色のレバーを押し下げ、 を押してください。
カートリッジエラー	トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください。詳細は、「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。
ドラムの寿命が近い	ドラムユニットの寿命が近づいています。新しいドラムユニットを準備してください。詳細は、「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。
サービスコール	保守会社へお問い合わせください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

使っている用紙を確認する

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、「使用できる用紙と領域」P.1-29を参照してください。
用紙が原因で起こった下記のトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

用紙が原因のトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
給紙しない	• 用紙トレイに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、もう一度そろえて用紙トレイに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙トレイの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • 手差し給紙モードがプリンタドライバで選択されていないか確認してください。
多目的トレイから用紙を給紙しない	• トレイに用紙が正しく挿入されているか確認してください。 • トレイに挿入されている用紙が多すぎる場合は、用紙枚数を減らしてから再度挿入してください。
封筒を給紙しない	使用しているアプリケーションが印字する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
封筒を印刷した後、折り目が付く	本機背面の背面排紙トレイを開け、左右の青色のレバーを押し下げてください。詳細は、「封筒に印刷する」P.2-57を参照してください。
紙づまりが起きる	• つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」P.5-12をご参照いただくか、「インタラクティブヘルプ」P.5-11を参照してください。 • セパレーションローラー上に汚れや塵がある場合は、水や中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭き取ります。 • 給紙ローラーまたは分離プレートを交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
一度に複数枚の用紙を給紙する	• 給紙ローラーまたは分離プレートを交換する必要があります。保守会社へお問い合わせください。
上面排紙トレイに排紙をしない	背面排紙カバーを閉じてください。
印刷した用紙が反るため、上面排紙トレイに最大枚数を置けない	• トレイの用紙を裏返してください。 • プリンタドライバの「用紙媒体」を「厚め」の設定に変更してください。
本機から印刷できない	• 電源コードが接続されているかを確認してください。 • 正しいプリンタドライバを使用しているかを確認してください。
普通紙に印刷しても折り目が付く	プリンタドライバの「用紙媒体」が「薄め」の設定になっていないかを確認してください。
リーガルや長いサイズの用紙を印刷すると、上面排紙トレイから落ちる	上面排紙トレイ用紙ストッパーを引き出してください。

インタラクティブヘルプ

インタラクティブヘルプは、トラブル時の解決方法をアニメーションでご覧いただけるソフトウェアです。プリンタドライバをインストールすると、インタラクティブ ヘルプが自動でインストールされます。

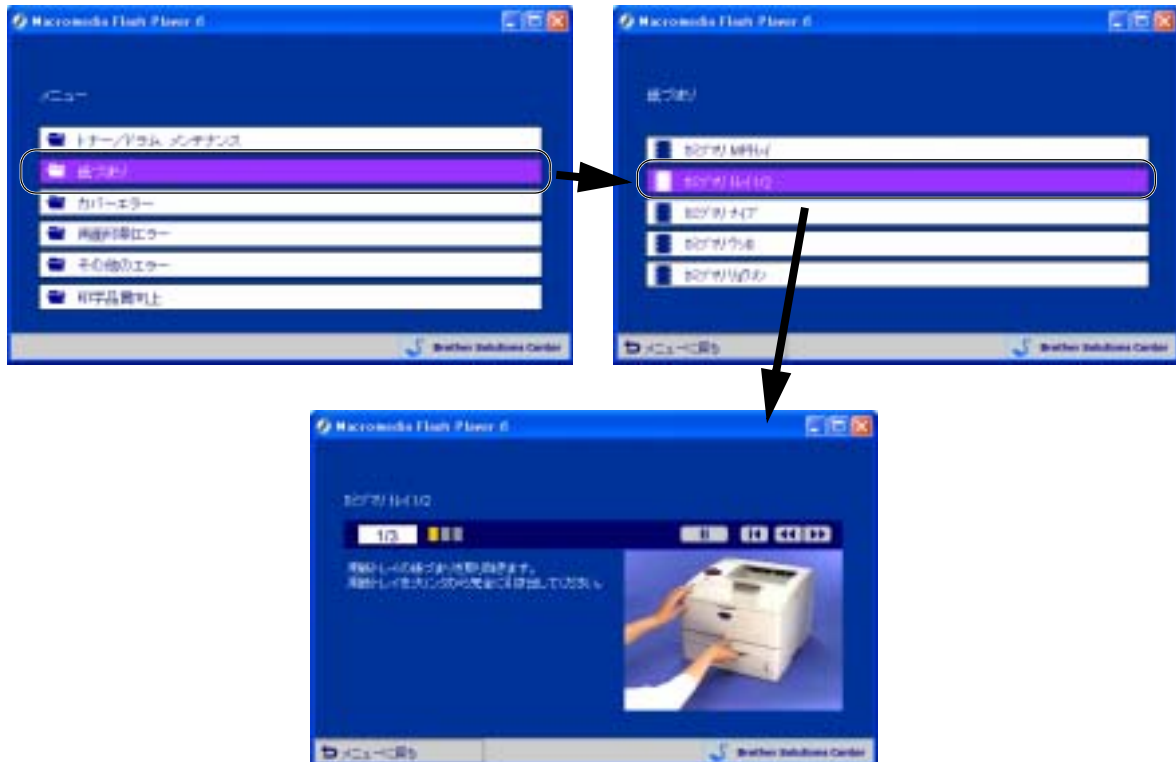
インタラクティブヘルプの使用方法

1 **デスクトップ上に作成された**（PC-PL2180 **インタラクティブヘルプ）アイコンをダブルクリックします。**

インタラクティブヘルプが起動します。

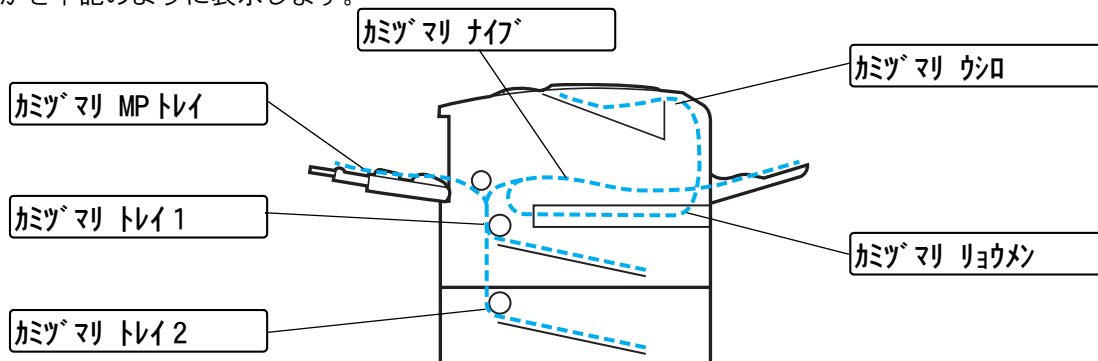
> **メモ**
>
> ［スタート］メニューから起動することもできます。
>
> - Windows® XP の場合
>   ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［HITACHI PC-PL2180］－［PC-PL2180 インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。
> - Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT®4.0 の場合
>   ［スタート］メニューから［プログラム］－［HITACHI PC-PL2180］－［PC-PL2180 インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。

2 **ご覧になりたい項目をクリックします。**

解決方法がアニメーションでご覧いただけます。

紙づまりが起きたときは

紙づまりの解決方法は、インタラクティブヘルプにてご覧いただけます。
「インタラクティブヘルプ」P.5-11を参照してください。

紙づまりメッセージ

紙づまりが起きた場合、本機の操作パネル上の液晶ディスプレイで、どの場所に紙づまりが起こったかを下記のように表示します。

メッセージ	内容	参照ページ
カミヅマリ MP トレイ	多目的トレイで紙づまりが起こっています。	P.5-13
カミヅマリ トレイ 1	用紙トレイで紙づまりが起こっています。	P.5-15
カミヅマリ トレイ 2	ローワートレイユニットで紙づまりが起こっています。	P.5-15
カミヅマリ ナイフ゛	本機内部で紙づまりが起こっています。	P.5-18
カミヅマリ ウシロ	本機後部、または背面排紙トレイで紙づまりが起こっています。	P.5-21
カミヅマリ リョウメン	両面印刷ユニットで紙づまりが起こっています。	P.5-24

紙づまりの場所を確認し、次ページ以降の指示に従ってつまった用紙を取り除きます。
つまった用紙を取り除いた後。フロントカバーをいったん開け、再度閉じると印刷を再開します。

下記の用紙は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある用紙
- 湿った用紙
- 仕様、規格外の用紙

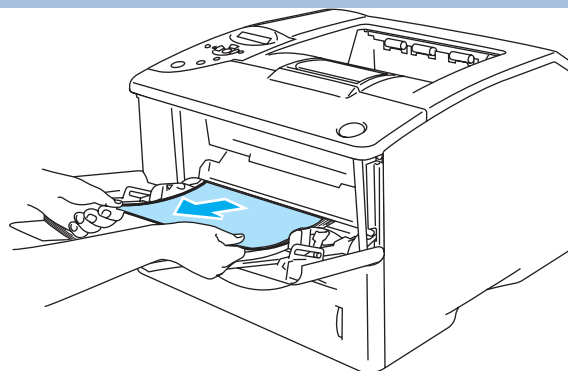
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

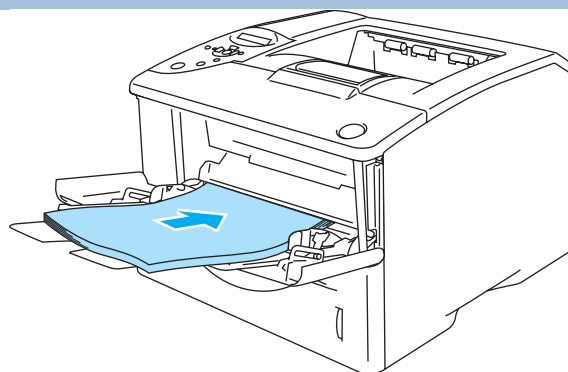
紙づまりの解決方法

多目的トレイの紙づまり

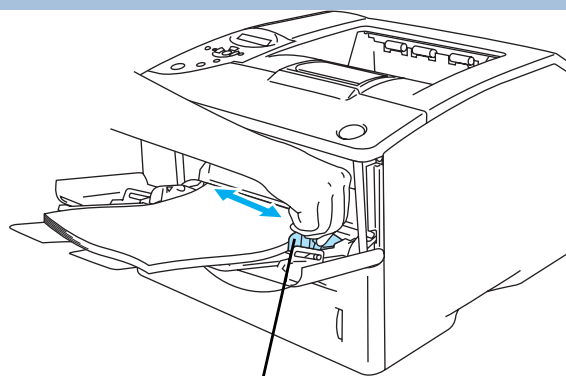
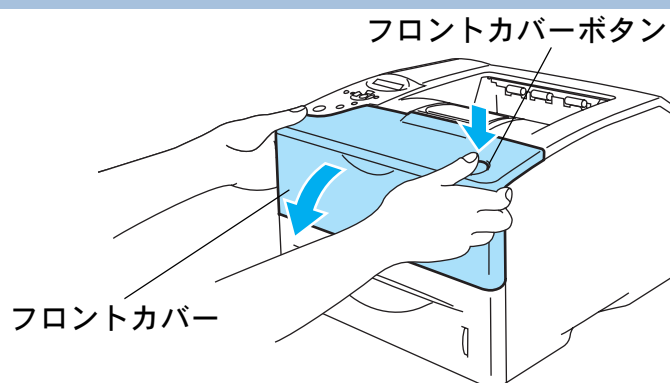
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ MP ﾄﾚｲ

多目的トレイで紙づまりが起こったときは、次の手順に従ってください。

1 **多目的トレイからつまった用紙を取り除きます。**

2 **紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。**

3 **多目的トレイに用紙を挿入します。**

多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。

- 1 番上に置かれた用紙から、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには 100 枚（64g/m^2）以上の用紙を挿入しないでください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。

4 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。

5 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

6 フロントカバー閉じ、 を押します。

印刷が再開されます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

用紙トレイ / ローワーユニットトレイの紙づまり

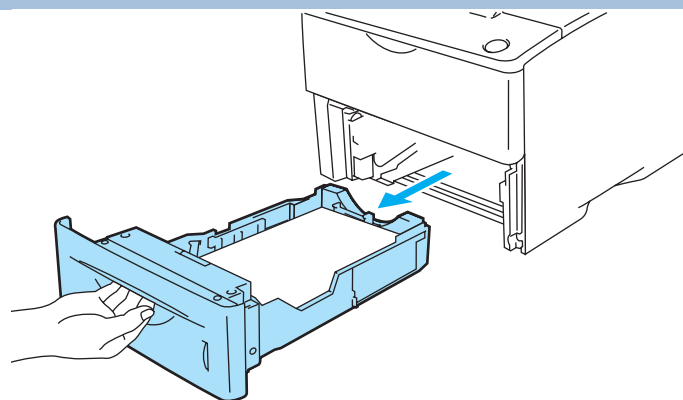
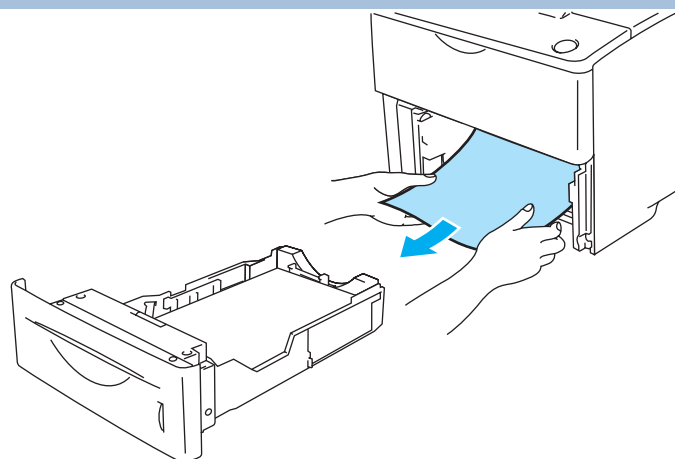
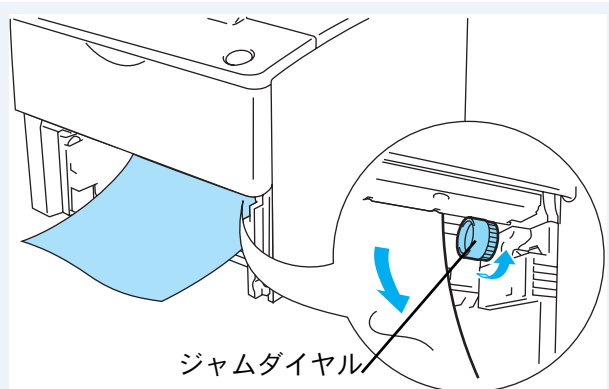
本機の液晶ディスプレイのエラーメッセージは、用紙トレイに次の名称が付けられています。

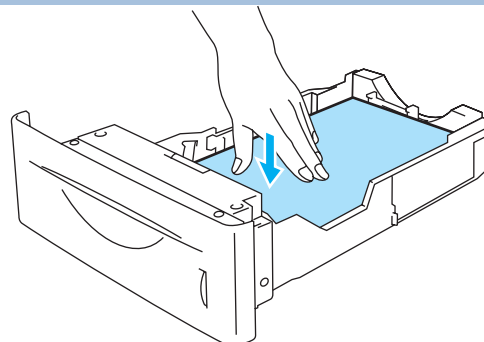
用紙トレイの名称	液晶ディスプレイ上での名称
用紙トレイ	トレイ 1
ローワートレイユニット	トレイ 2

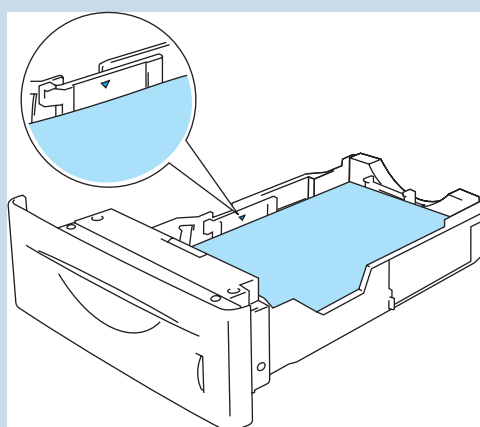
カミヅマリ トレイ 1

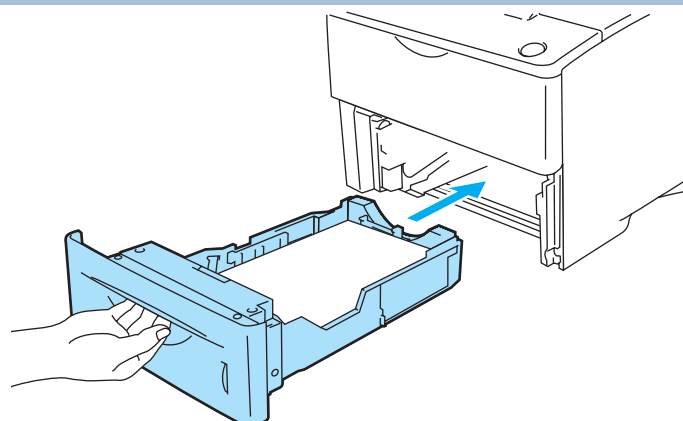
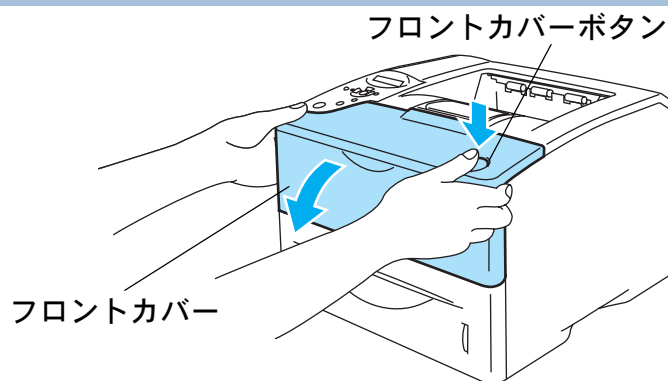
カミヅマリ トレイ 2

用紙トレイ / ローワーユニットトレイで紙づまりが起こったときは、次の手順に従ってください。

1 **本機から用紙トレイを完全に引き出します。**

2 **つまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。**

小さな紙片が取り除けないときは、右図に示すジャムダイヤルを回して。取り除いてください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

3 用紙トレイに用紙をセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。

- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙トレイに用紙を 500 枚 (64g/m^2) 以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙トレイにセットされている用紙の一番上にセットしてください。

4 用紙トレイを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

5 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

6 フロントカバー閉じます。

印刷が再開されます。

ローワートレイユニットから用紙が給紙されている最中に用紙トレイを引き抜かないでください。引き抜くと紙づまりが起こります。

本機内部の紙づまり

ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ

本機内部で紙づまりが起こったときは、次の手順に従ってください。

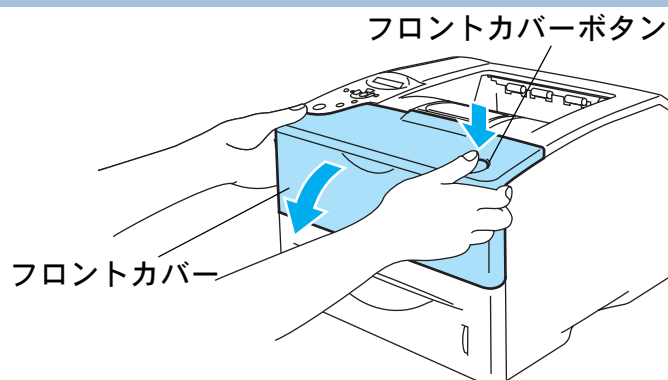
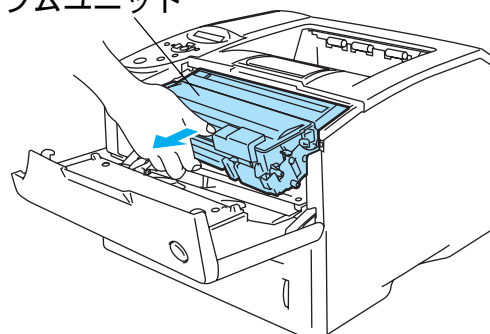
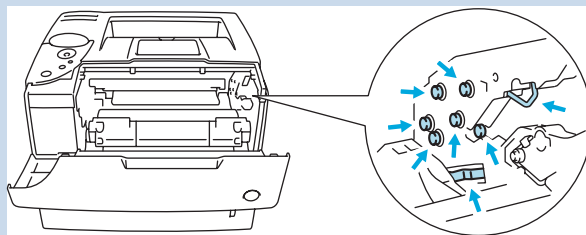
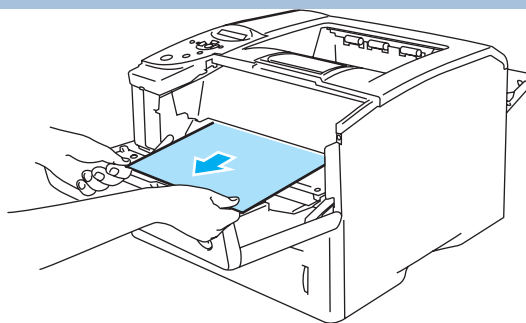
本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

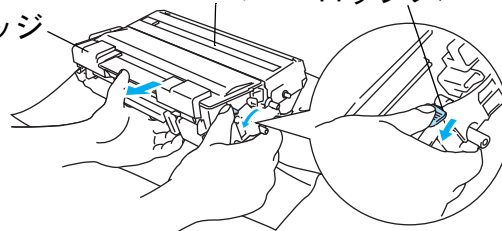
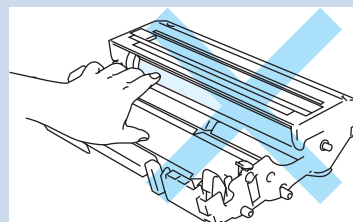
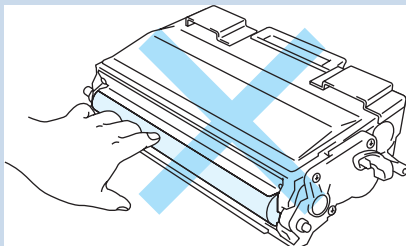
1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

2 ドラムユニットを取り出します。

注意

- つまった用紙を取り除いた後、印刷された用紙に汚れがある場合は、印刷途中のデータを再開する前に、何ページか印刷してください。
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

3

つまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。

4

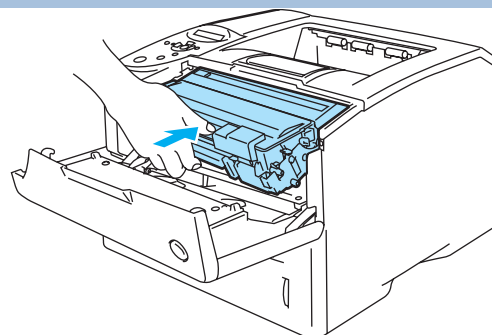
青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、小さな紙片を取り除ます。

トナーカートリッジ　ドラムユニット　ロックレバー

注意

- 印刷品質の劣化を防止するため、下図の青色の部分には触れないでください。

- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

5 トナーカートリッジをドラムユニットに戻します。

6 本機にドラムユニットを取り付けます。

7 フロントカバー閉じます。

印刷が再開されます。

本機後部の紙づまり

ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ｳｼﾛ

本機後部、または背面排紙トレイで紙づまりが起こったときは、次の手順に従ってください。

注意

本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

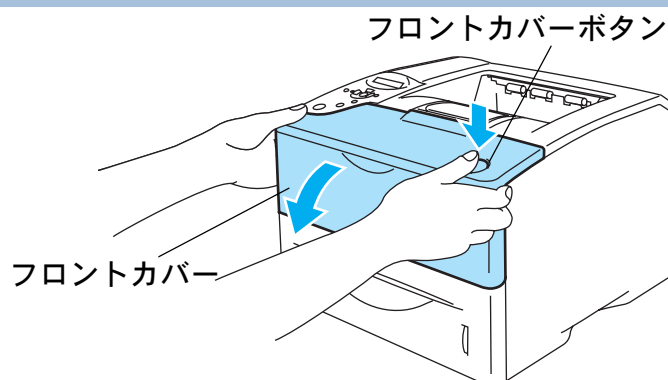
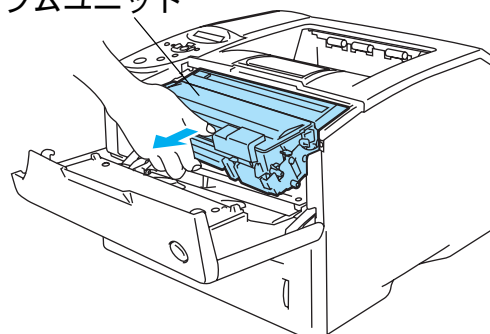
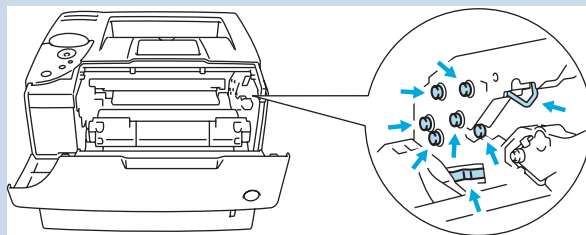
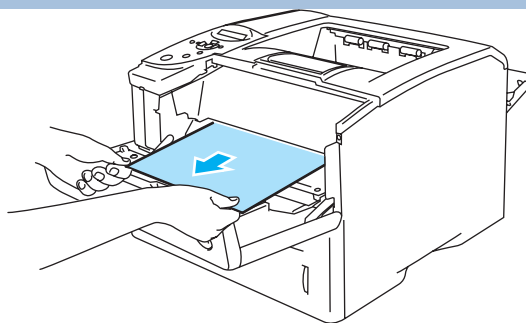
1 **フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。**

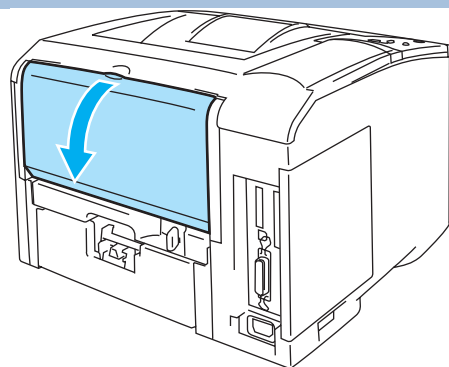
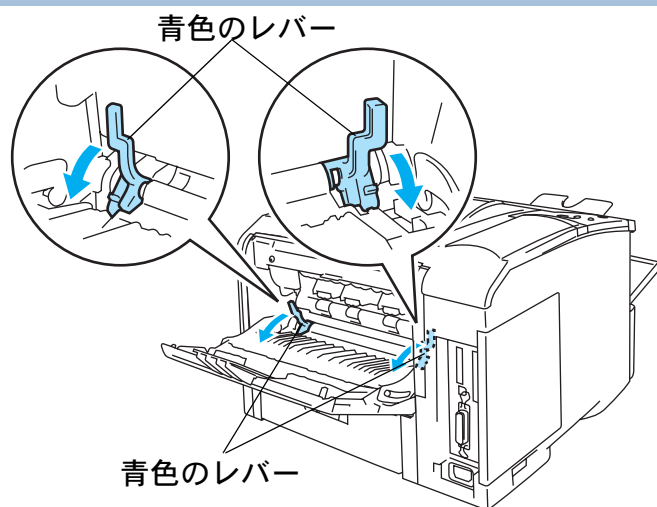
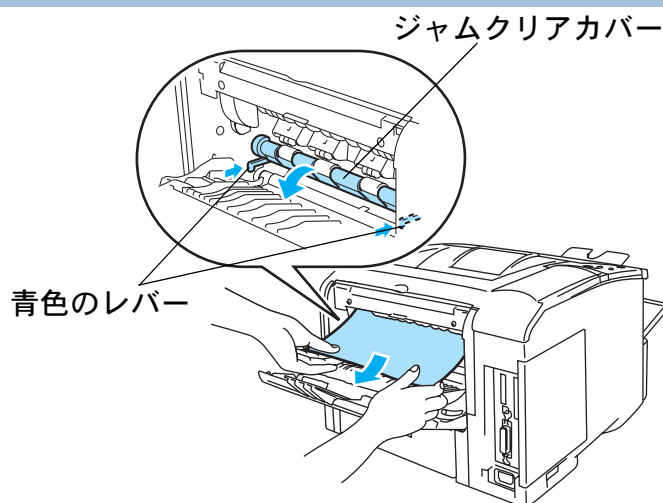
フロントカバーボタン

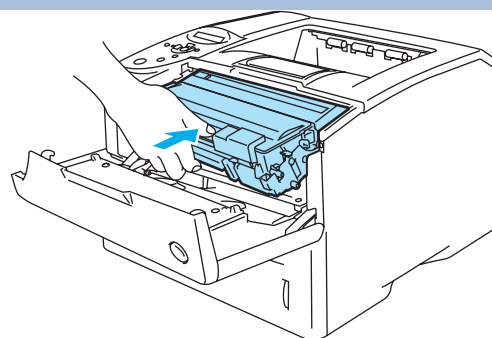
フロントカバー

2 **ドラムユニットを取り出します。**

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

注意

- つまった用紙を取り除いた後、印刷された用紙に汚れがある場合は、印刷途中のデータを再開する前に、何ページか印刷してください。
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

3 つまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。

4 背面排紙トレイを開けます。

5 左右の青色のレバーを押し下げます。

6 左右の青色のレバーを押し下げ、ジャムクリアカバーを開けます。定着ユニットからつまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。

7 ジャムクリアカバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。

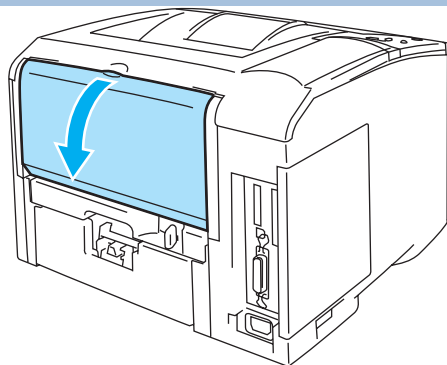
8 本機にドラムユニットを取り付けます。

9 フロントカバー閉じます。

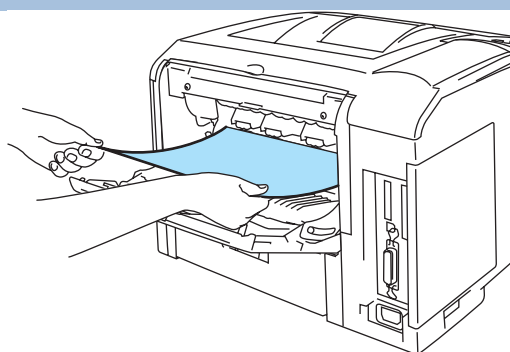
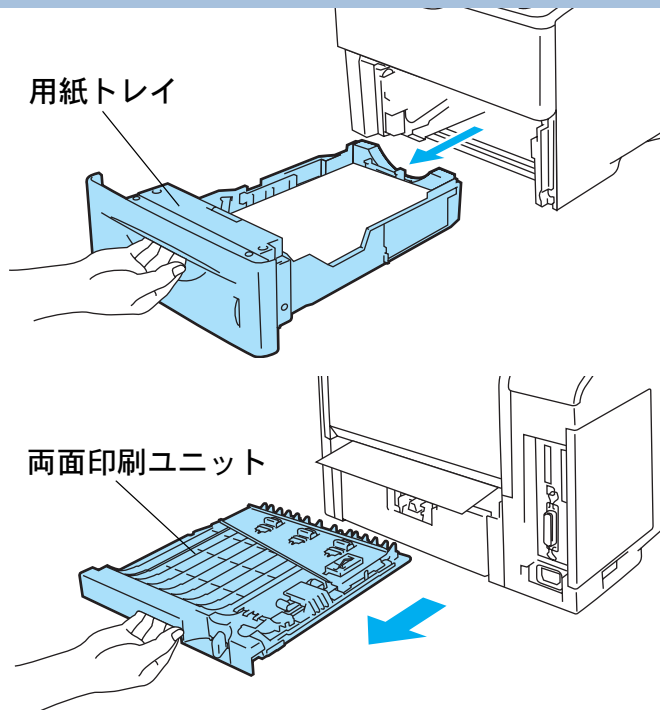
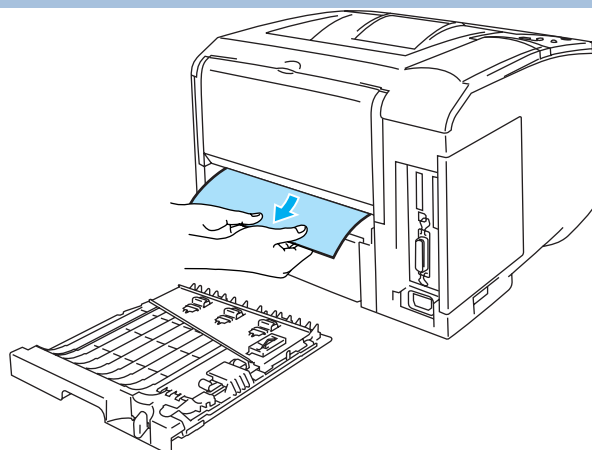
印刷が再開されます。

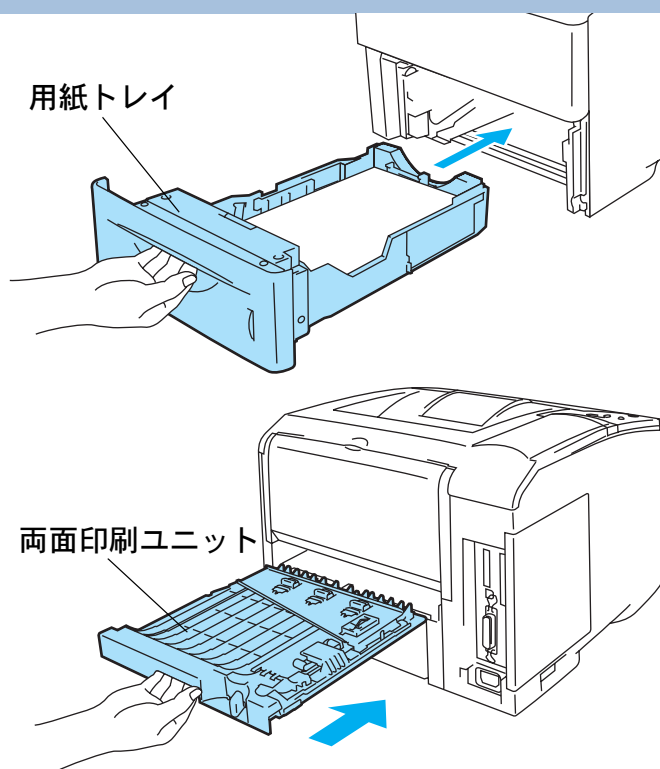
両面印刷ユニットの紙づまり

カミヅ゛マリ リョウメン

両面印刷ユニットで紙づまりが起こったときは、次の手順に従ってください。

1 **背面排紙トレイを開けます。**

2 **定着ユニットからつまった用紙をを両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。**

紙づまりが解決されない場合は、次の手順に進みます。

3 **本機から用紙トレイと両面印刷ユニットを完全に引き出します。**

4 つまった用紙をを両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。

5 本機に用紙トレイと両面印刷ユニットを戻します。

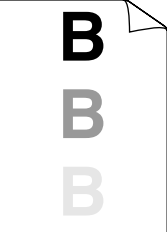
両面印刷ユニット

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

- 「カミヅマリ　リョウメン」メッセージは、ページの片面の印刷が終わった後で用紙を背面排紙トレイから取り除いた場合に表示されます。
- 両面印刷機能に使用できる用紙サイズは A4、レターとリーガルです。
- 両面印刷用紙サイズレバーが用紙サイズに対して正しく設定されていないと、紙づまりが起こったり、用紙上の印刷位置がずれてしまう場合があります。

その他のトラブル

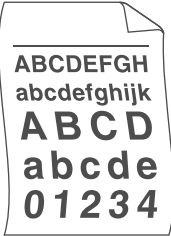
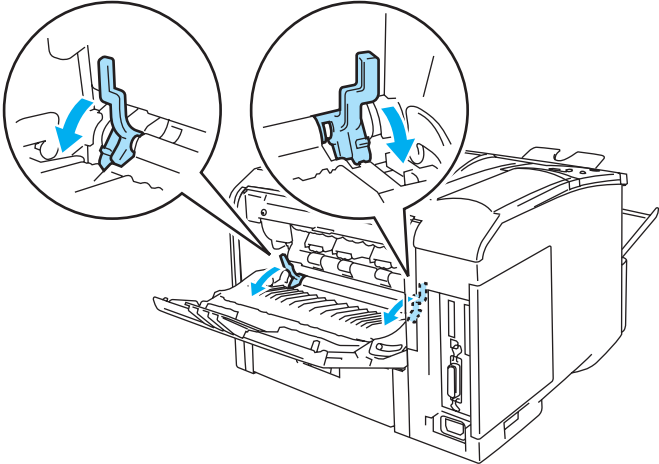
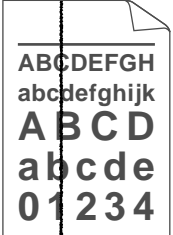
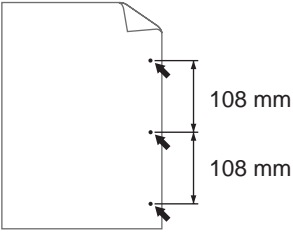
問題	解決方法
本機で印字ができない "There was an error writing to LPT1: (or BRUSB) for the printer." のエラーメッセージがパソコンの画面上に表示される	• プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、インターフェース切り替え器をから取り外し、直接プリンタを接続してください。
エラーが発生し正しく印刷できない 印刷を止めたい	• パソコンから印刷データを削除します。 ① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。 Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。 ②「HITACHI PC-PL2180」のアイコンをダブルクリックします。 ③ 削除したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］をクリックします。 • 操作パネルの を押します。

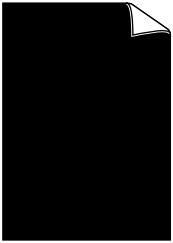
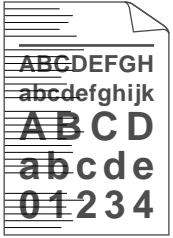
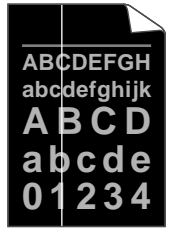
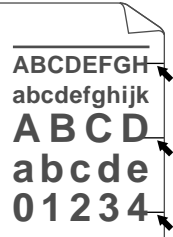
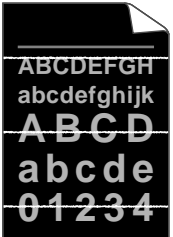
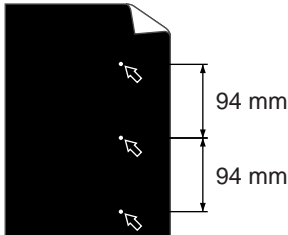
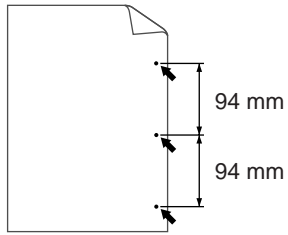
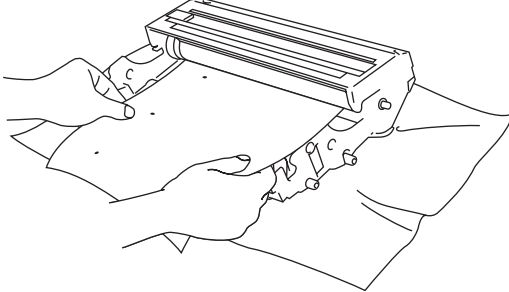
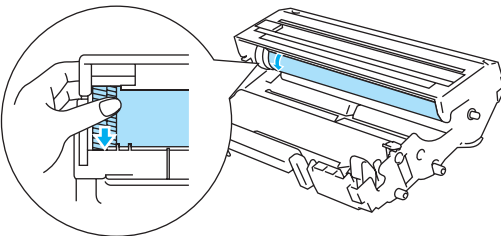
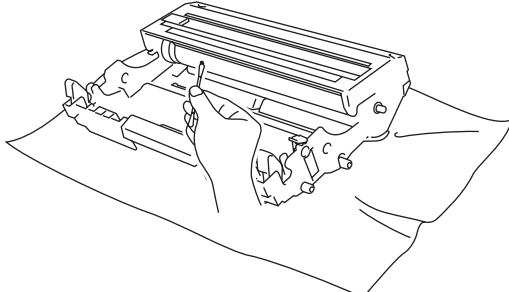
BR-Script 3 エミュレーションモードをご使用の場合

問題	解決方法
印刷できない	液晶ディスプレイに「データムシ」と表示された場合は、次の手順に従ってください。 ① 本機を再起動します。 を 2 回押し、を 2 回押した後で、を押します。 ②「エラーインサツ」を「= オン」にします。 を 5 回押し、を押します。 を 2 回押し、を 2 回押します。 を押し、を押します。 ③ 再度エラーが発生し、「リミットチェック」とエラーメッセージが印刷されたときは、市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4を参照してください。
印刷速度が低下する	市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4を参照してください。
EPS データが印刷できない	EPS データを印刷するときは、次のように設定してください。 ①「プリンタ」フォルダで本機を選択します。 ②［ポストスクリプト］タブで［Advanced］（拡張）ボタンをクリックします。 ③ データフォーマット選択で「Tagged binary communication protocol」（タッグされたバイナリ通信プロトコル）を選択します。

印字品質を改善するには

下記の表に示された印字品質の問題に対して、適切な処置を行ってください。

印字品質の改善方法一覧

問題例	解決方法
かすれ ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタドライバの［拡張機能］タブで「トナー節約モード」P.2-10 を［オフ］にしてください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • 操作パネルの設定メニューを使用して、「ガシツ」モードの「インサツ　ノウド」で印刷密度を増加させてください。「ガシツ」P.1-17 を参照してください。 • 乾燥した柔らかい布でスキャナガラスを拭いてください。「本機内部をクリーニングする」P.4-16 を参照してください。また、クリーニング方法は、CD-ROM メニュー上の「取扱説明書」－「インタラクティブヘルプ」からアニメーションでご覧いただけます。
グレーの背景 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。
残像 B B B	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-7 を参照してください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。保守会社へお問い合わせください。

問題例	解決方法
トナー汚れ	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。保守会社へお問い合わせください。
白い中抜け	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • プリンタドライバで厚紙もしくは超厚紙モードを選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をご使用ください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。
ページのゆがみ	• 用紙やその他のメディアが用紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、ペーパーガイドリリースレバーが用紙の大きさに合っているか確認してください。 • ペーパーガイドリリースレバーを正確にセットしてください。ペーパーガイドリリースレバーのツメが溝にしっかりはまっているか確認してください。「用紙トレイから印刷する」P.2-38 を参照してください。多目的トレイをご使用の場合は「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41 を参照してください。 • 用紙トレイまたは多目的トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。「用紙トレイから印刷する」P.2-38 、「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41 を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。
反りまたはうねり	• 用紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙の反りが起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • 本機を長時間使用しない場合には、用紙が用紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。 • 手差し給紙で印刷してみてください。「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41 を参照してください。
しわまたは折り目	• 用紙が正しく給紙されているか確認してください。「用紙トレイから印刷する」P.2-38 を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • 多目的トレイから印刷してみてください。「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-41 を参照してください。 • トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。

問題例	解決方法
不十分な定着 しわのある封筒	• 図のように、本機背面の背面排紙トレイを開け、左右の青色のレバーを押し下げます。 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。レバーがリセットされ元の位置に戻ります。 • 「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-58 を参照してください。
黒い垂直な線 印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.4-14 を参照してください。 • コロナワイヤーの青色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。保守会社へお問い合わせください。
黒い点 108 mm 108 mm 印刷されたページに 108 ミリ周期で黒い点がある	• 黒いページを数ページ印刷してみてください。数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、汚れや紙粉が定着器に付着していることがあります。この場合、定着器の交換 (有償) が必要になる場合があります。

問題例	解決方法
真っ黒なページ	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。青色のつまみを 2、3 回往復させてください。青色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。保守会社へお問い合わせください。
平行な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• 本機内部とドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-18 を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。
白い垂直な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-5 を参照してください。 • 乾燥した柔らかい布でスキャナガラスを拭いてください。「本機内部をクリーニングする」P.4-16 を参照してください。また、クリーニング方法は、CD-ROM メニュー上の「メンテナンスチュートリアル」からアニメーションでご覧いただけます。
黒い汚れが平行に繰り返し発生する ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234 トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。 • ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着する事があります。ドラムユニットを清掃してください。「クリーニング」P.4-14 を参照してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれる事があります。
白い平行な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-7 を参照してください。 • この問題は本機が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印字してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-10 を参照してください。

問題例	解決方法
白い点 94 mm 94 mm 黒い文章や画像が印刷されたページに 94 ミリ周期で白い点がある 黒い点 94 mm 94 mm 印刷されたページに 94 ミリ周期で黒い点がある	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、汚れや紙粉が感光ドラムに付着していることがあります。 下記の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ① 印字サンプルをドラムユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。 ② ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面にのりがついている場所を手前にもってきます。 ③ ドラム上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光ドラムの表面を汚れや紙粉がなくなるまで綿棒で拭き取ります。
	• 感光ドラムの表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。 「ドラムユニットを交換する」P.4-10を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

正しく印刷できないときは

下記の表に示されたような正しく印刷できないトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

正しく印刷できないトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
印字はするが、パソコン画面上で表示されているものとは違っている	• プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが 2 メートル以内のものをおすすめします。 • プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接本機と接続して試してみてください。 • 正しいプリンタドライバが「通常使うプリンタに設定」として設定されているか確認してください。 • その他の装置すべてを取り除き、本機のみをポートにつないでください。 • ステータスモニタを OFF にしてください。「ステータスモニタ」P.2-21を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" プリントオーバーラン " のエラーメッセージが表示される	• を押して、本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。 • 解像度を下げるか、数ページに分けて印刷してください。 • プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-25を参照してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" メモリ　フル " のエラーメッセージが表示される	• を押して、本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、を押してください。 • 解像度を下げるか、数ページに分けて印刷してください。 • プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-25を参照してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4を参照してください。
パソコン画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない	• ほとんどのページプリンタには、印字可能範囲が決められています。通常、印字可能な 62 行以外では最初の 2 行と最後の 2 行は印字されません。印字可能範囲内で、ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録

第 6 章

付録

プリンタ仕様

エンジン

項目	内容
プリント方式	電子写真方式
印字速度	最速 24 ppm （A4 サイズで印刷時） 最速 11 ppm （A4 サイズで両面印刷時） 幅の狭い用紙は印刷速度が段階的に低下します。
ウォームアップタイム	25 秒以下
ファーストプリントタイム（レディ時）※1	11 秒以下
解像度	1200 × 1200dpi / 600 dpi / 300 dpi

※1　プリンタ始動から排紙完了までの時間

コントローラ

項目		内容
CPU		SPARClite 200MHz
メモリ	標準	32MB
	最大	160MB、市販品の DIMM を増設
インターフェース		IEEE1284 準拠（パラレル）、 USB 2.0 Hi-Speed、 10BASE-T/100BASE-TX
ネットワーク	対応プロトコル	TCP/IP (ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA [Auto IP], WINS/NetBIOS, DNS, LPR/LPD, Raw Port/Port9100, POP3/SMTP, SMB Print, IPP, FTP, mDNS, SSDP, TELNET, SNMP, HTTP, TFTP), NetWare IPX/SPX, NetBEUI
	管理ツール	BRAdmin Professional ※2 ウェブブラウザ管理機能※3
エミュレーション		自動エミュレーション PCL 6, BR-Script 3 (PostScript3 互換)
プリンタフォント	BR-Script 3	欧文フォント：66 書体 日本語フォント：2 書体（和桜明朝、美杉ゴシック）

※2　Windows 用ネットワークプリンタ管理ユーティリティ
※3　デバイスの管理には標準的なウェブブラウザを使用

ソフトウェア

項目		内容
プリンタドライバ	Windows®	Windows® プリンタドライバ （Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®4.0）
		Windows® BR-Script3 プリンタドライバ （Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®4.0）
ユーティリティドライバ		インタラクティブヘルプ※4, ※5 オートマチックドライバインストーラ※5, ※6

※4　問題の解決にアニメーションヘルプを採用
※5　Windows® 専用（初期設定はオフ）
※6　ウィザード形式でドライバ　ユーティリティのインストールを補助

操作パネル

項目	内容
液晶ディスプレイ	1 行× 16 桁 , 3 色 , 1LED
ボタン	7 つ

用紙枚数

項目		内容
給紙枚数※7	用紙トレイ	500 枚　(用紙カセット)
	多目的トレイ	100 枚　(手差しトレイ)
	ローワートレイユニット（オプション）	500 枚　(用紙カセット)
最大給紙枚数※7		1100 枚
排紙※7	上面	250 枚
	背面	50 枚
両面印刷		手動 , 自動

※ 7　64 g/m² 用紙で計算

用紙仕様

項目		内容
用紙の種類	用紙トレイ	普通紙、再生紙、官製ハガキ※8、OHP フィルム※9
	多目的トレイ	普通紙、再生紙、ボンド紙、厚紙、官製ハガキ、OHP フィルム、ラベル紙※10、封筒※9
	ローワートレイユニット（オプション）	普通紙、再生紙
用紙坪量	用紙トレイ	60 ～ 105 g/m²
	多目的トレイ	60 ～ 161 g/m²
	ローワートレイユニット（オプション）	60 ～ 105 g/m²
対応用紙	用紙トレイ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、官製ハガキ
	多目的トレイ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、 封筒（洋形 4 号、定型最大 120 x 235 mm）、官製ハガキ 幅　：69.9 ～ 215.9mm　長さ：116 ～ 406.4mm
	ローワートレイユニット（オプション）	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5
	両面印刷時	A4、レター、リーガル

※ 8　給紙枚数は 30 枚まで可能
※ 9　給紙枚数は 10 枚まで可能
※ 10 給紙枚数は 1 枚のみ

消耗品

項目		内容
トナーカートリッジ	PZ21801	約 7,500 枚（A4 を印刷密度 5 ％で印刷した場合）※11
ドラムユニット	PZ21802	約 30,000 枚（A4）※11

※ 11 印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

外形寸法 / 重量

項目	内容
外形寸法 (W*D*H)	400 × 425 × 310 mm
重量	約 18.5kg（プリンタ本体、トナー / ドラムを含まず） 約 20.3kg（トナー / ドラムを含む）

その他

項目			内容
電源電圧			AC 100V 50/60Hz
消費電力※ 11		印刷時	平均約 570 W 以下（25 ℃）
		ピーク時	900W （瞬間的ピークを除く）、 1120 W 以下（ピークを含む）、（25 ℃）
		スタンバイ時	90 W 以下
		スリープ時	8 W 以下
		オフ時	2 W 以下
稼動音	音圧レベル	印刷時	平均 53 db 以下
		スタンバイ時	30 db 以下
省エネ機能		パワーセーブ	有
		トナーセーブ	有
温度		使用周囲温度	10 ～ 32.5 ℃
		保存温度	0 ～ 40 ℃
湿度		使用周囲湿度	20 ～ 80%（結露なきこと）
		保存湿度	10 ～ 85%（結露なきこと）

※ 11 電源スイッチがオフでも電源プラグがコンセントに接続されているときは、2W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0 W にするためには、電源スイッチで本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

用語集

あ

- **アイコン**
  パソコンの画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。
- **アプリケーションソフトウェア**
  ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。
- **インターフェース**
  パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
  Windows® 95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。
- **オプション機能**
  標準仕様に対し、お客様の希望に応じて追加できる機能です。

た

- **タスクトレイ**
  パソコンの画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **デバイス**
  ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

は

- **パラレルケーブル**
  複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本機を接続します。
- **プリンタケーブル**
  本機とパソコンを接続するケーブルです。
- **プリンタドライバ**
  アプリケーションソフトのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。
- **ページプリンタ**
  レーザーを使って文字や画像を印刷用のドラムに照射し、トナーを用紙に定着させるタイプのプリンタです。高解像度、高品質、高速、静音といった特長を持っています。

数字

- 2 IN1
  2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。本機ではレイアウト印刷機能で指定します。
- 4 IN1
  4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。本機ではレイアウト印刷機能で指定します。

A to Z

- DPI
  Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。
- Linux
  パソコン用 UNIX で、Linus Torvalds が開発し、ユーザーによる改良がされている OS です。
- OS
  Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。
- PC/AT **互換機**

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

USB

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略で、ハブを経由して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるインターフェース仕様です。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®

Microsoft 社が開発した OS です。